金　正　日

舞　踊　芸　術　論

全世界の勤労者団結せよ！

金　正　日

舞 踊 芸 術 論

（1990 年 11 月 30 日）

目　　次

Ⅰ　生活と舞踊

1　舞踊はリズムの芸術である

2　舞踊は人間の自主的で創造的な生活の
なかで発生、発展する

3　革命的舞踊芸術の伝統を継承し、
発展させるべきである

4　舞踊は人民の多様な生活を描きだすべきである

5　民族舞踊の形式を生かすべきである

6　舞踊小品を基本にして発展させるべきである

7　各種の舞踊を奨励すべきである

Ⅱ　舞踊創作

1　舞踊台本がなければならない

2　振付け構成案を正しく立てるべきである

3　舞踊音楽はすぐれたものでなければならない

4　踊りのリズムは性格が明確でなければならない

5　踊りの構図は意味が明らかで造形美が
なければならない

6　舞踊の舞台美術は実感があって
美しくなければならない

Ⅲ　舞踊形象

1　舞踊手は舞踊形象の当事者である

2　舞踊手は踊りが上手でなければならない

3　舞踊手はアンサンブルを保たなければならない

Ⅳ　舞踊表記

1　舞踊を表記するのは舞踊芸術発展の
必須の要求である

2　舞踊表記法は科学性と大衆性が
保障されなければならない

3　新しくつくられた舞踊表記法は舞踊を
正確かつ簡便に表記する

4　舞踊表記法をさらに完成し、
広く利用すべきである

舞踊芸術は人びとに生の喜悦と生活の張り合いを与える、美しく高尚な芸術である。時代の要請と人民の志向を反映した革命的な舞踊芸術は、勤労人民大衆に生活の真の張り合いをもたせ、かれらを新しい生活の創造へと奮い立たせる。

舞踊芸術を発展させることは、社会主義芸術をりっぱに建設し、人民の文化・情操生活水準を高めるうえで重要な意義をもつ。舞踊芸術を発展させてこそ、さまざまな様式の芸術を多様に発展させ、日ごとに増大する人民の文化・情操生活の要求を十分にみたすことができる。

わが党は、社会主義芸術をりっぱに建設し、人民の文化・情操生活を高めるうえでの舞踊芸術の重要さにかんがみて、舞踊芸術の発展に大きな力を傾けてきた。

わが党の賢明な指導のもとに、これまでわが国では舞踊芸術の発展において大きな成果が達成された。

舞踊芸術部門では 4 大名作をはじめ朝鮮人民の気高い思想・感情と革命的な生活をりっぱに形象化したすぐれた舞踊作品と、祖先の英知と美しい生活風習を反映した民俗舞踊作品が数多く創作され、舞踊芸術をより科学的に発展させうる新たな舞踊表記法がつくりだされた。

舞踊芸術作品の創作と形象化における問題をはじめ、舞踊芸術を発展させるうえでの主体的な理論と方法ももたらされた。舞踊芸術にかんする主体的な理論と方法は、社会主義舞踊芸術の発展において重要な指針となる。

舞踊芸術部門では、これまでわが党の指導のもとに舞踊芸術を発展させる過程でもたらされた主体的な理論と方法を深く研究、体得し、さらに深化、発展させて、われわれの社会主義舞踊芸術をより高い段階へと発展させなければならない。

Ⅰ　生活と舞踊

1　舞踊はリズムの芸術である

舞踊芸術は人間とその生活を形象化する。舞踊が人間を形象化するというのは、人間の性格を描くということを意味する。人間の性格において基本となるのは思想と感情である。舞踊は人間の思想・感情を形象化することによって、その性格を描きだす。

人間の思想・感情は具体的な生活のなかで形成され、あらわれるものである。人間は具体的な生活を離れては思想・感情をもつことも、あらわすこともできない。人間は自分の意思と要求にしたがって自然と社会を改造し、自主性と創造性を実現する闘争の過程でさまざまな思想・感情をもち、表現することになる。舞踊では、人間の思想・感情が形成され表現される具体的な生活を形象化する。

人間の生活は多様である。人間の生活は、自主的要求と創造的能力が高まるにつれて、ますます多様になる。舞踊は人びとの気高く美しい思想・感情があらわれる多様な生活をリアルに描きだすことによって、人びとを思想的、情操的に教育し、新しい生活の創造へと力強く立ち上がらせる。

舞踊では自然のいろいろな現象を形象化する場合もある。しかし、舞踊で描きだされる自然現象は人間の生活とかけ離れた単なる自然現象ではない。芸術で人間の生活と関係のない単なる自然

現象を描きだすのは無意味なことである。芸術作品における自然現象の描写は、人間の思想・感情と生活をより幅広く、掘り下げて描きだすことに服従する。舞踊においても、自然現象の描写は人間の思想と生活感情をいっそうリアルに描きだすのに寄与する。

舞踊『雪が降る』では抗日遊撃隊の女子隊員を描くとき、夜空に舞う雪の自然現象を形象化している。これは、単に自然の風景を見せるためではない。夜空の雪は、叙情的でありながらドラマ性の強い音楽とともに多様に変化しつつ、ときには与えられた状況にもなれば、主人公である女子隊員の心情を代弁もし、主人公の崇高な精神世界をいろいろな面からきわだたせている。こうして舞踊『雪が降る』は、抗日武装闘争の苦難の日々にあらゆる試練を克服しながら、革命の赤旗を高くかかげて力強く戦っていく抗日遊撃隊の女子隊員の不撓不屈の革命精神を感銘深く描きだしている。この舞踊で夜空に舞う雪の自然現象を、俳優の芸術的リズムによっていかにみごとに描きだしたとしても、抗日遊撃隊の女子隊員の形象がなければ、それは何の意味もない。舞踊は自然現象を描く場合、それを人間の生活と思想・感情の描出に役立たせることによって、人間の美しい思想・感情と真の生活を示さなければならない。

舞踊は人間の思想・感情と生活を芸術的リズムによって描きだす。人間の思想・感情と生活を芸術的リズムによって描きだすのは、他の芸術と区別される舞踊芸術の特徴である。

芸術には音楽、演劇をはじめさまざまな様式がある。芸術がさまざまな様式に区分されるのは、主に生活を反映する表現手段と手法がそれぞれ異なることと関係している。人間の生活を反映す

るうえで、音楽は旋律を基本的表現手段とし、演劇はせりふを基本的表現手段としている。

舞踊は芸術的リズムを基本的表現手段としている。舞踊をリズムの芸術とする理由はまさにここにある。舞踊はリズムを表現手段としているが、すべてのリズム現象が舞踊の表現手段になるのではない。広い意味で、リズムは一定の間隔をおき、調和をなして規則的に反復される運動の流れである。周期的に繰り返される運動の流れとしてのリズム現象は自然界にもある。自然界における律動的な現象は、自然の運動法則によって起こる。自然界の律動的な現象は、人間がすぐには感受できない長短の時間をおいて、味気なく単調に起こる。それゆえ、自然の運動法則にしたがって起こる自然界のリズム現象は規則性と周期性をおびたものであっても、人びとの情緒的感興をさほどそそることができない。

芸術のリズムは、人間が美学的要求に即して目的意識的に創造したリズムである。人間が美学的要求を充足させる目的で創造した芸術のリズムは、詩と音楽をはじめ文学と芸術の各様式に具現され、人びとの豊かな美的情緒と芸術的感興を呼ぶ。

芸術のリズムのうち、典型的で高い形態のリズムは舞踊のリズムである。舞踊のリズムは体の調和のとれた動きによってもたらされるリズムである。体の各部位の調和のとれた動きによってもたらされる舞踊のリズムは、芸術のリズムのうちでももっとも生き生きとして鮮明であるばかりでなく、豊かな情緒的表現力をもつ。

舞踊のリズムは体の動きによってもたらされるが、体の動きがそのまま舞踊のリズムになるのではない。舞踊のリズムをなすも

っとも重要な要素は対照と反復である。高低、長短、強弱といった対照と反復がなくては、いかなるリズム現象も起こりえない。対照と反復というリズムの要素は自然界の運動にもあり、人間の日常的な行動にもある。普通、人間は歩いたり走ったりするときに両腕と両脚を交互に前へ動かすが、それにも対照と反復がある。しかし、その対照と反復もリズムの要素ではあるが、それはきわめて単調なものである。舞踊のリズムは、人が日常生活で体を動かすときのリズムの要素を芸術的に加工し、調和をもたせるときにもたらされる。そのため舞踊のリズムを芸術的リズムというのである。

舞踊のリズムは情緒的な表現力をもっている。それは、具体的かつ繊細な動作が音楽の拍子と旋律に乗ってなされるからである。舞踊のリズムは情緒的な表現力をもっているがゆえに、人間の思想・感情と生活を芸術的に形象化することができるのである。

舞踊のリズムは民族的情調をおびる。人の動作にもとづく舞踊のリズムは、その国の人民の独特な生活様式と労働の過程で形成され、民族的情緒に合わせてととのえられるので、民族的特色をおびる。舞踊のリズムは民族的拍子に合わせてつくりだされるため、民族的情調がいっそう濃厚になる。舞踊のリズムは鮮やかな民族的情調をおびるので、民族舞踊の特性をあらわすようになる。

舞踊のリズムは具体的に踊りの動作と構図を通じて形成され表現される。踊りの動作とその組み合わせによってリズムの流れがつくられ、それは多様な構図の変化を通じていっそう浮き彫りにされる。

踊りの動作は音楽の拍子と旋律に乗ってリズムをなし、舞踊の

思想的・情緒的内容を表現する。

踊りの動作は、芸術的にととのえられた体の各部位のさまざまな動きと形が調和のとれた結合をなして形成される。腕と脚をはじめ体の各部位の動きと形が調和のとれた結合をなして形成される踊りの動作は、律動性と造形性をあらわす。美しい造形性と律動性は踊りの動作の重要な特徴である。舞踊では、人びとの多様な思想・感情と生活を造形的かつ律動的な踊りの動作によって描きだす。

踊りの構図は、舞踊家が踊るときの位置とその変化によって形成される造形的なコンポジションである。踊りの構図は一定の形の線と隊形としてあらわれる。

踊りの構図はリズム表現の重要な要素であり、踊りの動作とともに作品に反映された生活を多様な角度から造形化して作品の主題的・思想的内容を鮮明に表現し、踊りの動作を連結し発展させることによって舞踊の芸術的形象化水準を高める。舞踊では踊りの動作と構図が調和しととのってこそ、リズム表現の視覚的な特性が生かされ、形象が生彩を放つようになる。

舞踊はリズムの芸術であるが、リズムだけでは形象化の目的を達成することができない。舞踊はリズムを基本的表現手段としながら、それに音楽と舞台美術をともなう。

舞踊において音楽は不可欠の重要な表現手段である。

舞踊は本来、音楽と密接に結びついている。舞踊が音楽と結びつくのは、音楽が芸術的リズムの基礎であるからである。舞踊の芸術的リズムは音楽に乗って形成され、展開される。芸術的リズムが音楽に乗るからといって、自然に形成されるわけではないが、

音楽をぬきにしては形成されない。芸術的リズムは音楽の調子が視覚的な体の動きによって表現されたものである。

舞踊において音楽はリズムと情緒をもりあげる一方、作品の主題・思想の解明に寄与する。舞踊音楽は調子が明確な旋律形象によって人物の内面世界を情緒的に力強く開放し、作品の主題・思想を鮮明にする。

舞踊において舞台美術は重要な表現手段である。

舞踊において舞台美術は人びとの生活環境をリアルに示すことによって、形象化される人物の性格をきわだたせる。舞踊で舞台美術はまた、その固有な特性により、他の表現手段がとってかわることのできない重要な表現手段となる。

舞台美術において衣装と小道具は重要な要素である。衣装と小道具は作品の時代相と登場人物の性格を明確にする。舞台装置と背景、照明も舞台美術の重要な部分をなす。美術的手段は時代の環境と人物の性格をきわだたせ、舞踊をいっそう美しく華麗なものにする。

舞踊芸術はリズムと音楽、舞台美術を結合した総合芸術の一様式である。

2　舞踊は人間の自主的で創造的な生活のなかで発生、発展する

芸術は人間の自主的で創造的な生活のなかで発生、発展する。人間の自主的で創造的な生活をぬきにしては、芸術の発生、発展

について考えることはできない。芸術は、人間が世界を自らの意思と要求にそって、目的意識的に改造していく過程で体験する思想・感情と生活を形象的に反映するようになった結果、社会的意識の一形態として発生した。

人間は自主的要求と創造的能力が高まるにつれて、それに相応して文化生活の領域を広げながら、新しい芸術様式を切り開き発展させてきた。芸術様式のなかには、人類史の初期に発生、発展してきたものもあれば、歴史発展の一定の段階で発生、発展してきたものもある。

舞踊はもっとも起源の古い芸術様式の一つである。舞踊は、人類が発生し、自然を変革し社会を改造しはじめた時期に生まれた。

人類社会の初期の原始時代の人びとは、自然を一歩一歩征服していく労働生活の過程で体の動きによるリズムを感じるようになり、そのリズムに手足と呼吸を合わせれば疲れをとり、いっそう楽しく働けることを知った。一方、人びとは労働過程での成果によって自分の力と尊厳を自覚し、生活の誇りと喜びも感じるようになった。かれらは、きびしい自然とたたかう苦難の生活過程で体験する思想・感情と情緒を単純なリズムによって表現した。これが初期の舞踊の発生である。

発生初期の舞踊は素朴なものであった。それは舞踊というよりも、断片的な身ぶりや行動に言葉と音声をともなった生活の一部分であった。このような舞踊は、そのほとんどが生活の目的を達成するための手段として利用された。

人びとはしだいに自然の束縛から抜けだすにつれて、生活をいっそう楽しむようになり、生活を楽しむための手段の一つとして

踊りをおどるようになった。そのころの舞踊はすでに労働の過程と自然現象を単に再現したり模倣したものではなく、人間の美的要求と情緒を具現して芸術的にととのえたものであった。言うまでもなく、そのころの舞踊ははじめから完成されたものではなかった。舞踊はその長い発展の過程で、古い動作がなくなり、新しい動作がたえず補われて豊富になり、磨きがかかってしだいに完成された。

舞踊は人間の労働生活の過程で生まれ、生活を楽しむ手段として利用されたため、どの芸術様式よりも人間の生活と深いつながりをもって発展した。

人間は一定の地域を単位として生活しながら文化を創造し、発展させてきた。したがって、かつて人類が創造した文化には地域的な特性が反映され、地方ごとの具体的な生活風習も反映されるようになった。舞踊はかつて人びとの生活と切り離すことのできない重要な文化的手段であったので、それには地方の固有な生活と風習が鮮明に反映された。一定の地域を単位として、その地方の人民の労働生活と独特な生活風習を反映して発展してきた舞踊が民俗舞踊である。

歴史発展の一定の段階にいたって、人間は社会的集団の強固な形態である民族を形成し、民族国家を単位として生活し、文化も民族別に発展させてきた。人間が民族国家を単位として生活しながら民族別に発展させてきた文化には、おのずと民族の独特な生活と性格がそのまま反映され、民族文化を形成することになった。人間は舞踊も、民族を単位として生活する過程で発展させてきた。人間が民族を単位として生活する過程で発展させてきた舞踊がす

なわち民族舞踊である。民族舞踊にはその民族に固有な生活と情緒が反映されている。

朝鮮舞踊には朝鮮人民の民族的情緒と感情が反映されている。昔から朝鮮人民は踊りと歌を好んだ。朝鮮人民が好んだ踊りと歌には、人民の勤勉な労働生活と美しい風習が生き生きと反映されている。

朝鮮人民は遠い昔から毎年、大小さまざまな民俗行事を催すとき、多くの人がひとところに集まって踊りを楽しんだ。民俗行事があるときには、村の老若男女が総出で、主に豊年の喜びと歓喜、翌年の豊作を祈願して踊りをおどって楽しんだ。

長い歳月にわたって人びとが踊りをおどって生活を楽しむ過程で、人並みはずれて踊りの上手な人が出てくるようになった。かつては踊りの上手な人を踊り屋と呼んだ。わが国には各地方や村ごとにそのような踊り屋がいた。民俗的な祭日をはじめ村にめでたいことがあると、人びとは踊り屋を押し立てて踊りの輪をつくり、一団となっておどった。ところが多くの場合、踊り屋がその場を独占し、ほかの人たちはそれを見て楽しんだ。そんなとき、踊り屋は自分が楽しむだけでなく、ほかの人たちを楽しませるために踊りをおどった。こうして踊りを専門にする人と踊りを見物する人が生まれるようになった。こうした分化過程を経るうちに、踊りを生業または半生業とする人が生まれた。

踊りを専業とする職業的な踊り屋が生まれ、踊りにさまざまな伴奏手段と美術手段が結合し、それがより多くの人に見せるためのものに発展して、舞踊芸術という独自の芸術分野が切り開かれた。

わが国で舞踊が独自の芸術分野として発展しはじめたのは遠い

昔のことである。朝鮮人民は昔から、自分の創造的な生活を美しく優雅なリズムにもりこんだ民族舞踊をりっぱに創造し発展させてきた。ところが、搾取社会にいたって支配階級が舞踊芸術をかれらの統治と享楽の手段として利用したため、舞踊芸術の発展ははなはだしく抑制された。

中世にいたって、わが国では寺党牌という民間芸術団体が組織され、広く活動した。寺党牌には踊りや歌を専業とする人たちが網羅されていた。当時、そのような人たちは寺党と呼ばれていた。かれらは村々をめぐり歩き、庭を舞台としておどったり、うたったりした。かれらの踊りは一定の作品形式をそなえてはいなかったが、その場の遊びにふさわしい即興的でうまみのある踊りをおどった。寺党の踊りには民族的な興趣と特色のあるリズムが少なくなかった。封建時代に支配階級は寺党をさげすんだが、人民はそれを好んだ。それゆえ当時、寺党牌の芸術活動は農村をはじめ全国各地でさかんにくりひろげられ、近世まで存続していた。

社会が発展し、人びとの文化・情操生活の要求が高まり、芸術形式が発展するにともなって、舞踊も鑑賞を目的とする芸術舞踊に発展した。こうして舞踊は、誰でも日常的に楽しんでおどれる大衆舞踊と、劇場の舞台で専門の芸術家によって創作、公演される芸術舞踊に分かれるようになった。

芸術舞踊は大陸別、国別、民族別に異なった時期に形成され発展してきたのであり、その形式と形態のうちには各国間の芸術交流を通じて互いに摂取され一般化されて世界に広まったものもある。現今の芸術舞踊には民族舞踊とバレー、現代舞踊があり、それらが結合したり派生して生まれたさまざまな舞踊形式がある。

文化生活にたいする人びとの要求がさらに高まるにつれて、豊かな文化・情操生活と精神的・肉体的鍛練を目的とする多様な形式の体育舞踊が新たに発展した。

元来、舞踊は人間の体の動きにもとづいたものなので、それは昔から生活を楽しむ手段としてだけでなく、身体を鍛え、武術を練磨する手段として広く利用されてきた。わが国では高句麗（コグリョ）時代に人民と武士のあいだで身体を鍛え、武術を練磨するための踊りがさかんになり、剣の舞や槍の舞など武器を手にした軍事舞踊が広く普及した。

体育舞踊には体操舞踊と水中舞踊、氷上舞踊がある。体育舞踊は体育的要素と舞踊的要素が結合した舞踊である。体育舞踊は育ちゆく新しい世代のみならず、勤労者の文化・情操生活にも大きく寄与する。

こんにちわが国では、育ちゆく新しい世代を知・徳・体をそなえた全面的に発達した人間に育てあげるという党の教育方針にもとづき、青少年学生のあいだで体操舞踊が広く奨励されている。体操舞踊はその高い思想性と造形美によって人民に愛されている。水中舞踊と氷上舞踊も急速な発展をとげており、人民の文化・情操生活を豊かなものにしている。わが国では、人民の自主的で創造的な生活の要求に即して舞踊芸術を多様に発展させている。

舞踊芸術は、階級社会以前は階級的性格をおびることなしに発展してきた。しかし階級社会にいたって、舞踊芸術も他の芸術と同様に階級的性格をおびるようになった。それは、階級社会では舞踊芸術に支配階級の思想・感情と生活も反映され、抑圧され搾取される勤労人民の思想・感情と生活も反映されたからである。

搾取社会において舞踊は少数の搾取階級の享楽の道具として利用されたため、人民の生活感情と情緒に合った真の芸術に発展しなかった。階級社会において支配階級は、舞踊芸術にかれらの低俗な思想・感情と退廃的な生活をもりこみ、それを豪奢で放埒な生活の道具として利用した。

封建社会で舞踊は、支配階級の酒宴の余興に利用された。封建社会の支配階級の思想・感情と生活を反映した代表的な舞踊は宮廷舞踊である。

宮廷舞踊は国と民族によってさまざまな形式で発生し、発展してきた。それは宮廷生活が国と民族によって異なっていたことに起因する。

ヨーロッパ諸国の宮廷舞踊はおおかた舞踏会舞踊の形式で発展した。舞踏会舞踊は、主に人民のあいだで創作され発展した民俗舞踊を、封建貴族がかれらの好みと情緒に合わせて構成を変え、動作を加工した舞踊であった。ヨーロッパ諸国の宮廷でおこなわれた舞踏会舞踊の形式は、国と民族によって多少の違いはあるものの、大同小異であった。

東方諸国の宮廷舞踊はヨーロッパ諸国の宮廷舞踊とは発展の仕方が異なっていた。東方諸国の宮廷舞踊は王や封建貴族がおどる踊りとしてではなく、かれらの鑑賞の対象として発展した。わが国においても封建時代に宮廷舞踊が発展した。宮廷舞踊は封建貴族の思想・感情と生活に合わせてつくられたものであるため、内容においては反人民的性格をおびていた。しかし、踊りの動作をはじめ形式には民族的情調が反映されていた。宮廷舞踊が形式において民族的情調をおびるようになったのは、人民のあいだで創

作された民俗舞踊を下地にし、人民のなかから生まれた芸術の才人によってつくられたからである。

封建社会の支配階級は宗教の教理を人びとに伝播するため、宗教儀式に舞踊を取り入れた。わが国においても封建時代には宗教舞踊が少なくなかった。封建社会の宗教舞踊は支配階級の思想・感情と生活を反映したものであり、あくまでも宗教的色彩が濃厚である。しかし、宗教舞踊も宮廷舞踊と同様に民俗舞踊を下地にして、人民のなかから生まれた芸術の才人によってつくられたものであるため、踊りの動作をはじめ舞踊の形式は民族的情調をおびざるをえない。

資本主義社会にいたって舞踊はブルジョアジーの思想・感情と生活を反映するようになり、資本主義的舞踊は反人民的なものであった。資本主義的舞踊は人民の健全な思想・意識と生活をむしばみ、人びとを腐敗堕落した生活へとあおり立てる。資本主義的舞踊はブルジョアジーの怠惰で退廃的な生活を奇形的なリズムにもりこむ。

資本主義社会においてブルジョアジーの思想・感情と生活を反映している舞踊は、すでに高尚な芸術としての自己の存在を終えて久しい。資本主義社会の酒宴や遊興の場に氾濫している遊興舞踊は、ブルジョアジーの怠惰で変態的な思想・感情と生活を反映した舞踊であり、人民の気高い思想・感情を麻痺させ、自主性を抑制するもっとも反動的で反人民的な舞踊である。

搾取社会において人民は、搾取と抑圧、支配と従属に反対し、自主性の実現をめざす創造的闘争をたえず展開し、それを舞踊芸術にそのまま反映した。搾取社会においても人民によって創造さ

れた舞踊は、かれらの自主的で創造的な生活を民族的舞踊形式に豊かに反映した。人民の自主的で創造的な生活を反映した舞踊は、進歩的で人民的な舞踊である。進歩的で人民的な舞踊には、あらゆる支配と従属に反対し、自主性の実現をめざす人民の思想・感情と志向が反映されており、多様で美しい生活がもりこまれている。

わが国の民俗舞踊をみても、それにはかつて新しい生活を志向した人民の思想・感情と情緒、地方色をおびた多様で美しい生活がもりこまれている。民俗舞踊『トンドルラリ』は咸鏡（ハムギョン）道地方の東海沿岸の人びとが好んだ踊りである。咸鏡道地方の人びとは祝祭日や、喜ばしいことや楽しいことがあるたびに民謡『トンドルラリ』をうたい、それに合わせて『トンドルラリ』の踊りをおどったものである。民俗舞踊『トンドルラリ』は　『ドントルナル（明ける日）』とも呼ばれたが、それは搾取と抑圧のない自主的な新しい生活を望む人民の志向と念願を反映している。

こんにち、われわれの社会主義的舞踊芸術は、朝鮮人民の思想・感情と自主的で創造的な生活を反映している。こんにち、朝鮮人民はチュチェ思想の旗を高くかかげ、社会主義の完全な勝利と祖国の自主的統一を実現するために力強くたたかっている。社会主義の完全な勝利と祖国の自主的統一を実現するのは、自主性を実現するための朝鮮人民の当面の闘争課題である。

自主性の実現をめざす人民の闘争を正しく描くのは、チュチェ芸術の本来の要求である。チュチェの舞踊芸術はその本来の要求に即して、自主性の実現をめざすわれわれの時代の人民の生活をりっぱに描きださなければならない。

3　革命的舞踊芸術の伝統を継承し、発展させるべきである

革命的舞踊は労働者階級をはじめ人民大衆の思想・感情と生活を反映した舞踊である。革命的舞踊には労働者階級の思想・感情と生活が集中的に反映される。

労働者階級は人民大衆の自主性を完全に実現すべき歴史的使命をになっている、もっとも革命的な階級である。労働者階級は自然と社会のあらゆる束縛と従属から脱して、自己の運命の主人として生きようという志向と要求がもっとも強い階級であり、自己の運命を自主的に、創造的に切り開いていく階級である。

労働者階級は歴史の舞台に登場したときから、あらゆる自然の束縛と社会の従属に反対し、人民大衆の自主性を実現するために間断なくたたかってきた。労働者階級は人民大衆の自主性の実現をめざす革命闘争の過程で、自己の運命の主人、自分の生活の創造者としての人間の尊厳と誇り、張り合いと喜びを深く理解し、どの階級にもまして気高い美的感情をもつようになった。労働者階級は、人民大衆の自主性を実現するための革命的志向と気高い美的感情を、舞踊をはじめさまざまな様式の芸術にもりこんで革命的芸術を創造し、それを享受する。人民大衆の自主性の実現をめざす労働者階級の革命的志向と気高い美的感情をもりこんだ舞踊が革命的な舞踊である。

労働者階級は、卓越した領袖の指導のもとに自主性を実現するための革命闘争を進める過程で、人民大衆の自主的な志向と要求

を反映した革命的な芸術を創造することになる。

労働者階級の領袖は、搾取階級に反対し、人民大衆の自主性を実現するための革命闘争を導く過程で革命的な文芸思想を創始し、舞踊をはじめさまざまな様式の革命的文学・芸術作品を創作して、それを革命闘争に立ち上がった人民大衆を革命的に教育する強力な思想的武器として利用する。

領袖の指導のもとに搾取階級の打倒と人民大衆の自主性の実現をめざす革命闘争の過程で創始された文芸思想と、新たに創造された舞踊をはじめさまざまな様式の芸術作品は、労働者階級の革命的文芸伝統をなす。

領袖の指導のもとに築かれた革命的文芸の伝統は、労働者階級の革命的文学・芸術の発展においてその成果を保証する確固たる基礎であり、代を継いで継承し、発展させるべき貴重な革命的財産である。労働者階級は、領袖の指導のもとに築きあげた文学・芸術の革命伝統を、自己の歴史的使命をまっとうする全期間にわたって変わることなく擁護し、継承、発展させなければならない。そうしてこそ、舞踊をはじめさまざまな様式の芸術を、革命的な労働者階級の芸術として変わることなく発展させていくことができる。

わが国の舞踊芸術の革命伝統は、偉大な領袖金日成（キムイルソン）同志によって導かれた抗日革命闘争の時期に築かれた。

金日成同志は自主時代の要請を反映してチュチェ思想を創始し、チュチェ思想を具現して朝鮮革命にかんする主体的な路線と方針をうちだし、抗日革命闘争を賢明に導くことによって、祖国解放の歴史的偉業をなしとげ、わが党の輝かしい革命伝統を築きあげ

た。金日成同志は抗日革命闘争の時期に、人民大衆の自主性の実現をめざす革命闘争における革命的文学・芸術の役割を科学的に分析し、それにもとづいて主体的な文芸思想を創始し、抗日遊撃隊員と人民を抗日革命闘争に力強く立ち上がらせる数多くの革命的芸術作品を創作するよう指導した。金日成同志は抗日革命闘争を展開する苦難の日々に、自ら演劇や歌劇、歌謡、舞踊などさまざまな様式の芸術作品を多数創作することによって、わが国の革命的芸術発展の起源を開いた。

金日成同志は初期革命活動の時期に自ら革命的舞踊作品を創作し、わが国の舞踊発展に根本的な転換をもたらした。その時期に金日成同志は歌舞『団結紐』と『13 道自慢』を創作し、広範な人民のあいだで公演するようにした。歌舞『団結紐』には、各階層のすべての反日愛国勢力が一つにかたく団結して日本帝国主義を打倒し、祖国の解放をなしとげなければならないという内容がもりこまれている。歌舞『団結紐』と『13 道自慢』は、民族的形式にもとづいて新たな芸術的形象化がなされている。

金日成同志は抗日武装闘争の時期に、抗日遊撃隊員が多くの革命的舞踊を創作して公演するように導いた。金日成同志は主題の方向と内容、踊りの動作と衣装、小道具をはじめ革命舞踊の創作におけるすべての問題を具体的に指導した。金日成同志の細心な指導のもとに、抗日遊撃隊員は『総動員歌の舞』と『騎兵隊の舞』、『武装の舞』、『赤布の舞』、『裁縫隊員の舞』、『木皮の舞』など数多くの革命舞踊を創作して公演した。抗日革命闘争の時期に創作、公演された舞踊は主題が多様でありながら、革命的な内容で一貫されている。抗日革命舞踊は、金日成同志を民族の太陽、

指導者として高く仰ぎ、したがう抗日遊撃隊員と人民の熱烈な欽慕の念と、反日民族統一戦線を実現する路線、武器を自力で解決する方針をはじめ金日成同志が示した朝鮮革命にかんする主体的な路線と方針、抗日遊撃隊員の熱烈な祖国愛と民族的自負心、革命勝利の確信と不撓不屈の闘争精神、革命的楽観主義精神、抗日遊撃隊を物心両面にわたって援護する遊撃根拠地の人民をはじめ朝鮮人民の革命精神と生活、軍民一致の気高い美風などを反映している。

抗日革命舞踊は形式において大衆的である。抗日革命舞踊は、歴史的に形成された朝鮮舞踊の民族的形式を、抗日遊撃隊員と人民の思想・感情と生活を反映できるように新たに発展させた。

抗日革命舞踊は抗日遊撃隊員と人民の戦闘的な生活をリアルに描写できるように、踊りの構成は簡潔で大衆的なものに、構図は単純でありながらも生活の論理に合ったものに、動作は腕の動きを基本とする朝鮮舞踊の特性を生かして優雅で柔らかく、しかも戦闘的気迫にあふれ、アピール性と扇動性が強く、表現力の富んだものにつくられた。

抗日革命舞踊は主に革命歌謡を舞踊音楽として利用した。抗日革命舞踊はその題名も総じて革命歌謡の題名がそのままつけられた。そのため抗日革命舞踊は思想的・主題的内容が明確であった。

抗日革命舞踊は衣装と小道具も、その思想的・主題的内容に合わせてととのえられた。抗日革命舞踊は抗日遊撃隊員と人民の革命的な思想・感情と生活が素朴でリアルに表現され、誰にも理解しやすくおどりやすいものになっている。

抗日革命舞踊は種類と形式も多様である。抗日革命舞踊には、

抗日遊撃隊員と人民が生活を楽しむための大衆舞踊もあり、抗日遊撃隊員と人民を思想的、情操的に教育するための芸術舞踊もあった。芸術舞踊には独舞と双舞、群舞があり、『団結紐』や『13道自慢』のような歌舞もある。歌舞『団結紐』と『13 道自慢』は独特な形式の歌舞である。

抗日遊撃隊員は金日成同志の指導のもとに、集団の力と知恵を集めて戦闘的に、機動的に革命舞踊を創作して公演した。抗日遊撃隊には舞踊作品を創作する専門家がいなかった。抗日遊撃隊員は集団の知恵を集め、革命歌謡に合わせて踊りの動作をつくりだし、小道具と衣装をととのえ、舞踊作品を戦闘的に創作し公演した。その過程で、革命的で戦闘的な舞踊創作気風と創造方法が確立された。抗日革命闘争の時期に創作、公演された抗日革命舞踊は、日本帝国主義に抗して祖国の解放をなしとげるたたかいに抗日遊撃隊員と人民を立ち上がらせるのに大いに寄与し、わが国の革命的舞踊芸術の歴史的根源となった。

われわれは抗日革命舞踊の輝かしい伝統を固守し、発展する現実の要求に即して継承、発展させなければならない。そうしてこそ、わが国の舞踊芸術を、金日成同志によって切り開かれたチュチェの革命偉業に寄与する革命的舞踊芸術に発展させていくことができる。

抗日革命舞踊の輝かしい伝統を継承し発展させるうえで重要なのは、抗日革命闘争の時期に創作、公演された舞踊作品を広く発掘し、改作して舞台で演じることである。

抗日革命闘争の時期に創作、公演された革命的な文学・芸術作品を改作して舞台に乗せることは、抗日革命文学・芸術の伝統を

継承し発展させるうえで基本となる。わが党は、金日成同志によって抗日革命闘争の時期に創作された不朽の名作を文学・芸術のさまざまな様式に移すことを、抗日革命文学・芸術の伝統を固守し、継承、発展させるための一貫した方針とし、それを貫徹することによって、芸術部門に新たな転換をもたらした。舞踊芸術部門では、金日成同志によって創作された歌舞『団結紐』と『13 道自慢』を改作して舞台に乗せ、他の一部の芸術様式においても抗日革命舞踊を改作した。しかし、抗日革命舞踊はすべて発掘されておらず、発掘された舞踊のうちでも改作されて舞台に乗せられたものは少ない。舞踊芸術部門では抗日革命舞踊をことごとく発掘して革命舞踊の財宝として残し、それを改作して公演すべきである。抗日革命舞踊の改作にあたっては、原作に忠実でありながらも、われわれの時代の人民の美感に合わせてりっぱに形象化すべきである。

抗日革命舞踊の大衆性も継承し、発展させるべきである。抗日革命舞踊は形式において人民的かつ大衆的である。抗日革命舞踊は踊りの動作と構図をはじめ、表現手段が簡潔で明白かつ生活的なものになっている。抗日革命舞踊は理解しやすくおどりやすい。舞踊芸術部門では抗日革命舞踊の大衆性を継承し発展させて、こんにちの朝鮮人民の思想・感情と生活をリアルに描きだしながらも、人民が見てすぐ理解できるように大衆的なものにすべきである。

抗日革命舞踊の集団的な創作方法も継承し、発展させなければならない。抗日革命闘争の時期に専門の創作家がいなかったにもかかわらず数多くの革命舞踊が創作されたのは、大衆の知恵を大

いに発揮させて集団的に創作したからである。大衆の知恵を大いに発揮させて集団的に舞踊を創作することは、こんにちにおいても重要な意義をもつ。こんにち、社会主義の完全な勝利と祖国の自主的統一の実現をめざしてたたかう朝鮮人民の生活はバラエティーに富んでいる。わが国の舞踊芸術は人民の多様な生活を芸術的リズムでりっぱに描きだすことによって、社会主義的舞踊芸術をさらに発展させ、人民の文化・情操生活を豊かなものにしなければならない。人民の多様な生活を芸術的リズムによって描きだす作業は、幾人かの振付け師だけでは成功裏になしえない。他の活動と同様に、舞踊の創作においても舞踊家をはじめ芸術を愛好する大衆の集団的知恵を大いに発揮させなければならない。

4　舞踊は人民の多様な生活を描きだすべきである

芸術はいかなる内容を描きだすかによって、その性格が決まる。

真の舞踊芸術は、人民の自主的で創造的な生活を描きださなければならない。人民の自主的で創造的な生活を描いてこそ、革命と建設の主人である人民大衆の志向と要求を反映し、人民大衆を自主性の実現をめざす闘争へと力強く鼓舞することができる。

われわれの舞踊芸術は朝鮮人民の自主的で創造的な生活をりっぱに描きだすことによって、人民を思想的、情操的に教育し、新しい生活創造の誇らしい闘争へと力強く鼓舞するのに寄与しなければならない。

われわれの舞踊芸術は何よりも、われわれの時代の人民の自主

的で創造的な生活を描きだすことに力を入れるべきである。

こんにち朝鮮人民は党と領袖の賢明な指導のもとに、自己の運命の主人、国の主人として自主的で創造的な生活を享受している。朝鮮人民の自主的で創造的な生活は日ごとに多様かつ豊かに発展している。舞踊芸術は社会主義的芸術発展の要求に即して、日ごとに多様かつ豊かに発展する朝鮮人民の自主的で創造的な生活をりっぱに描きださなければならない。

舞踊芸術は金日成同志への朝鮮人民の忠誠心をりっぱに描きだすべきである。これは、舞踊芸術に提起されている重要な課題である。これが重要な課題となるのは舞踊芸術の使命と関連している。われわれの舞踊芸術は労働者階級の革命偉業、チュチェの革命偉業に寄与しなければならない。

こんにち朝鮮人民が遂行しているチュチェの革命偉業は、金日成同志によって切り開かれ、導かれてきた。金日成同志は不滅のチュチェ思想を創始し、それにもとづいて自主性の実現をめざす朝鮮人民の革命闘争を勝利に導いてきた。朝鮮人民は金日成同志が創始したチュチェ思想の旗を高くかかげ、代を継いで金日成同志の指導に忠実にしたがわなければならない。そうしてこそ、金日成同志によって切り開かれたチュチェの革命偉業を最後までなしとげることができる。金日成同志の指導に忠実にしたがい、チュチェの革命偉業を代を継いで完成するためには、党員と勤労者に金日成同志の偉大さを体得させなければならない。芸術部門では金日成同志の偉大さをりっぱに形象化して、党員と勤労者が金日成同志の偉大さを深く認識し、代を継いで金日成同志の指導に忠実にしたがうようにしなければならない。

舞踊は芸術的リズムを表現手段とする特性のため、領袖の偉大さを直接的に形象化するのは容易でない。舞踊でもパンチャン（傍唱）やスライドの背景によって金日成同志の偉大さを直接的に形象化することはできる。しかし、舞踊におけるパンチャンやスライドの背景は基本的表現手段ではないので、そのような手段をとったのでは金日成同志の偉大さを形象化したとは言えない。したがって舞踊では、芸術的リズムを基本的表現手段とする特性に即して、金日成同志を高く仰ぎ慕う朝鮮人民の忠誠心を形象化して、金日成同志の偉大さを示さなければならない。朝鮮人民の忠誠心は金日成同志の偉大さをぬきにしては考えることができない。金日成同志を高く仰ぎ慕う朝鮮人民の忠誠心は、金日成同志の偉大さにもとづいている。

これまで舞踊芸術部門では、金日成同志を高く仰ぎ慕う朝鮮人民の気高い思想・感情を描きだした舞踊作品をりっぱに創作した。

舞踊『ヒマワリ』と『世界に咲きほこる金日成花』は、金日成同志を高く仰ぎ慕う朝鮮人民の気高い思想・感情をりっぱに描きだしている。舞踊『ヒマワリ』は、金日成同志を高く仰ぎ慕う朝鮮人民の忠誠心を、太陽を慕うヒマワリにたとえて描いており、舞踊『世界に咲きほこる金日成花』は、金日成同志を限りなく敬慕する朝鮮人民と世界の革命的人民の気高い思想・感情を、不滅の花「金日成花」にたとえて描きだしている。

これらの舞踊は歌謡『ヒマワリの歌』と『世界に咲きほこる金日成花』にもとづいて創作された。これまで音楽芸術部門では、金日成同志を高く仰ぎ慕う朝鮮人民の忠誠心をもりこんだ多くの歌謡を創作した。そのような歌謡のうちから踊りのリズムと

なりうるすぐれた歌を選んで舞踊にするなら、金日成同志の偉大さを示すりっぱな舞踊作品を十分つくりだすことができる。

党への忠誠心は、こんにち朝鮮人民の思想・精神生活において重要な位置を占めている。朝鮮人民は、金日成同志から授けられた貴い政治的生命を輝かしていけるように導き、見守ってくれるわが党を母のふところとし、自分の運命を全的に党に託しており、党の指導に忠実にしたがっている。党を信頼し慕う思想・感情は、偉大な党の指導を受ける朝鮮人民だけがいだいている気高い思想・感情である。舞踊芸術部門では、党を信頼し慕う朝鮮人民の気高い思想・感情を多様な生活を通してりっぱに描きだすべきである。

舞踊『母なる党のふところ』は、党にたいする朝鮮人民の忠誠心をりっぱに形象化した作品である。この舞踊は、わが党を母のふところとして信頼し慕う朝鮮人民の思想・感情をりっぱに描きだしている。

党にたいする朝鮮人民の忠誠心を反映した舞踊作品は、具体的な生活にその題材を求めることもできるし、党の偉大さを形象化した歌を題材にしてつくることもできる。党の偉大さを形象化した歌のなかには、党への朝鮮人民の忠誠心を舞踊で描きだせるものがたくさんある。舞踊芸術部門では、党を母のふところとして信頼し慕う朝鮮人民の気高い思想・感情を形象化したりっぱな舞踊作品をつくり、党員と勤労者が党の指導に忠実にしたがうようにしなければならない。

抗日革命闘争の時期の革命闘士と人民の生活を描いた舞踊作品もつくるべきである。

抗日革命闘争の時期の革命闘士と人民の生活を描きだすのは、舞踊の思想性・芸術性と認識的・教育的機能を高めるうえで重要な意義をもつ。

抗日革命闘争は、日本帝国主義者に奪われた祖国を取りもどし、国と民族の自主性を実現するためのもっとも聖なる闘争であり、革命闘争史上もっともきびしく困難な闘争であった。抗日革命闘士は、金日成同志への絶対的な忠実性と熱烈な祖国愛、階級の敵にたいする燃えるような憎悪心、革命勝利の確固たる信念、万難を排する不撓不屈の革命精神、あらゆるものを自ら解決していく自力更生の革命精神をもって、日本帝国主義者に抗して断固戦い、人民は、金日成同志の指導のもとに必ず祖国を解放して自主的な新しい生活を創造することができると確信し、抗日遊撃隊を物心両面にわたって援助した。抗日革命闘争の時期の革命闘士と人民の貴い実践的模範は、社会主義建設と祖国の統一をめざす朝鮮人民の闘争においてりっぱな鑑（かがみ）となる。長期にわたって日本帝国主義者との苦難の闘争をくりひろげた抗日革命闘士と人民の気高い革命精神と生活を題材にすれば、思想性・芸術性の高いりっぱな舞踊作品をつくることができる。

舞踊『雪が降る』と『祖国のツツジ』『箕（み）の踊り』は、抗日革命闘争の時期の革命闘士と人民の気高い革命精神と生活を思想的、芸術的にりっぱに形象化した作品である。舞踊『雪が降る』は白頭（ペクトウ）の風雪のなかであらゆる苦難と試練を乗り越えて、頑強にたたかいつづける抗日遊撃隊員の不撓不屈の革命精神を、舞踊『祖国のツツジ』は祖国を熱烈に愛する抗日遊撃隊員の愛国主義精神を、舞踊『箕の踊り』は抗日遊撃隊に食糧を送るために奮闘する人民

の姿をそれぞれ形象化している。これらの舞踊作品は労働党時代につくられた名作である。これらの舞踊が名作になりえたのは、抗日遊撃隊員と人民の気高い思想・感情と革命的な生活をリアルに描いているからである。舞踊『雪が降る』と『祖国のツツジ』『箕の踊り』は、自主性の実現をめざす人民の気高い思想・感情と革命的な生活をリアルに描いてこそ、すぐれた舞踊がつくれるということを示している。舞踊芸術部門では抗日の革命伝統を深く研究し、抗日遊撃隊員と人民の崇高な革命精神と多様な生活を探求して、芸術的リズムでりっぱに描きだすことにより、党員と勤労者をわが党の輝かしい革命伝統で武装させるのに寄与すべきである。

祖国解放戦争（朝鮮戦争）の時期にアメリカ帝国主義者に抗して勇敢に戦った、人民軍軍人と人民の英雄的な闘争を描いた舞踊作品をつくるべきである。

アメリカ帝国主義者の武力侵略に抗する 3 年間の祖国解放戦争は、祖国の自由と独立を守る正義の戦争であり、戦争史上類例のない熾烈な戦争であった。祖国解放戦争の時期、人民軍軍人と人民は党と領袖、祖国と人民への限りない忠実性と無比の献身性、集団的英雄主義を遺憾なく発揮した。かれらは自分たちを国の主人、土地の主人とし、張り合いのある幸福な生活をもたらしてくれた党と領袖のため、祖国と人民のために青春も生命もささげて戦った。祖国解放戦争の時期に発揮された人民軍軍人と人民の気高い革命精神は、いまでも人民を革命的に教育する思想的糧となり、りっぱな舞踊の素材となっている。

これまで舞踊芸術部門では、『わたしの重機』や『砲火の太鼓

の音』『わたしの持ち場』『直洞嶺（チクトン）の女性たち』をはじめ、祖国解放戦争の時期の人民軍軍人と人民の気高い革命精神と生活を反映した舞踊作品を少なからず創作した。しかし、これに満足してはならない。舞踊芸術部門では、祖国解放戦争の時期に戦争勝利のために英雄的に戦った人民軍軍人と人民の多様な生活を探し出して、芸術的リズムでりっぱに描きだすべきである。

社会主義を建設する朝鮮人民の多様な生活を形象化した舞踊作品を創作すべきである。

これは舞踊芸術部門に提起されている重要な課題の一つである。

こんにち朝鮮人民は、思想、技術、文化の 3 大革命の旗を高くかかげ、社会主義を建設するために力強くたたかっている。舞踊芸術部門では、このような人民の多様な生活を芸術的リズムでりっぱに描きだし、時代にたいしてになっている使命をりっぱに果たさなければならない。

こんにちの朝鮮人民の生活を舞踊によって形象化するうえで重要なのは、労働者階級の生活を正しく描きだすことである。

労働者階級は社会主義・共産主義社会を代表する階級であり、革命の指導階級である。労働者階級の生活をりっぱに描いてこそ、舞踊芸術の労働者階級的性格を生かし、労働者階級に役立つ舞踊芸術を発展させることができる。

労働者階級の生活を描いた舞踊作品をつくるのは容易なことではない。これまで労働者階級の生活を描いた舞踊作品があまり創作されなかったのは、少なからずこのことに起因している。これまでにつくられた作品にしても、ほとんどが軽工業部門の労働者の生活を描いたものであり、重工業部門労働者の生活を描いた舞

踊作品はいくらもない。重工業部門の労働者の生活を描いた舞踊作品といえば、金属工業部門の炉まわり工の生活を反映した『鉄湯が流れる』と『降仙(カンソン)のあかね空』しかない。これらの舞踊は溶銑をとる炉まわり工の生活を芸術的リズムでりっぱに描きだしている。舞踊芸術部門ではこれにとどまらず、採掘工業や機械工業など基幹工業部門の労働者の生活を描いた舞踊作品をより多くつくるべきである。

農民の生活を描いた舞踊作品をりっぱにつくるべきである。わが国の農民は、金日成同志によって示された主体的農法と社会主義農村問題にかんするテーゼを貫徹するために奮闘している。そのような農民の生活は多様である。農民の労働生活は春、夏、秋など季節によって異なり、また農産、畜産、果樹栽培、養蚕など作業によっても異なる。舞踊芸術部門では、農民の多様な生活を描いた舞踊作品を多くつくって、人民の文化・情操生活をいっそう豊かにし、農民を党の農業政策の実行へと奮起させるべきである。

人民軍は社会主義祖国と革命の獲得物をしっかりと守る、わが党の革命的武力である。社会主義祖国と革命の獲得物を守る人民軍軍人の生活は、党と領袖、祖国と人民への献身的奉仕精神で貫かれており、青春の誇りと戦闘的ロマンにみちている。舞踊芸術部門では、人民軍軍人の気高い革命精神と張り合いのある軍務生活を芸術的リズムで描きだし、人民軍軍人と人民を祖国防衛の精神で教育するのに寄与すべきである。また、戦闘・政治訓練を強化し、祖国の前哨を金城鉄壁のように守っている人民軍軍人の軍務生活と革命的同志愛、将兵一致の美風をりっぱに描きだすべき

である。これとともに、人民軍軍人が人民の生命、財産を保護し、社会主義建設を積極的に支援し、人民が人民軍軍人を肉親のようにいたわり、愛し、助ける軍民一致の伝統的美風も芸術的リズムで描きだすべきである。

祖国の自主的統一をめざす朝鮮人民のたたかいを描いた舞踊作品もつくらなければならない。祖国を自主的に統一することは、いっときも遅らせることのできないわが民族の最大の課題である。いま北と南、海外に在住するすべての朝鮮人民は、アメリカ帝国主義者を南朝鮮から追い出し、祖国の自主的統一をなしとげるために力強くたたかっている。南朝鮮の青年学生と人民は、アメリカ帝国主義者とその手先の植民地ファッショ支配に終止符を打ち、自主、民主、祖国統一を実現するため血を流してたたかっている。舞踊芸術部門では、自主、民主、祖国統一をめざす南朝鮮の青年学生と人民のたたかいをはじめ、祖国の統一をめざす全朝鮮人民のたたかいを芸術的リズムでりっぱに描きだし、祖国の自主的統一の実現に積極的に寄与すべきである。

過去の朝鮮人民の伝統的な生活を描いた舞踊作品もりっぱにつくるべきである。

そのような作品をつくれば、朝鮮人民のあいだに伝わる美しい生活と風習を人びとに見せ、民族的誇りと自負を高めることができる。朝鮮人民は長い歴史とすぐれた文化伝統をもつ英知ある民族である。朝鮮人民の英知と才能をうかがわせる過去の生活を、民族的な踊りのリズムにこめて見せれば、人びとに民族的誇りと自負をいだかせ、わが国の舞踊芸術をより豊かに、多様に発展させることができる。

過去の朝鮮人民の伝統的な生活を描いた舞踊作品をつくるうえで大切なのは、人民に固有な民族的風習を正しく描きだすことである。民族的風習には、人民の美しく多様な過去の生活が集中的に反映されている。民族的風習は民俗舞踊によく反映されている。われわれは歴史的に伝わる民俗舞踊を発掘して磨きをかける一方、新しい民俗舞踊もつくりだすべきである。

民謡と伝説を題材にしての民俗舞踊も創作しなければならない。民謡と伝説には、朝鮮人民の過去の思想・感情と民族的風習がよく反映されている。民謡や伝説に反映された朝鮮人民の思想・感情と風習を素材にすれば、すぐれた民俗舞踊をつくることができる。

われわれには、かつて朝鮮人民のあいだに広く伝わってきた伝説を題材にして民俗舞踊をつくった経験がある。『金剛（クムガン）天女』はそういった伝説を元にしてつくられた伝説舞踊である。この舞踊は、昔から美しく住みよい三千里錦繡江山（朝鮮の美称）を限りなく愛してきた朝鮮人民の思想・感情と生活風習をリアルに描いている。わが国には、人民の美しい思想・感情と生活風習を反映したすぐれた民謡と伝説が多い。舞踊芸術部門では、民謡と伝説を題材にして民俗舞踊をつくり、わが国の舞踊芸術をいっそう豊かに発展させるべきである。

朝鮮人民の過去の生活を反映した民俗舞踊の創作にあたっては、どの地方の生活風習を反映したものであるかがはっきりとあらわれるようにしなければならない。民俗舞踊はみなそれぞれの地方の特性をあらわしている。その地方の特性をあらわすのは民俗舞踊の持ち味と言える。わが国の民俗舞踊のなかには、個々の地方でおどったものもあれば、多くの地方で広くおどったものもある。

全国的な範囲で広くおどったものとしては農楽舞があるが、踊りの構成と動作には地方ごとに違いがある。民俗舞踊の創作にあたっては、地方の特性を十分に生かして、どの地方の生活風習を描いたものであるかがよく分かるようにしなければならない。

5　民族舞踊の形式を生かすべきである

民族舞踊の形式を生かすのは、社会主義的舞踊芸術の発展において堅持すべき重要な原則である。

芸術に反映される内容はそれに適した芸術形式を求め、時代の発展とともに新たに提起される多様な生活は、それを反映する新しい芸術形式を求める。芸術の形式は内容をあらわし、人びとに内容を伝える役割を果たす。芸術において内容をどのようにあらわし、伝えるかということは、どのような形式にもりこむかにかかっている。芸術はその内容に適した形式にもりこんでこそ、芸術的にりっぱに表現し、人びとにもっとも効果的に伝えることができる。内容がいかにりっぱなものであっても、それに適した形式にもりこまれなければ、芸術的にりっぱに表現することも、人びとに正しく伝えることもできない。内容を芸術的にりっぱに表現し、正しく伝えることができない芸術は、人びとの思想的・情緒的感興を呼ぶことはできない。思想的・情緒的な感興をそそらない芸術は人びとに愛されない。人民に愛されない芸術は真の芸術ではない。芸術が人民に愛され支持される真の芸術になるためには、人民の多様な生活を、それにもっとも適した形式にもりこ

まなければならない。

芸術において内容を正しくあらわし伝える形式は民族的形式である。

民族的形式は内容を芸術的にりっぱにあらわし、人びとにもっとも効果的に伝える。それは、民族的形式に民族的特性が反映されるからである。人びとは民族国家を単位として生活することにより、固有の民族的特性をもつことになる。民族的特性は主に思想・感情と情緒、慣習と趣味にあらわれる。人びとは民族的な思想・感情と情緒、慣習と趣味に合ったものをすぐに理解し取り入れる。人びとの思想・感情と生活を反映する芸術は、その内容を民族的形式にもりこんでこそ、人びとの民族的な思想・感情と情緒にいっそうよく合ったものになる。

民族的な思想・感情と情緒の豊かな芸術作品は人民に愛されるので、長い歳月が流れても消え去らず、綿々として伝えられる。わが国の芸術発展史をみても、朝鮮人民の思想・感情と情緒が十分に反映された芸術作品は、創作されて久しいにもかかわらず、こんにちまでそのまま伝えられている。したがって、人民に愛される芸術を発展させるためには、芸術創作において民族的形式を十分に生かさなければならない。

民族的形式を生かすことはすべての芸術において重要であるが、舞踊芸術においてとりわけ重要な問題となる。それは、舞踊芸術に民族的特性がもっとも鮮明に反映されることに起因している。舞踊芸術が民族的特性をもっとも鮮明に反映するのは、人民の民族的な生活情緒と風習をもっとも集中的に、直観的に見せるからである。

舞踊芸術の民族的特性は、さまざまな表現手段を通じてあらわれる。舞踊音楽では民族的なリズムとメロディーによって民族的特性をあらわし、舞台美術では衣装によってそれをあらわす。服装は民族の生活風習をよくあらわしている。舞踊芸術における衣装は、民族的風習を芸術的にいっそうきわだたせる。舞踊は衣装を通じて民族的特性をさらに濃厚にあらわす。

舞踊では音楽や舞台美術にも民族的特性があらわれるが、もっとも顕著にあらわれるのは踊りである。舞踊に民族的特性がもっとも顕著にあらわれるのは、人びとの民族的性格が生活の過程と行動によくあらわれるからである。労働生活をはじめ日常生活での人びとのさまざまな動作やふるまいには、民族によって異なる特徴がある。そのような民族的特徴は体の動きからなる踊りにそのまま反映されて、踊りが民族的特性を顕著にあらわすようになる。

踊りの民族的特性はその動作によって具体的に表現される。踊りはその動作によって東洋舞踊と西洋舞踊に区別される。東洋舞踊は腕をはじめ上半身の動作が多く、西洋舞踊は脚をはじめ下半身の動作が多いのが特徴である。朝鮮舞踊にも腕をはじめ上半身の動作が多い。朝鮮舞踊は腕の動作を基本としながら、それが脚の動作と自然に結合して、からだ全体が調和のとれた動きをなす。腕の動作を基本としながら、脚の動作が適切に結合して、からだ全体が調和のとれた動きをなすところに朝鮮舞踊の独特な味がある。朝鮮舞踊には過激な動作より柔軟な動作の方が多い。朝鮮舞踊の動作は動きの度合いがほどよいうえに、力強く、しなやかである。

朝鮮舞踊の特徴は、調和のとれた洗練された踊りのリズムによくあらわれている。踊りのリズムは、音楽の旋律と調子に乗って

踊りを形づくる、いろいろな動きのリズミカルな流れである。踊りにおいて、一つまたはそれ以上の動きが一定の形で結合したのが踊りの動作であるとするなら、踊りのリズムは踊りの動作をなす動きが調和して結合する過程でつくりだされるリズムである。踊りの動作と踊りのリズムはいずれもリズムの表現であり、相異なるものではない。リズムが明確で豊かな踊りの動作が、すなわち踊りのリズムである。朝鮮舞踊はリズムが豊かなので、踊りの動作のほとんどが踊りのリズムをなしている。

踊りのリズムには朝鮮人民の民族的な感情と情緒がそのまま反映されている。したがって、われわれは舞踊芸術を発展させるうえで踊りのリズムを十分に生かさなければならない。

舞踊で踊りのリズムを生かすのは、民族舞踊の形式を生かす基本的方途である。踊りのリズムを生かしてこそ、舞踊を朝鮮人民の思想・感情と情緒に合わせてつくり、舞踊芸術を主体的に発展させることができる。

踊りのリズムを生かすためには、朝鮮人民が長年にわたっておどってきた踊りから、多様な踊りのリズムを探し出さなければならない。朝鮮人民は数千年にわたる生活の過程で燦然(さんぜん)たる固有の民族文化を発展させ、舞踊芸術も広く発展させてきた。われわれの祖先が創造し発展させた舞踊のなかには、労働生活を反映したものもあれば、戦闘生活を反映したものもあり、人間関係や風俗を反映したものもある。われわれの祖先が創造し発展させた舞踊には多様な生活が反映されているので、それを描いた踊りのリズムも多様である。われわれは、祖先が創造した舞踊のなかから多様な踊りのリズムを探し出して舞踊芸術を発展させていかなけれ

ばならない。

祖先が創造した舞踊のなかで基本となるのは民俗舞踊である。民俗舞踊は、人民のあいだで多様な生活とうるわしい風俗を反映してつくられ、おどり、伝えられてきた舞踊である。朝鮮人民は長年同じ領土で同じ血筋を引き、燦然たる民族文化を発展させてきた単一民族であるが、地方ごとに特色のある民俗舞踊を創造してきた。民俗舞踊には、それぞれの地方の特色ある美しい踊りのリズムが集中している。わが国の民俗舞踊の踊りのリズムは簡単明瞭であり、覚えやすい。それでわが国の民俗舞踊は誰でもすぐ習っておどることができる。

民俗舞踊にもりこまれている踊りのリズムを探し出すには、民俗舞踊を広く発掘しなければならない。これまで舞踊芸術部門では、文化遺産を継承、発展させるわが党の文芸方針にしたがい、民俗舞踊の発掘をひろくすすめた結果、それを少なからず掘り起こし、こんにちの朝鮮人民の美感に合わせて改作して舞台に乗せたり、踊りのリズムを生かして使ったりした。しかし、民俗舞踊は発掘されたものよりも発掘されていないものの方が多い。かつてわれわれの祖先は地方ごとに特色のある民俗舞踊を数多く創造したが、こんにちまで伝えられているものは多くない。それは主に、人民的な芸術をさげすんだ封建支配層の反人民的な策動と、日本帝国主義者の民族文化抹殺策動に起因している。舞踊芸術部門では、史料をはじめ種々の文献・資料を体系的に研究し、まだ埋もれている各地方の民俗舞踊を多く発掘しなければならない。そうしてわが国の舞踊遺産を豊かにし、民俗舞踊にもりこまれている特色ある踊りのリズムを生かすべきである。

宮廷舞踊と宗教舞踊からも踊りのリズムを探し出すべきである。宮廷舞踊は宮廷での王族をはじめ封建支配層のための踊りであり、宗教舞踊は仏教が盛んであった時期の主として寺院での踊りであった。宮廷舞踊と宗教舞踊は、いずれも封建支配層の思想・感情と生活を反映したものである。しかし、それらの舞踊形式には民族的な特性がある程度反映されている。したがって、宮廷舞踊と宗教舞踊からも民族的特性のある踊りのリズムを探し出して生かすべきである。

祖先が創造した舞踊のなかから踊りのリズムを探し出して用いる場合は、そのままではなく、現代的な美感に合わせて手直しすべきである。かつて祖先が創造した踊りのリズムは、当時の人びとの思想・感情と情緒に合わせてつくられたものである。人びとの思想・感情と情緒は、時代の発展と生活の変化にともなって変わるものである。こんにち社会主義を建設している朝鮮人民の思想・感情と情緒は、決して過去の朝鮮人民のそれと同一のものではない。それゆえ、過去の人民の美感に合わせてつくられた踊りのリズムが、そのままこんにちの朝鮮人民の美感に合致するはずがない。したがって、かつて祖先が創造した踊りのリズムをそのまま用いるのではなく、現代的な美感に合わせて手直しして用いなければならない。

以前の踊りのリズムを時代的美感に合わせて手直しして用いるからといって、現代化しすぎてはならない。そんなことをすると民族的特性を生かすことができなくなる。踊りのリズムの民族的特性を生かさなければ、民族舞踊の性格を生かすことができない。昔の踊りのリズムを探し出して手直しして用いる場合は、本来の

性格を生かしながら、われわれの時代の人びとの美感に合わせて巧みに手直ししなければならない。

こんにちの朝鮮人民の思想・感情と生活をもりこんだ新しい踊りのリズムもつくりだすべきである。いまわが国では、党と領袖の賢明な指導のもとに、思想、技術、文化の 3 大革命が力強く展開され、人民の生活には新たな変化が起きている。人民の労働生活をみても、技術革命が成功裏に遂行された結果、工業部門はもとより農業部門においても手労働が機械労働にとって代わられている。農村では以前手労働だった苗取りや田植えが、いまは機械化されている。

日増しに発展する朝鮮人民の多様な生活は、それにふさわしい新しい踊りのリズムを求めている。新しい生活は新しい踊りのリズムによって描くべきであって、過去の生活を反映した踊りのリズムをもってしては正しく描きだすことはできない。田植えをする農民の姿を描く場合、苗を手で植える姿をあらわした踊りのリズムによっては、機械で田植えをする姿を描きだすのは無理である。機械で田植えをする姿を描くためには、当然それにふさわしい新しい踊りのリズムをつくりださなければならない。機械で田植えをする姿を新しい踊りのリズムによって描きだしてこそ、機械で田植えをし農作を営む農民の思想・感情と情緒を正しく反映することができる。新しい踊りのリズムは新しい生活を反映しながらも民族的特性のきわだったものでなければならない。

舞踊芸術部門では、民族的特性が鮮明な新しい踊りのリズムを多くつくりだし、日ごとに発展する朝鮮人民の多様な生活をりっぱに描きだすことによって、わが国の舞踊芸術を主体的立場に立

っていっそう豊かにし、人民の文化・情操生活により積極的な寄与をなすべきである。

6　舞踊小品を基本にして発展させるべきである

舞踊小品はスケールによって区分した舞踊作品の一形式である。芸術作品は描写方式と規模によって種々の形式に区分される。舞踊作品にはスケールの大きい形式のものもあれば小さい形式のものもある。舞踊小品はスケールの小さい形式の舞踊作品である。舞踊小品は、断片的な生活を簡潔な踊りの構成によって集中的に描きだすものである。

舞踊の小品は人間生活を描くのに適した形式である。それは芸術的リズムを基本的表現手段とする舞踊芸術の特性と関連している。あらゆる様式の芸術はそれに固有な表現手段と手法をもっており、それによって描写する対象と範囲をもつことになる。言語を基本的表現手段とする小説やスクリーンを基本的表現手段とする映画では、表現手段が他の芸術様式に比べて制限されないので、複雑な人間関係とさまざまな事件によって織りなされた幅広い生活をいくらでも描きだすことができる。しかし、芸術的リズムを基本的表現手段とする舞踊では表現手段が限られているので、小説や映画でのように複雑な生活を幅広く描きだすのは容易でない。限られた表現手段で複雑な生活を描くと、舞踊芸術の固有な味を出すのがむずかしい。表現手段が限られている舞踊では、断片的な生活を小品にするのがもっとも望ましい。断片的な生活を小品

で描けば、人びとの思想・感情と生活を特色のある踊りのリズムによって生き生きと、繊細に見せることができる。そうした面で、舞踊小品は芸術的リズムによって人間生活を描くのに適した形式だと言える。

舞踊小品は人民性をおびている。舞踊小品は簡単な踊りの構成と特色のあるリズムによって生活を具体的に、明白に描きだすので、人民に容易に理解され受けとめられる。

舞踊の小品は普遍性をもつ。舞踊小品は長い期間にわたって発展してきた舞踊形式である。かつて祖先が創造した舞踊作品の大部分は小品である。舞踊小品はいまでも広く創作され、普及されている。

舞踊小品は芸術的リズムによって人間生活を描くのに適した舞踊形式であり、人民性と普遍性をもっているので、舞踊の基本形式となる。

舞踊芸術を小品を基本にして発展させれば、舞踊芸術に固有な特性を十分に生かすことができる。

あらゆる様式の芸術がそれぞれの特性を生かすには、基本的表現手段を十分に生かさなければならない。芸術は基本的表現手段を生かしてこそ、自己の固有な特性に即して人間の思想・感情と生活をりっぱに描きだし、人民に愛されることができる。

舞踊芸術は芸術的リズムを十分に生かしてこそ、舞踊芸術の特性に即して人民の思想・感情と生活をリアルに描きだし、人びとに愛されることができる。わが国の舞踊の芸術的リズムは踊りのリズムに集中的にあらわれる。わが国の舞踊は踊りのリズムを十分に生かしてこそ、人物の思想・感情と生活を、朝鮮人民の民族

的情緒と美感に合わせてりっぱに描きだすことができる。舞踊小品は簡単な内容を豊かな踊りのリズムによってりっぱに描きだし、朝鮮舞踊のすぐれた固有な特徴を十分に生かさなければならない。

舞踊芸術を小品を基本にして発展させれば、多様な生活を描くことができる。多様な生活を描くことは、舞踊芸術の社会的機能を高めるうえで重要な意義をもつ。舞踊芸術は多様な生活を描いてこそ、人民を思想的、情操的に教育し、文化・情操生活を豊かにするのによりよく寄与することができる。舞踊芸術が人民の多様な生活を描くには、適切な形式をとらなければならない。人民の多様な生活を描きうる舞踊形式は小品である。舞踊小品は、人民の志向と願望のこもった美しく気高い生活の一断面を簡潔に描きだすことによって、多様な生活のあれこれをりっぱに見せることができる。

舞踊芸術を小品を基本にして発展させれば、舞踊芸術に党政策の要求をそのつど反映することができる。社会主義的舞踊芸術は、各時期に提起される党の路線と政策を反映し、それを実現する人民のたたかいをリアルに描きだして、人民大衆を党の路線と政策で武装させ、それを実現するたたかいに立ち上がらせなければならない。舞踊小品は少ない人員でいちはやくつくって公演することができるので、随時提起される党の路線と政策を適時に反映し、人民の教育に寄与することができる。

舞踊小品を数多く創作すれば、それにもとづいて舞踊組曲のような大きい形式の舞踊作品をつくるのにも有利である。

舞踊小品を発展させれば、新しい舞台総合芸術の形式を創造するのにも好都合である。こんにち、朝鮮人民の生活はたえず新し

い内容で補われており、それをもりこむ新しい芸術形式を求めている。わが国では、人民の新たな生活上の要求を反映して、舞踊をともなう新しい芸術形式が創造されている。舞踊小品を多数創作すれば、それを利用して、舞踊をともなう新しい形式の舞台総合芸術作品をいっそう容易に創作することができる。

わが党はこれまで、舞踊小品を基本にして舞踊芸術を発展させる方針をうちだし、それを多数創作することに力を傾けるようにした。

舞踊芸術部門では、小品を基本にして発展させる党の方針にのっとり、4大名作をはじめすぐれた舞踊小品を多数創作し、舞踊と結合した新しい舞台総合芸術形式の発展にも大いに寄与した。舞踊小品は『血の海』式歌劇に利用されて歌劇の思想性・芸術性の向上に寄与するとともに、音楽舞踊叙事詩や大公演形式をはじめ新しい舞台総合芸術形式の重要な表現手段として利用され、作品の思想性・芸術性の向上に寄与した。今後も舞踊芸術は小品を基本にして発展させなければならない。

舞踊芸術部門では、何よりも小品を多く創作すべきである。小品を多く創作するのは舞踊芸術発展の基本的要求である。小品を多数創作すれば舞踊芸術を豊かに発展させ、小品を基本にして舞踊芸術を発展させる党の方針を成功裏に貫徹することができる。社会主義の完全な勝利と祖国の自主的平和統一をめざして力強くたたかっているわが国の現実は、すぐれた舞踊小品を創作できる多様な素材を提供している。舞踊芸術部門の創作家は現実に深く入り、社会主義建設と祖国統一のために奮闘している人民の多様な生活を探求して、多くの舞踊小品を創作すべきである。こうし

てわが国の舞踊芸術が、特色のある踊りのリズムに朝鮮人民の気高く多様な生活をもりこんだ小品でみたされるようにしなければならない。

舞踊芸術を小品を基本にして発展させるうえで重要なのはまた、小品の特性を十分に生かすことである。

舞踊小品の特性は、内容が簡単で構成が簡潔であり、踊りのリズムに特色があることである。舞踊小品はその特性を十分に生かしてこそ、認識的・教育的機能を高めることができ、舞踊芸術を小品を基本にして発展させる意義もある。舞踊の小品は、多様な生活のなかから有意義で典型的な生活の一断面を、一つの生活のモメントを通じて集中的に、生き生きと描きだすべきである。

舞踊小品は踊りの構成を緻密なものにしなければならない。舞踊小品は断片的な生活を短時間のうちに見せるので、踊りの構成を緻密なものにしなければ、生活の本質をはっきりと示すことができない。舞踊小品の踊りの構成は、リズムの表現において空間をなくし、観衆に訴えようとする内容が明確に示されるようにしなければならない。

舞踊小品は踊りのリズムの特色を十分に生かさなければならない。踊りのリズムの特色を生かすのは、舞踊小品の特性を生かすうえで基本であると言える。舞踊芸術を小品を基本にして発展させるのも、踊りのリズムの特色を生かすことに主な目的がある。舞踊創作家は舞踊小品の創作にあたって、踊りのリズムの特色を生かすことに主力を注ぐべきである。

舞踊芸術を小品を基本にして発展させるうえで重要なのはまた、さまざまな形式の小品をすべて発展させることである。小品には、

出演人数によって独舞、双舞、3 人舞、4 人舞、5 人舞、群舞などの形式がある。舞踊小品の各形式にはそれぞれの特徴があるので、それらすべてを発展させることは、小品の特性を生かし、舞踊芸術を多様に発展させるうえで大きな意義をもつ。舞踊芸術部門では、さまざまな形式の舞踊小品を発展させて舞踊芸術をいっそう豊かにし、小品を基本にして発展させるわが国の舞踊芸術の優越性を遺憾なく発揮させなければならない。

舞踊芸術を発展させるには、小品を基本としながらスケールの大きい形式の作品も発展させなければならない。

小品を基本にしながらスケールの大きい形式の作品を発展させてこそ、われわれの社会主義的舞踊芸術を多様で豊かなものに発展させ、舞踊芸術にたいする人民の要求もより十分に充足させることができる。スケールの大きい形式の作品を発展させることは、わが国の舞踊芸術をいちだんと高い水準に発展させるうえでも重要な意義をもつ。

舞踊組曲はスケールの大きい形式の舞踊作品である。舞踊組曲はいくつかの独立した舞踊種目を一つの主題・思想によって有機的に組み合わせた形式であり、さまざまな生活を芸術的リズムでリアルに描きだすことができる。舞踊組曲は、新しい舞踊種目を創作してつくることもできるし、創作ずみの舞踊小品を組み合わせてつくることもできる。舞踊組曲は小品を多く創作して、それを元にしてつくるのが望ましい。

舞踊劇もつくるべきである。

舞踊劇は、劇的な事件を展開して生活を見せるスケールの大きい形式の舞踊作品である。舞踊芸術を多様に発展させるには、人

びとの思想・感情と生活を劇的に幅広く、掘りさげて描きだす舞踊劇をつくらなければならない。

舞踊劇の創作において重要なのは、朝鮮人民の美感に合わせてつくることである。舞踊劇を朝鮮人民の美感に合ったものにしてこそ人民に愛され、舞踊芸術の発展に寄与することができる。以前わが国でも舞踊劇がつくられたことがある。当時の舞踊劇は朝鮮人民の民族的情緒に合った朝鮮式のものではなく、西洋の舞踊劇を模倣してつくられたものであった。そのため、舞踊劇は朝鮮人民に愛されなかった。朝鮮人民は自分の趣味に合わない西洋の舞踊劇を好まない。舞踊芸術部門では、西洋の舞踊劇を絶対化する誤った観点と古い枠を打ちこわし、『血の海』式歌劇や『城皇堂』式演劇のように、朝鮮人民の思想・感情と情緒に合った朝鮮式の新しい舞踊劇をつくらなければならない。

舞踊組曲と舞踊劇の舞踊種目を小品化すべきである。

舞踊を小品化するというのは、舞踊小品に限らず、スケールの大きい形式の舞踊作品に出てくる舞踊種目も小品のようにつくるということである。すなわち、踊りのリズムに特色があり、スケールが適当で、形象上完結した舞踊をつくることを意味する。

舞踊組曲では、個々の舞踊種目が組曲の流れに乗りながらも独自性をもつように小品化されるべきであり、舞踊劇では、主人公の行動の線にしたがってくりひろげられる独舞や双舞など場面の時代相と生活を見せる舞踊が小品化されるべきである。そうしてこそ、舞踊組曲と舞踊劇における各場面の生活内容と人物の思想・感情と生活を、特色のある踊りのリズムと完結した舞踊形象によってりっぱに描きだすことができる。

舞台総合芸術形式に用いられる舞踊作品も小品化すべきである。

こんにち、新しい形式の舞台総合芸術の発展にともない、舞踊は独自の芸術様式として発展しているばかりか、舞台総合芸術形式の重要な表現手段として広く利用されている。わが国では舞踊が映画にも利用され、歌劇や演劇、音楽舞踊叙事詩などにも利用されている。舞台総合芸術形式において舞踊は基本的表現手段としても利用され、補助的な表現手段としても利用される。前者の場合はもとより、後者の場合にも、舞踊をおざなりなものにせずに、リズム芸術の特性が生かされるようにしなければならない。

舞台総合芸術形式に利用される舞踊をリズム芸術の特性を生かしたものにするためには、小品化しなければならない。舞台総合芸術形式に用いられる舞踊を小品化すれば、舞踊の表現機能と舞台総合芸術作品の芸術性をともに高めることができる。舞踊芸術部門では、舞台総合芸術形式に利用される舞踊をすべて小品化し、舞台総合芸術作品の芸術性の向上とともに、全般的な舞踊芸術の発展に大いに寄与すべきである。

7　各種の舞踊を奨励すべきである

各種の舞踊を奨励することは、舞踊芸術の発展において堅持すべき重要な原則の一つである。

各種の舞踊を奨励してこそ、高まる舞踊芸術への人民の美学的・情緒的要求を充足させることができる。

社会が発展し、生活が多様で豊かになるにつれて、舞踊芸術に

たいする人民の美学的・情緒的要求は高まる。社会が発展すればするほど、政治、経済、文化など社会生活の各分野が多様になり、その内容が豊かになる。とりわけ人民の文化生活分野がそうである。人民の文化生活が多様で豊かなものになれば、それにともなって美学的・情緒的要求も高まる。高まる人民の美学的・情緒的要求は多種多様な舞踊芸術を求める。高まる舞踊芸術への人民の美学的・情緒的要求を充足させるためには、各種の舞踊を多様な形式で発展させなければならない。

こんにち、わが国では社会主義建設が成功裏に進められ、政治、経済、文化の各分野に大きな発展がもたらされた結果、人民の生活は比べようもなく多様で豊かになり、文化・情操生活水準が高まるにつれて舞踊芸術にたいする人民の要求も高まっている。朝鮮人民は誰もが自分の張り合いのある幸福な生活を芸術的リズムにもりこんで楽しむことを欲し、自主的で創造的な生活を描いた多様な舞踊芸術作品を鑑賞したがっている。人はそれぞれ年齢と職業、活動条件と生活条件、趣味と好みが違うので、舞踊芸術にたいする要求もさまざまである。踊りをおどりたがる人もあれば、見物するのを好む人もある。また、舞踊を好む人のなかには芸術舞踊を好む人もあれば、体育舞踊を好む人もあり、芸術舞踊のなかでも実生活を描いた作品を好む人もあれば、民俗生活を描いたものを好む人もある。舞踊芸術にたいする人びとのさまざまな要求を充足させるためには、各種の舞踊を多様な形式で発展させなければならない。

芸術舞踊は、芸術的な形象と鑑賞を目的として創作され、普及される舞踊である。

芸術舞踊は種々の舞踊のなかで基本をなしている。芸術舞踊を発展させれば、舞踊芸術にたいする人民の美学的・情緒的要求を充足させ、舞踊芸術を世界的水準に発展させる問題もりっぱに解決することができる。

芸術舞踊は思想性と芸術性を保障する原則で発展させなければならない。

思想性と芸術性を保障することは、社会主義的舞踊芸術作品の創作において堅持すべき重要な原則の一つである。舞踊芸術は思想性と芸術性が保障されてこそ、人びとを思想的、情操的に教育し、かれらの文化・情操生活に大いに寄与することができる。人びとを思想的、情操的に教育し、かれらの文化・情操生活に大いに寄与することは舞踊芸術の重要な使命である。舞踊芸術は思想性と芸術性が十分に保障されてこそ、その使命をりっぱに果たすことができる。

芸術舞踊の発展において基本となるのは、民族舞踊を広く発展させることである。民族舞踊は民族を単位として発展するものなので、それには民族の思想・感情と生活がよく反映されている。人民は民族的な思想・感情と生活を反映した舞踊芸術をすぐに受け入れ、愛するようになる。したがって、民族舞踊を基本として芸術舞踊を広く発展させるべきである。

民族舞踊を基本としながら、世界的に広く普及されている芸術舞踊も発展させなければならない。そうしてこそ、わが国の舞踊芸術を多様に発展させ、高い水準に引き上げることができる。

舞踊芸術はこれまで民族を単位として発展してきたし、いまも民族を単位として発展している。ところが、民族を単位として創

造された舞踊芸術のなかには、人びとの思想・感情と生活を芸術的リズムによって描きだすうえで特色があり、一般化できるものがある。そのような舞踊芸術は、個々の民族国家の範囲を越えて多くの国々に広く普及され一般化される。われわれは、世界的に広く普及され一般化されている多種多様な舞踊芸術を実情に即して取り入れ、わが国の舞踊芸術を多様に発展させなければならない。

世界的に広く普及している芸術舞踊のなかで代表的なのはバレーである。バレーはヨーロッパ諸国で創造され、数百年にわたって発展してきた。初期のバレーは主に封建貴族の生活を反映したものであったが、しだいに人民の志向を反映しながら大衆のあいだに広まり、かれらに親しまれるようになった。

バレーには独特な技巧体系がある。バレーの技巧体系は、長期にわたって専門家によって手直しが加えられ、一般化される過程で普遍化した。バレーは人びとの思想・感情と生活を高度の技巧によって優雅に描きだす。われわれは独特な技巧体系をもつバレーを取り入れ、わが国の芸術舞踊をさらに多様に発展させなければならない。

われわれはバレーを、朝鮮人民の美感に合わせて朝鮮式に発展させなければならない。外国の発展した芸術を朝鮮人民の思想・感情と現代的美感に合わせて取り入れることは、芸術の発展において堅持すべき一貫した原則である。われわれはバレーの技巧体系と特性を生かしながらも、内容と形象化においては朝鮮人民の思想・感情と情緒に合ったものにして、朝鮮人民のための芸術舞踊に発展させなければならない。

世界各国に広く普及している芸術舞踊には、バレー以外にも独特な技巧体系と表現法をもつ舞踊形式がある。舞踊芸術部門ではそのような舞踊をわが国の実情に即して取り入れ、朝鮮人民の美感に合わせて朝鮮式に発展させるべきである。

世界各国に広く普及している芸術舞踊を取り入れるにあたって、反動的な舞踊芸術の潮流が浸透しないようにしなければならない。反動的な舞踊芸術潮流の浸透を防ぐのは、社会主義的舞踊芸術を健全に発展させる重要な方途の一つである。

こんにち社会主義と資本主義、労働者階級と資本家階級のあいだに熾烈な階級闘争が展開されている状況のもとで、社会主義的舞踊芸術の発展は必然的に、あらゆる反動的舞踊潮流との闘争をともなうようになる。いま帝国主義者は、社会主義国に反動的な思想・文化を浸透させるために悪辣(あくらつ)に策動しており、その重要な手段として舞踊芸術を利用している。かれらは、舞踊芸術が人間の生活ときわめて密接な関係をもっており、思想・情操生活に大きな作用を及ぼす特性を利用して、ブルジョア式舞踊を浸透させ、腐りはてた資本主義的生活様式とブルジョア思想・文化を伝播しようと策動している。かれらはまた、社会主義諸国をはじめ革命的で進歩的な国々に反動的で退廃的なブルジョア式舞踊を浸透させて、それらの国の民族舞踊と革命的舞踊の健全な発展を阻み、人民の階級的自覚と革命思想を麻痺させようと執拗に策動している。帝国主義者の伝播する反動的なブルジョア式舞踊が浸透すると、社会主義的舞踊芸術の健全な発展に重大な弊害をもたらすことになる。

われわれは、ブルジョア思想・文化を伝播する手段として利用

されている帝国主義者の反動的で退廃的な舞踊の浸透を防ぎ、わが国の舞踊芸術を、自主性の実現をめざす人民大衆の生活をリアルに描きだす革命的で人民的な舞踊芸術に発展させなければならない。

反動的な舞踊芸術の浸透を防ぐうえで重要なのは、退廃的なブルジョア文化の産物である一切の「浮かれた踊り」が入りこめないようにすることである。「浮かれた踊り」は資本主義社会の破倫・背徳が生んだ奇形的で反動的な舞踊であり、人民の健全な思想・意識と肉体をもむしばむ、もっとも反動的な舞踊である。舞踊芸術部門では、強い革命的警戒心をもって「浮かれた踊り」のささいな要素もすぐさま粉砕し、社会主義的舞踊芸術の革命的原則を固守しなければならない。

大衆舞踊を発展させるべきである。

大衆舞踊は大衆的な踊りであり、人びとの生活を楽しいものにする。人びとは興に乗ると輪をつくっておどるものである。人びとは興に乗るとおどりだし、おどりだすとますます興に乗るようになる。大衆舞踊は、勤労者の文化・情操生活を楽しくうるおいのあるものにするうえで大きな意義をもつ。

大衆舞踊は人びとの創造的な労働を大いに鼓舞する。創造的な労働をつづけるには、それまでの労働の過程で積もった精神的・肉体的緊張を解かなければならない。そうしてこそ、心身ともに壮快になり、創造的労働にいっそう励むことができる。労働の過程で積もった精神的・肉体的緊張を解くにはいろいろな方法がある。踊りをおどるのもそれに適した方法の一つと言える。踊りをおどると気分が爽快になり、体全体の調和のとれた動きによって

労働の過程で積もった精神的および肉体的疲労がすぐにとれる。力仕事の合間にひとしきり踊りをおどるとすぐに疲れがとれ、元気が出てくるのも、精神的・肉体的緊張が解けるからである。

大衆舞踊は人びとの友愛をはかるうえでも有益である。社会的存在である人間はつねに相互に密接な関係を保っており、相互の理解と友情、愛情を深めながら生活している。大衆舞踊は、一緒に踊りをおどって楽しむうちに相互の理解と友情、愛情を深めるのに有利な条件をもたらす。

われわれは、人びとの文化・情操生活と労働生活をより楽しいものにし、相互の友愛をさらに深められるように大衆舞踊を広く発展させるべきである。

大衆舞踊を発展させるには、人びとが楽しめる種々の大衆舞踊をつくらなければならない。

大衆舞踊は各階層の特性に合わせてつくらなければならない。それは、人の情緒的要求は年齢的・心理的特性によってそれぞれ異なるからである。人は年齢によって情緒が異なり、運動による負担も異なるものである。年をとった人は上品で比較的静かなものを好むが、若者は力強く活発なものを好む。人の情緒は職業と生活条件によっても異なる。そのため、大衆舞踊は各階層の特性に合わせてつくるべきである。

大衆舞踊は形式が多様でなければならない。いま、わが国の大衆舞踊は輪をつくって回る形式が基本となっている。これは主に多くの人が集まっておどる形式であり、一般化している形式の一つである。しかしこの形式は、限られた場所で少人数がおどるのには不都合である。大衆舞踊は、広い場所で多くの人が輪をつく

って回る形式のものもつくり、さほど広くない場所で少人数が思い思いに動く形式のものもつくるべきである。

大衆舞踊はおどりやすく、楽しいものでなければならない。

踊りをおどりやすいものにするためには、踊りの動作が簡単でなければならない。踊りの動作が簡単であれば、すぐに覚えておどれるようになる。動作が簡単な大衆舞踊は勤労者のあいだにすぐ普及する。

大衆舞踊の動作は音楽の拍子に合わせてつくらなければならない。そうすれば旋律の異なる音楽であっても、拍子に合わせてたやすくおどることができる。大衆舞踊の音楽はあらかた 3 拍子か 4 拍子である。したがって、大衆舞踊の動作は 3 拍子か 4 拍子の音楽に合わせておどれるようにつくらなければならない。そうすれば、3 拍子や 4 拍子の新しい歌が出てきても、その拍子に合わせてたやすくおどることができる。大衆舞踊の動作はおどりやすく、しかも朝鮮人民の思想・感情に合ったものでなければならない。

踊りが楽しくおどれるようにするには、踊りの動作を簡単なものにするとともに、舞踊音楽を適切に選択しなければならない。大衆舞踊の音楽としては大衆歌謡を用いることもできるし、民謡を用いることもできる。また、既存の曲を用いることもできるし、新しくつくることもできる。

大衆舞踊の音楽は旋律が軽快で拍子が強いものにすべきである。そうしてこそ楽しくおどることができる。大衆舞踊の音楽は自然に興がわくものでなければならない。

大衆舞踊を日常化するようにしなければならない。そうすれば、つねにすがすがしく朗らかな気分で働いたり生活することができ、

社会に文化的な生活気風をさらに強く確立することもできる。

朝鮮人民は昔から踊りをおどるのを好んだ。仕事の合間や、めでたいとき、祝日などに寄り集まっては踊りを楽しんだものである。また解放後の民主建設の時期と祖国解放戦争の時期、戦後復興建設の時期の困難な日々にもしばしば踊りをおどって楽天的に生活しながら、新社会建設の困難かつ複雑な革命課題をりっぱに遂行した。

こんにち、朝鮮人民の文化・情操生活にたいする要求は比べようもなく高まり、わが国には大衆舞踊を楽しみながら文化・情操生活を営める条件が十分にととのっている。それゆえ勤労者が大衆舞踊を日常化して、いっそう楽天的に働いたり、生活できるようにしなければならない。そのためには、大衆舞踊をおどれば生活がさらに楽しくなり、心身ともに壮快になって、いっそう仕事にうちこむことができるということを、勤労者に正しく認識させる必要がある。

幹部は大衆舞踊にたいする正しい認識をもち、大衆舞踊に必要な条件を十分に保障すべきである。

幹部は、仕事の合間に大衆舞踊を催すと仕事に支障をきたすものと考える誤った観点を正し、大衆舞踊を広範に催し、自ら積極的に参加して大衆の模範となるべきである。幹部は仕事だけでなく、文化生活においても大衆の模範となり、大衆を導かなければならない。

幹部は仕事の合間や休日、祝日など機会があるたびに大衆舞踊を広範に催し、誰もが楽しくおどれるようにすべきである。

体育舞踊は体育と舞踊が結合した舞踊である。体育舞踊は体育

の動作を芸術的リズムによってあらわすものであり、舞踊の一種として生まれた。

こんにち体育舞踊は、舞踊芸術にたいする人民の要求が高まるにつれて急速な発展をとげている。これは、体育舞踊発展の物質的・技術的条件がととのったこととも関係している。氷上舞踊や水中舞踊といった体育舞踊をおこなうには、近代的なスケートリンクやプールなどの施設が必要である。科学と技術が高い水準に発展するにつれて、多くの国が現代科学と技術を駆使して近代的なスケートリンクやプールをととのえた。その結果、こんにち世界各国で体育舞踊が急速な発展をとげているのである。

近年わが国でも、学生少年やスポーツマン、芸術家のあいだで体育舞踊を広く発展させてきた。われわれはこれまでの成果にもとづいて体育舞踊をさらに発展させ、わが国の舞踊芸術を多様に発展させ、高まる舞踊芸術への人民の要求をより十分に保障しなければならない。

体操舞踊は園児と少年のあいだに広く普及している体育舞踊の一形態である。体操舞踊は、転回や跳躍など体操の動作を芸術的リズムと結合してつくられた舞踊である。

体操舞踊を発展させることは、育ちゆく新しい世代を知・徳・体を兼備した革命的人材に育てるうえで重要な意義をもつ。体操舞踊は園児と少年の情緒を豊かにし、均整のとれた身体の発育を促す。体操舞踊をすると背が伸び、スタイルがよくなる。

体操舞踊は園児と少年の年齢的・心理的特性と体質に合わせてつくらなければならない。園児と人民学校、中学時代の少年には独自の心理の世界がある。幼児と少年は好奇心が旺盛で冒険好き

であり、新しいものにたいする志向と探求心が強い。幼稚園から中学時代までは肉体的にも成長期にあたる。したがって体操舞踊は、かれらの心理の世界と肉体的条件に合わせて生気はつらつとしたリズムのものにしなければならない。

体操舞踊は選抜された幼稚園や学校の限られた子どもだけでなく、すべての幼稚園と学校の子どもを網羅して発展させなければならない。

氷上舞踊はスケートで銀盤を滑走しながら芸術的技巧を見せる舞踊である。氷上舞踊は緩急自在の速度で滑走しながら、多様なテクニックによって優雅で鮮明な造形美を現出する。高速回転から滑走に移るようなテクニックは氷上舞踊にしか見られない。いま、氷上舞踊は青少年をはじめ広範な勤労者のあいだで多大な人気を呼んでいる。われわれは氷上舞踊を朝鮮人民の美感に合わせて発展させ、人民の文化・情操生活と舞踊芸術の発展に寄与できるようにしなければならない。

近年、広く普及されている水中舞踊も人気を博している。水中舞踊は水泳の動作と芸術的リズムが調和のとれた結合をなし、美しい造形的な構図を現出する。われわれは水中舞踊を発展させてわが国の舞踊芸術をさらに高い水準に引き上げ、人民の文化・情操生活をいっそう豊かなものにしなければならない。

Ⅱ　舞踊創作

1　舞踊台本がなければならない

思想的、芸術的にすぐれた舞踊作品を創作するためには舞踊台本がなければならない。

舞踊台本は舞踊作品の基本的内容を文学的に叙述したものである。舞踊台本には舞踊作品の種子（チョンジャ）と主題・思想、人物の性格と相互関係、生活の細部とストーリーなどが示される。舞踊台本の内容にもとづいて振付け構成案が作成され、舞踊音楽と踊りのリズム、舞台美術がつくられる。舞踊台本は舞踊作品創作の思想的・芸術的基礎である。

舞踊台本がなければ、思想的、芸術的にすぐれた舞踊作品を創作することはできない。

舞踊台本は種子を正しくとらえ、それにもとづいて書かなければならない。

種子は作品に反映される生活の思想的核心であり、作品の思想的・芸術的価値を保障する核である。種子によって作品の性格と思想的・芸術的質が左右される。

種子を正しく選択することは作品創作の始点であり、どんな種子を選択するかは作品の運命を左右するキーポイントである。種子を正しくとらえてこそ、主題と思想が明確で芸術的にすぐれた作品を短期間にりっぱに創作することができる。

舞踊作品の種子は党政策の要求にそってとらえなければならない。これは、種子の選択において堅持すべき重要な原則の一つである。舞踊作品の種子を党政策の要求にそってとらえてこそ、人民の思想的・情操的教育に寄与するすぐれた作品を創作することができる。

舞踊作品の種子は芸術的リズムによって描きだせるものをとらえなければならない。芸術的リズムは舞踊作品の基本的表現手段である。舞踊作品は芸術的リズムによって人間の思想・感情と生活を描きだす。それゆえ舞踊作品の種子は、必ず芸術的リズムによって描きだせるものでなければならない。いくら党政策の要求にかない、社会的意義があっても、芸術的リズムによって描きだせないものは舞踊作品の種子にならない。

舞踊作品の種子は新しく特色のあるものでなければならない。新しく特色のある種子は、作品の個性的特徴を生かす根本条件である。新しく特色のある種子を選択してこそ、有意義な問題を提起し、印象深く興味を引く形象を創造することができる。つねに新しく非反復的な生活を探求し描きだすのは、芸術の本来の要求であり、芸術作品の創作において堅持すべき原則である。新しく特色のある種子をとらえることは、小品を基本にして発展させるわれわれの舞踊芸術作品の創作においていっそう重要な問題として提起される。舞踊小品の創作において個性的特徴を生かすのは、単なる芸術的形式や技巧にかんする問題ではなく、作品の思想性・芸術性を保障する原則的問題である。小品をはじめすべての舞踊作品は、新しく特色のある種子をとらえ、それにもとづいて斬新で個性的な形象を創造しなければならない。

作品の種子は生活のなかに求めるべきである。作品の種子は芸術的に形象化しうる生活の核心であるため、生活のなかに求めるべきであって、生活を離れては求めることができない。舞踊創作家が舞踊作品の種子を生活のなかに求めず、自分勝手に考えだすならば、そのような種子は有意義な社会的問題を提起することができず、芸術形象において類似性と図式化をまぬがれない。

生活は多様なものである。多様な生活には、芸術的リズムによって描きだせる作品の種子がいくらでもある。

舞踊作品の種子は創造的な労働生活のなかに見出すべきである。創造的な労働生活は社会生活において重要な位置を占めている。創造的な労働生活のなかには、舞踊によって描きだせる生活が多々ある。創作家は創造的な労働生活を深く探求し、そのなかから芸術的リズムによってりっぱに描きだせる舞踊作品の種子を選択しなければならない。

舞踊創作家は人民の多様な文化・情操生活からも舞踊作品の種子を探しだすべきである。

こんにち朝鮮人民は、わが党の正しい文化施策によって多様な文化・情操生活を享受している。人民の文化・情操生活は、生活の向上にともなってますます多彩なものになっている。人民が享受している文化・情操生活には、かれらの気高い思想・感情と文化・情操が反映されている。したがって、人民の文化・情操生活を深く探求し、そこからすぐれた舞踊作品の種子を選び出すべきである。

朝鮮人民の文化・情操生活において音楽は重要な位置を占めている。朝鮮人民は、党と領袖の賢明な指導のもとに享受している

張り合いのある政治・思想生活と労働生活、文化生活を音楽にもりこんでいる。こんにち朝鮮人民が愛する音楽には、党と領袖を欽慕する頌歌をはじめ、気高い思想・感情と生活を反映した名曲が多い。名曲にもりこまれた生活から種子をとらえれば、人民に愛されるすぐれた舞踊作品をつくることができる。これまで名曲から種子をとらえてつくった舞踊作品は、そのほとんどが人民に愛されている。

舞踊創作家は美術作品からも舞踊作品の種子を選択することができる。美術作品には時代相と人民の多様な生活が反映される。わが国の美術家と美術愛好家が創作した多くの美術作品には、労働党時代に開花している朝鮮人民の多様な生活がよく反映されている。舞踊創作家はすぐれた美術作品を鑑賞し、そこから舞踊作品の種子をとらえるべきである。

舞踊創作家は新しい生活分野にも関心を払う必要がある。革命と建設の進捗と人民生活のたえまない向上にともなって、新しい生活分野がひきつづき生まれている。新しい生活分野から種子をとらえれば、特色のある舞踊作品を創作することができる。創作家はつぎつぎと生まれる新しい生活分野に関心を向け、そこに有意義な生活を見出して舞踊作品の種子をとらえるべきである。

舞踊台本では人物を明白に設定し、その思想・感情をリアルに描かなければならない。

舞踊台本には、描こうとする人物が明白に設定されなければならない。言葉を使わず芸術的リズムによって人間の思想・感情と生活を描きだす舞踊は、人物の設定において他の芸術様式と区別される特徴がある。映画や演劇などでは生活形式どおりの具体的

な人物が設定されるが、舞踊では具体的な人物だけが設定されるのではない。舞踊では具体的な人物のみでなく、一人の人物にとって代わる数人の同一人物が設定されることもあれば、象徴的な人物や自然現象を擬人化した精が設定されることもある。また、一つの作品にさまざまな形式の人物が同時に設定される場合もある。舞踊は人物を多様な形式で設定することができるがゆえに、芸術的リズムによっても人間の生活感情を幅広く掘りさげて描くことができ、他の芸術様式では描写の困難な対象を生き生きと描きだすこともできる。舞踊芸術のこのような特性と形象的可能性を正しく生かすには、作品の人物を正しく設定しなければならない。舞踊『雪が降る』が思想性・芸術性の高いすぐれた作品になりえたのも、人物を正しく設定したからである。舞踊で人物の設定を誤ったり、設定された人物が明白でなければ、形象化があいまいになり、ひいては作品の内容までゆがめることになる。

舞踊作品に登場する人物は台本で設定される。舞踊台本では作品の内容に合わせて人物を正しく設定し、それがどんな人物であるかを明示しなければならない。すなわち、それが独自の個性をもつ具体的な人物なのか、さもなければ象徴的な人物なのか、象徴的な人物なら何を象徴しているのか、精ならなんの精なのかといったことを明らかにする必要がある。

人物が明白に設定されたら、その精神世界をリアルに描かなければならない。人物を正しく設定したとしても、その精神世界を十分に描けなければ用をなさない。他の芸術作品と同様、舞踊作品においても人物を正しく描かなければならない。芸術作品における基本的描出対象は人物である。人物のなかでもとりわけ主人

公をりっぱに描く必要がある。舞踊では主人公が設定されることもあるし、設定されないこともある。主人公が設定されている舞踊では当然、主人公をりっぱに描かなければならない。主人公の形象化は、作品の種子を実現し、思想性・芸術性を保障するうえで決定的な役割を果たす。

舞踊台本では人物の相互関係を正しく結び、思想・感情をリアルに描かなければならない。

舞踊台本ではストーリーを簡潔なものにすべきである。

ストーリーを簡潔なものにすることは、芸術的リズムによって生活を描きだす舞踊芸術の特性から来る重要な要求である。舞踊はストーリーが簡単明瞭であってこそ、踊りでその内容を理解させることができる。舞踊作品はその規模と形式によって反映する生活が多様であり、ストーリーを仕組む方法も異なるものである。舞踊作品には舞踊劇もあれば舞踊組曲もあり、舞踊小品もある。舞踊劇はスケールが大きく、生活をドラマチックに仕組むので、登場人物が多く、事件とストーリーが比較的複雑である。舞踊組曲は舞踊劇のようにドラマチックな事件やストーリーはないが、スケールの大きい形式の舞踊作品であり、さまざまな生活の内容をもりこむことができる。スケールの小さい形式の舞踊小品も、作品によって生活を叙事的に描いてみせることもできれば、人間の内面世界を叙情的に描きだすこともできる。舞踊作品はスケールの大小、描写方法のいかんを問わず、ストーリーが簡潔なものでなければならない。登場人物と事件が多く、ストーリーが複雑であると、踊りによってそれを描くのがむずかしいばかりでなく、踊りがストーリーの裏にかくれて生彩がなくなる。そうなると舞

踊作品は見ごたえがなくなり、芸術的価値を失うようになる。

舞踊台本のストーリーは、小品であるほど簡潔なものでなければならない。舞踊小品は文字通りスケールの小さい形式の舞踊作品なので、人間の生活と思想・感情を短時間に集約的に描けるように、ストーリーを簡単明瞭なものにしなければならない。そうしてこそ、作品の主題・思想の内容を明らかにし、踊りも生かすことができる。

舞踊小品は、簡単な小話を通じて意味のある生活を幅広く描きだすべきである。舞踊『祖国のツツジ』は、朝鮮人民革命軍の女子隊員が祖国の地を踏むという生活モメントでの一つのストーリーを通じて、彼女らの崇高な祖国愛と革命的楽天主義を描いており、舞踊『箕(み)の踊り』は、月夜に水車小屋で搗(つ)いた米を箕でふるい分ける村の乙女たちの生活の一断面を通じて、抗日革命闘争の時期に金日成同志を民族の太陽として高く仰ぎ、祖国解放の日を早めるために朝鮮人民革命軍を誠心誠意援護する人民の熱い心と生活を描きだしている。これらの舞踊は断片的な生活のあるモメントの簡単なストーリーを題材にしているが、思想的内容を深奥かつ幅広く描きだしている。舞踊小品は、時代の本質を内包している典型的な生活の一断面を題材にしてストーリーを簡潔に仕組み、意味深く、気品のあるものに仕立てあげるべきである。

舞踊台本では基本的な踊りの場面を示し、それにともなう音楽と舞台美術を強調すべきである。

舞踊台本は舞踊形象を前提として書かれるものなので、基本的な踊りの場面が示されていなければならない。人物の生活とストーリーを展開する過程で踊りが出る重要なモメントと基本的な踊

りの場面が示されていてこそ、それにもとづいて舞踊を創作することができる。

音楽と舞台美術は舞踊形象の重要な手段である。台本では、ストーリーが展開されるにつれて変化する音楽と舞台美術を明示しなければならない。とくに、パンチャン（傍唱）がある場合は歌詞を洗練させ、踊りの小道具があるときにはそれを強調しなければならない。

舞踊台本の叙述も舞踊の特性にかなったものでなければならない。演劇台本はせりふを基本にして書かれ、歌劇台本は歌詞を基本にして書かれる。しかし、舞踊台本は演劇台本や歌劇台本のように、せりふや歌詞を基本にして書くことはできない。舞踊台本でもパンチャンがある場合は歌詞を書き、俳優の演技の助けとなるように多少のせりふを書くことはできるが、それが基本にはなりえない。舞踊では人物の思想・感情と生活を芸術的リズムによって描きだすのであるから、台本は人物の生活感情の世界をリズムで描きだせる表象のものにしなければならない。

舞踊台本も文学の一種であるから、作家が書くべきである。とくに舞踊劇や舞踊組曲のようにスケールの大きい形式の舞踊作品の台本は、作家が書いてこそ文学的なものにすることができる。だからといって、舞踊台本は必ずしも作家しか書けないというものではない。舞踊台本は振付け師も書けるし、振付け師と作家が共同で書くこともできる。小品のようなスケールの小さい形式の舞踊作品の台本は振付け師でも書ける。誰が書こうとも舞踊台本は舞踊芸術の特性にかない、文学的に完成されたものでなければならない。

2　振付け構成案を正しく立てるべきである

振付け構成案は、舞踊台本に描かれた生活の内容を舞踊形象として実現するための舞踊作品創作計画である。振付け構成案には、舞踊台本に示された生活の内容を音楽と舞台美術に裏打ちされた踊りでいかにあらわすかといった具体的な表現方途が示され、規定される。

振付け構成案が正しく立てられてこそ、速度戦を展開して思想的、芸術的にすぐれた舞踊作品をつくることができる。振付け構成案が正しく立てられていないために表現方途が明白でない場合は、時間をかけてもまともな舞踊作品をつくることはできない。舞踊創作家が一つの舞踊作品を創作するのに長い時間をかけながらも満足に仕上げることができないのは、文学的に完成された台本がないうえに、具体的な振付け構成案さえなしに、ゆきあたりばったりにつくることに主な原因がある。完成した設計図がなくてはまともな家が建てられないのと同様に、明確な振付け構成案がなくてはしっかりした舞踊作品をつくることはできない。

振付け師は創作家としての正しい立場と姿勢をとり、台本に示された生活の内容を思想的、芸術的にりっぱに描きだせるように、振付け構成案を正しく立てなければならない。

踊りの構成案を具体的に立てるべきである。

踊りの構成案は振付け構成案の基本をなす。それは、舞踊が踊りによって生活を反映するからである。舞踊では、語ろうとする内容を踊りで見せる。舞踊では、踊りで描くことのできないスト

ーリーは、いかに有意義で興味深いものであっても用をなさない。舞踊のストーリーは踊りによって描かれ、踊りが出てくるようにつくられなければならない。ストーリーを踊りによって見せるところに舞踊作品の芸術的特性があり、踊りの構成が振付け構成の基本となる根拠がある。

踊りの構成案では人物の踊りを適切に構成すべきである。

踊りの構成案で描きだすべき人物の性格とかれらの相互関係は、舞踊台本によって示される。舞踊台本では、描きだす生活の内容によって登場人物を 1 人にすることもできるし、複数にすることもできる。複数の人物を登場させる場合、かれらの性格は生活の内容によって一様に描くこともでき、それぞれ違ったものとして描くこともできる。踊りの構成案では、台本に示された人物の性格とかれらの相互関係を深く把握し、それをりっぱに描きだせるように、人物の踊りを適切に構成しなければならない。

舞踊作品に主人公が設定されている場合は、主人公の踊りを生かせるように踊りの構成を適切に組むべきである。主人公が設定されている舞踊作品で、主人公の踊りを生かしてこそ他の人物の踊りも生き、作品全般の思想性・芸術性も保障することができる。主人公が設定されている舞踊作品では、主人公の踊りを生かすという原則で人物の踊りの構成を組まなければならない。

踊りの単位構成を合理的にすべきである。

舞踊作品において、人物の踊りは具体的には踊りの単位の合理的な構成によって成り立っている。

人物の踊りをいかに上手に構成したとしても、踊りの単位を合理的に構成しなければ踊りが生かされず、観客の芸術的感興をそ

そることはできない。舞踊作品では、人物の踊りの構成とともに踊りの単位構成が合理的なものであってこそ、見せようとする生活を幅広く掘りさげて描きだし、観客にりっぱなリズム的形象をくりひろげて見せることができる。

踊りの単位では踊りの部分を巧みに構成すべきである。

舞踊小品において踊りの部分は踊りの構成のもっとも大きな単位であり、作品に生活を展開する起承転結の一般的原則にしたがって始まりと中間、終わりに分けられる。踊りの部分構成では、人物の踊りをどのように始め、発展させ、結ぶかを明示すべきである。すなわち、語ろうとする内容を踊りでどのように区分けして展開するかといった具体的な案を立てる必要がある。

踊りの部分構成では手法も多様に用いるべきである。

踊りの部分構成で多様な手法を用いるのは、作品の特色を生かす重要な方途の一つである。作品の特色は描きだす生活の内容によってもつくりだされるが、踊りの構成手法によってもつくりだされる。

踊りを形づくる各部分のテンポを対照的なものにするのは、広く使われている踊りの構成手法の一つである。踊りの構成における対照手法は、踊りのテンポを初めはゆるやかに、つぎに速くして、またゆるめたり、これとは反対に初めは速く、つぎはゆるやかにして、また速めるといった手法である。踊りの構成における対照手法は、踊りの部分のテンポを対照的なものにして各部分の性格を明白にし、踊りの展開に起伏と変化を与えることによって、観客に興味を覚えさせる。しかし、踊りの対照構成法だけでは、主題・思想が異なり、見せようとする生活の異なる多様な舞踊作

品を特色のあるものにすることができない。相異なる作品は踊りの構成法も違ったものでなければならない。そうあってこそ、それぞれの作品に特色をもたせることができる。

踊りの部分構成は、踊りのテンポを対照的なものにしなくても巧みに組むことができる。踊りの部分は、踊りのテンポを変えずに同じテンポで構成しても、語ろうとする内容をりっぱに描きだすことができる。舞踊『ノドルの川辺』『月見』『扇の舞』は踊りの部分にテンポの対照がない。しかし、これらの舞踊は踊りの構成が密で、踊りのリズムがよいので、観客に好ましい印象を与える。これらの舞踊の創作経験は、踊りの部分構成においては対照手法以外にも多様な手法を用いることができることを示している。人間の自主性が高まり、芸術的な思考能力が発展するにつれて、踊りの構成法も新たに探求され発展していくものである。振付け師は踊りの部分構成において、長い歴史的過程でつくりだされた合理的な手法を正しく利用するとともに、発展する時代と人民の要求、わが国の舞踊芸術の特性にかなった新しい手法を探求して創造し、完成していくべきである。

踊りの場面構成を入念にすべきである。

踊りの場面は、踊りが展開される一定のモメントで形づくられる細部的な踊りの断面である。舞踊小品における踊りの場面は、普通、基本構図とそれにともなう踊りが変化したり交替することにより、舞台形象の生活的・情緒的雰囲気が変わるときに現出する。舞踊作品におけるすべての踊りは踊りの場面として展開される。そのため、踊りの構成案を立てるにあたっては、踊りの単位を合理的に構成すると同時に、踊りの場面を巧みに構成すること

にも力を入れる必要がある。

踊りの場面構成では、その場面の設定と配列を的確におこない、踊りのはじまりとクライマックス、締めくくりの場面をうまく組むことに力を注ぐべきである。

踊りのはじめの場面をうまく組む必要がある。踊りの最初の場面をどのようなものにするかは、観客に舞踊作品の初印象をどのように与えるかという重要な問題である。人びとは舞踊作品を観るとき、最初の場面でよい印象を受けると興味が湧き、作品の世界に深く引き込まれるものである。舞踊作品のはじめは、舞踊手が踊りながら舞台に登場することにしてもよいし、あらかじめ舞台に出て群像をつくるようにしたり、踊りと群像を組み合わせてもよい。最初の場面が作品の性格に合って特色のあるものであってこそ、最初から観客の心を引きつけることができる。

踊りのクライマックスをうまく組むべきである。踊りのクライマックスはストーリーをもつ作品やドラマ性の強い作品に限らず、すべての作品に必要である。クライマックスがあってこそ、語ろうとする内容や展開してきた踊りのリズムを締めくくることができる。クライマックスでは展開されるストーリーと踊りのリズムが締めくくられることになるので、必ず強調する問題がなければならず、それをテクニックによって見せなければならない。

踊りの最後の場面をどうするかは、観客に作品についてよい印象を深く植えつけるうえで意義がある。舞踊作品は最後の場面をうまく組んでこそ、初めとクライマックスの場面で受けたよい印象が消え去らず、長い余韻を残し、作品にたいする感興をいっそうそそることができる。振付け師は決して終わりの場面をないが

しろにせず、観客が作品についての深い印象と思想的・情緒的余韻を残すように、多様な形式でうまく組むべきである。

踊りの構成案は、人物の踊りと踊りの単位、踊りの場面を有機的に結びつけて立てるべきである。

舞踊作品において、人物の踊りと踊りの単位、踊りの場面は別個に構成されるのでなく、有機的に結びついて構成される。舞踊作品は人物の踊りと踊りの単位の合理的な配列によって構成され、踊りの場面によって展開される。したがって踊りの構成案を立てるにあたっては、人物の踊りと踊りの単位、踊りの場面を個別に考察するのでなく、有機的な連関のなかで考察し組み立てていくべきである。

踊りの構成案は生活の論理に合わせて立てなければならない。そうしてこそ、踊りによって人間の思想・感情と生活をリアルに描きだし、観客を作品の世界に引きこむことができる。振付け師は踊りの部分と段落、場面の一つひとつを主観的な欲求ではなく、生活の発展に即して組み立てるべきである。

踊りの構成案は生活の情緒的流れにも合わせて立てるべきである。生活の論理だけでなく、情緒的流れに合わせて構成してこそ、内容が明白で芸術的にりっぱな舞踊にすることができる。

振付け構成案における重要な内容の一つは、音楽構成案である。

音楽構成案には舞踊音楽の創作方向が示される。音楽構成案を正しく立ててこそ、作曲家が振付け師の創作意図にかなった舞踊音楽を創作し、舞踊作品の思想性・芸術性をより十分に保つことができる。

音楽構成案には作品の性格に合った音楽のスタイルを明示すべ

きである。舞踊作品の性格は、描きだす生活の内容によって革命的で雄々しいものもあれば、悲壮なものもあり、情緒的なものもある。舞踊音楽のスタイルは舞踊作品の性格に合わせてはつらつなものにもし、情緒的なものにもすべきである。党と領袖の偉大さを描いた舞踊作品の音楽は荘厳なものにし、社会主義建設の躍動する現実を描いた舞踊作品の音楽ははつらつたるものにし、民俗的生活を反映した舞踊作品の音楽は民族的な情緒の濃いものにすべきである。振付け師は音楽構成案で作品の性格に合った音楽のスタイルを明示して、作曲家が踊りの出る旋律とリズムの音楽を創作できるようにしなければならない。

音楽構成案には舞踊音楽の長さとテンポも明示すべきである。舞踊音楽の長さとテンポは、踊りの部分と場面の長さと踊りのテンポに合わせて、しかも舞踊手が音楽に乗ってスムーズにおどれるように定めなければならない。

舞台美術の構成案をしっかり立てるべきである。振付け師が舞台美術の構成案をしっかり立ててこそ、舞台美術家が振付け師の創作意図に合わせて舞台美術を創作することができる。舞台美術の構成案には、作品の性格に合わせて衣装と小道具、背景をつくる方向をはっきりと示さなければならない。

振付け構成案は振付け師によって構想され、立てられる。振付け構成案を立てる主人は振付け師であり、振付け構成案は振付け師の創作品と言える。

しかし、振付け師は振付け構成案を独りで完成しようとしてはならない。振付け構成案は振付け師によって構想され立てられるが、創作スタッフの集団的な知恵と努力によって舞踊作品として

完成される。したがって、振付け師は作品をつくる創作スタッフの衆知を集めて振付け構成案を完成すべきである。そうすれば、創作スタッフが作品にたいする確信をもち、創作で速度戦を展開して短時日のうちに舞踊作品をつくりあげることができる。

振付け師は作曲家と美術家、舞踊指導員、舞踊手に自分の創作意図を具体的に伝え、かれらのよい意見を取り入れて振付け構成案を完成すべきである。

3　舞踊音楽はすぐれたものでなければならない

舞踊音楽をどのようなものにするかは、舞踊作品の思想性・芸術性を保つうえできわめて重要である。元来、舞踊は音楽と結びついた芸術であり、音楽がすぐれたものであってこそ、それにもとづいて思想的、芸術的にりっぱなものにすることができる。

舞踊は音楽にもとづいて創作され、形象化される。それは、音楽にもとづいて踊りのリズムがつくられ、踊りができあがるからである。

踊りのリズムは音楽にもとづいて生まれる。音楽は踊りのリズムに律動と情緒をもたせる。音楽がもたらす律動と情緒によって踊りのリズムが生まれる。律動と情緒が豊かな音楽は情緒的な美しい踊りのリズムをつくりだす。情緒的で美しい踊りのリズムをつくるには、律動と情緒が豊かなすぐれた音楽がなければならない。

音楽がすぐれたものであってこそ、踊りもりっぱに形象化することができる。

踊りは音楽に乗ってこそ形象化され、舞台にくりひろげられる。踊りは舞踊手が形象化して舞台にくりひろげる。舞踊手が踊りをおどるには音楽に乗らなければならない。舞踊手は音楽に乗ってこそ、音楽の律動と情緒に合わせておどることができる。舞踊手が踊りを上手におどるかどうかは技量にもかかわるが、舞踊音楽がどんなものであるかということとも大いにかかわりがある。舞踊音楽が律動と情緒が豊かで興趣をもりあげるものであれば、舞踊手はおのずと音楽の世界に誘われ、踊りを楽しく、自然におどることができる。舞踊手が音楽の世界にひたって踊りを楽しく自然におどれば、それだけ舞踊作品は思想性・芸術性のすぐれたものになる。

音楽がすぐれたものであってこそ、観客も舞踊の世界に深く引きこまれるようになる。

舞踊の思想的・芸術的水準は、観客が舞踊作品の世界に深く引きこまれるかどうかによって評価される。舞踊作品の世界に観客を深く引きこむには、かれらの大きな情緒的感興をそそらなければならない。舞踊の情緒的感興は踊りの美しい律動によってそそられる。舞踊の情緒的感興は、踊りと音楽の統一的な形象化によっていっそうもりあげることができる。音楽は人間の心を動かす情緒的な力が大きい。人びとは日常生活でリズム感のある軽快な音楽を耳にすると、われ知らずそれに合わせて足や手の指で軽く拍子をとるものである。舞踊でも音楽が興趣をわきあがらせれば、観客が興をそそられ、舞台の舞踊手といっしょに踊りをおどっているような心持ちになる。舞踊における音楽は振付け師と舞踊手、観客を舞踊の世界へと導く重要な役割を果たす。したがって、舞

踊作品の創作にあたってはすぐれた音楽をつくることに力を入れるべきである。

舞踊音楽は振付け構成案がつくられたあと、踊りのリズムに先立って創作しなければならない。

舞踊音楽を踊りのリズムに先立って創作するのは、舞踊作品の創作において堅持すべき原則の一つである。舞踊音楽を踊りのリズムに先立って創作してこそ、作品の思想的・主題的要求にかなったものになり、形象化の独自性と一貫性を保障することができる。舞踊音楽は振付け構成案に示された方向にそって、種子が明らかにした思想・主題の内容をもりこんでいながらも、音楽としての固有な体裁をなすように、形象化の独自性と一貫性を保障しなければならない。

踊りのリズムを先につくり、それに合わせて舞踊音楽をつくると、それは満足できるものにならない。踊りのリズムに合わせてつくられた舞踊音楽は、いきおい形象化の一貫性と独自性を保障できなくなる。そのような音楽は音楽としての価値がないばかりか、舞踊作品の思想性・芸術性を高める何の助けにもならない。したがって、舞踊音楽は踊りのリズムをつくる前に創作しなければならない。

舞踊音楽は興趣が感じられるようにつくるべきである。舞踊音楽に興趣があってこそ、踊りのリズムが自然に生まれ、舞踊手がスムーズにおどりこなし、観客も興に乗るものである。

舞踊音楽に興趣を添えるには、旋律を舞踊形象の要求にかなったものにしなければならない。

旋律は音楽の思想的・情緒的内容を表現する基本的手段である。

舞踊音楽の旋律は舞踊作品の思想的・情緒的内容をあらわさなければならない。そうするには、音楽としての自己の固有な性格を生かさなければならない。舞踊音楽の旋律は音楽としての自己の固有な性格を生かしながらも、踊りの性格に合ったものでなければならない。舞踊音楽の旋律は人物の思想・感情と情緒的に一致し、踊りの形象化の世界をはっきりと浮き彫りにする。

踊りの性格は種子によって規定され、舞踊台本と振付け構成案によって示される。作曲家は振付け構成案に示された踊りの性格を把握し、振付け師の意図と要求に即して舞踊音楽の旋律をつくらなければならない。

舞踊音楽を興趣のあるものにするには、拍子を十分に生かさなければならない。

音楽のリズムをつくる基本的要素は拍子である。拍子がリズムをつくるので、踊りは拍子に乗ってこそリズムが生かされる。踊りは拍子に合わせておどる。舞踊伴奏音楽が発展していなかった時分は、主に打楽器の拍子に合わせて踊りをおどったものである。当時は、踊り手が自ら長鼓や太鼓をたたきながら、その拍子に合わせておどったりした。舞踊伴奏において拍子を生かすことは、昔もいまも重要な問題である。音楽の拍子が十分に生かされてこそ、それに合わせて踊りを楽しくおどることができる。

舞踊音楽の拍子では民族的な拍子を十分に生かすべきである。そうすれば民族色の濃い踊りのリズムをつくりだし、舞踊形象化においても民族的特性を十分に生かすことができる。舞踊の民族的な拍子は民族の思想・感情と情緒を鮮明に表現する手段の一つである。踊りが民族的な拍子に乗れば、民族的な情緒と興趣がわ

きあがる。朝鮮の拍子は種類が多様かつ豊富である。朝鮮人民は早くから拍子を利用して、自分の思想・感情と好みに合う民族舞踊を発展させてきた。民俗舞踊である農楽舞は長いあいだ朝鮮人民が広くおどってきた。農楽舞には、特色のある多様な朝鮮の拍子に乗って流れる軽快な音楽と踊りのリズムがある。農楽舞の変化に富む拍子は、朝鮮の拍子が多様かつ豊富であることをよく示している。わが国の舞踊音楽は、多様で豊富な朝鮮の拍子を十分に生かしてつくるべきである。

舞踊音楽は踊りの構成の要求に即してつくるべきである。これは踊りと音楽の統一をはかる方途の一つである。舞踊における踊りと音楽は同じ生活の内容を描きださなければならないので、構成上の統一をはからなければならない。

踊りと音楽の構成上の統一をはかるうえで重要なのは、初めと終わりの処理を形象的に統一させることである。舞踊の芸術的効果は、初めと終わりをどう処理するかによって大きく左右される。舞踊の初めと終わりが観客によい印象を与えるようにするには、踊りと音楽を形象的によく統一しなければならない。舞踊の初めと終わりの形象的統一は、踊りと音楽の構成において巧みになされなければならない。

踊りと音楽の構成上の統一をはかるうえで重要なのはまた、舞踊のクライマックスを音楽的にうまく処理することである。舞踊におけるクライマックスは芸術的効果をねらう重要な場面である。クライマックスの芸術的効果は、踊りの構成を密にし、舞踊手の技巧を高めるとともに、それにふさわしい音楽をバックアップしてこそ、十分にあらわれる。舞踊音楽の創作にあたっては、踊り

のクライマックスを把握し、クライマックスの芸術的効果を十分に発揮させる方向で音楽形象をそれに一致させるべきである。

既成の名曲を舞踊音楽として大いに利用すべきである。

既成の名曲を利用するのは、すぐれた舞踊音楽を解決する重要な方途の一つである。既成の名曲を利用すれば、舞踊音楽を名曲にする問題をりっぱに解決することができる。舞踊作品を名作にするには、舞踊音楽が名曲でなければならない。踊りは音楽にもとづいて創作され形象化されるので、名曲を利用してこそすぐれた舞踊をつくることができる。すぐれた歌詞があってこそ名曲が生まれ、名曲があってこそすぐれた舞踊が生まれるのである。既成の名曲を利用すれば、舞踊音楽を踊りのリズムに先立って創作する問題も成功裏に解決することができる。また、既成の名曲を利用すれば、振付け師が舞踊作品にたいする明確な芸術的表象をもち、基本的な踊りのリズムをたやすく見つけることができる。

既成の名曲を舞踊音楽にした舞踊作品は、人民がすぐに理解し共感する。観客が『忠誠ひとすじに』と『三色舞』を観てすぐに理解し共感を覚えるのは、人民に愛され広くうたわれている既成の名曲をもとにして舞踊音楽をつくったからである。

近年、わが党の正しい文芸方針にもとづいて多様な主題とスタイルの名曲が多数創作されて、人民に広くうたわれている。そのなかには舞踊音楽として使える名曲が少なくない。人民に愛唱されている名曲を利用すれば、思想的、芸術的にすぐれた舞踊作品をいくらでも創作することができる。

既成の名曲を舞踊音楽として用いる場合は、それを上手に編曲しなければならない。既成の名曲を大衆舞踊曲として用いるとき

は編曲しなくてもすむが、芸術舞踊にオリジナルを使うのはむずかしい。芸術舞踊は一定の形象体系をもっているので、踊りを構成し、踊りのリズムを織りなせるように既成の名曲を舞踊音楽に編曲する必要がある。既成の名曲を舞踊音楽に編曲するのも一種の創作である。既成の名曲を舞踊音楽に編曲するのも、新しい舞踊音楽の創作に劣らず創作的な探求を必要とする。既成の名曲を手にしたからといって、舞踊音楽がひとりでにつくられるわけではない。作曲家が創作的情熱を燃やしてたえず探求してこそ、既成の名曲をもとにしてすぐれた舞踊音楽をつくることができる。

作曲家がすぐれた舞踊音楽をつくるには、舞踊の知識が必要である。作曲家に舞踊の知識がなければ、舞踊音楽を舞踊の形象体系に即して創作することはできない。作曲家は、学習をはじめいろいろな方法で舞踊にかんする理論と創作実技を習得すべきである。

作曲家は舞踊音楽の創作にあたって、振付け師と緊密に協議すべきである。舞踊作品の創作活動は、振付け構成案の作成から舞台形象の創造にいたるまで、振付け師の創作意図と決断によって進められる。したがって作曲家が作品の形象上の要求に即して舞踊音楽をつくるためには、振付け師の創作意図と決断を知る必要がある。作曲家が振付け師の創作意図と決断を知れば、舞台に展開される舞踊形象を思い描きながら、作品の形象上の要求に即して特色のある舞踊音楽をりっぱに創作することができる。作曲家は振付け師との緊密な協議のもとに作品の形象上の要求にかなった舞踊音楽を創作することによって、舞踊作品を思想的、芸術的にりっぱに完成させるのに大いに寄与すべきである。

4　踊りのリズムは性格が明確でなければならない

舞踊において踊りのリズムは芸術的リズムのもっとも明確な表現形態である。芸術的リズムを基本的表現手段とする舞踊では、踊りのリズムを性格の明確なものにしなければならない。それでこそ、生活をリズミカルに描きだすことができる。

舞踊における生活は音楽や舞台美術によっても描きだされる。舞踊において音楽と舞台美術は重要な表現手段であり、必須の構成部分をなしている。しかし、舞踊における音楽と舞台美術はあくまでも舞踊形象を生かすのに寄与する補助手段である。踊りのリズムをぬきにして、華麗な衣装や小道具、セットなどの舞台美術に依拠しては、満足な舞踊作品をつくることができない。

舞踊では踊りのリズムを基本にしてストーリーをつづり、生活を描きださなければならない。舞踊は音楽に乗って流れる踊りのリズムを基本にしてストーリーをつづってこそ、人間の思想・感情と生活を生き生きとしたリズムによって自然に描きだすことができる。舞踊では踊りのリズムがすぐれたものであるほど、形象がリアルなものになり、観客のより大きな情緒的感興を呼び起こすことができる。

踊りのリズムは意味が明白でなければならない。

舞踊における踊りのリズムは意味が明白であってこそ、人間の思想・感情と生活を正確に表現することができる。意味の明白でない踊りのリズムは、いかに美しくはでやかなものであっても、生活の内容を見せることができない。生活の内容を見せられない

踊りのリズムは舞踊形象に寄与することができない。舞踊形象に寄与できない踊りのリズムは何の価値もない。踊りのリズムはどんな生活の内容を見せるかという意味が明白であってこそ、舞踊の表現手段としての価値をもち、舞踊形象に寄与することができる。

踊りのリズムは意味が明白であってこそ、踊りの性格も生かすことができる。

踊りの性格は、踊りを構成するそれぞれの踊りのリズムの個性的な特徴によって具体的に表現される。踊りのリズムが個性的なものであれば、踊りの性格も明白になり、舞踊作品の性格も明らかになる。

舞踊作品における踊りのリズムの個性は人物の性格と生活にもとづいており、それを反映する。したがって、踊りが反映している生活の内容と情緒が変われば、それに応じて踊りのリズムの個性も違ってくる。これは、踊りのリズムの個性がとりもなおさず生活の内容によって規定され、生活の内容が明白であれば、それだけ踊りのリズムの個性的な特徴もきわだつことを示している。そのため、振付け師は踊りのリズムを意味の明白なものにし、作品に反映された生活の内容を正確に表現することによって、舞踊の性格をはっきりさせなければならない。

踊りのリズムを意味の明白なものにするには、それを生活の動作にもとづいてつくらなければならない。

踊りのリズムをはじめ舞踊言語は、人間の日常生活での行動と動作が下地となっている。踊りのリズムを生活の動作にもとづいてつくってこそ、生活を表現するのにもっとも的確なものにし、踊りの性格をはっきりとあらわすことができる。

踊りのリズムの下地となる生活の動作は人間の多様な生活のなかに求めるべきである。人間の生活は多様であり、それにともなう動作もまた多様である。しかし、人間の多様な生活がすべて舞踊の素材にはなりえないように、多様な生活の動作がみな踊りのリズムの素材になるわけではない。踊りのリズムの素材としては、人間の多様な生活の動作のなかから当の舞踊作品の性格に合う特徴のある動作を選び出すべきである。作品の性格に合う新しい特徴のある生活の動作を探しだすところに意味深い踊りのリズムをつくりだす秘訣があり、振付け師の創作的識見がある。

朝鮮人民が働き暮らす現実の多様な生活のなかには、踊りのリズムの素材をはじめ舞踊芸術作品の素材がたくさんある。振付け師はそうした現実のなかに入って、かれらの生活を幅広く深く研究しなければならない。その過程で振付け師は生活の具体的な断面を掘りさげるべきである。そして、人間の生活に見られる多様な動作のなかから踊りのリズムとなる特徴のある動作を見つけ出さなければならない。振付け師があつい情熱とあくなき探求心をもって生活のディテールを深く掘りさげるなら、人間の自主的で創造的な生活の過程であらわれる新しい特徴のある動作を見つけて、性格の明白な踊りのリズムをつくりだすことができる。生活の動作にもとづいてつくられた性格の明白な踊りのリズムは、人民の生活と思想・感情をリアルに繊細に表現することができる。

踊りのリズムは美しいものにすべきである。

舞踊は踊りのリズムが美しいものであってこそ、芸術的にすぐれた作品になり、観客に美しい律動を見せることができる。

芸術は美しいものでなければならない。美は芸術の本性である。

芸術は、人間の自主的で創造的な生活の過程で発現する美しいものへの志向と要求を反映して生まれ、発展する。芸術は美しいものであってこそ、生活を美しく創造して享受しようとする人間の志向と要求を正しく反映し、その実現をめざすたたかいを鼓舞することができる。舞踊芸術も、生活を美しく創造して享受しようとする人間の崇高な思想・感情を美しいリズムによって生き生きと描きだすべきである。そのためには、踊りのリズムが美しいものでなければならない。

踊りのリズムを美しいものにするには、人間の生活のなかから探しだした動作を芸術的にほどよくととのえなければならない。現実のなかから探しだした生活の動作に深い意味がこめられているとしても、そのままでは舞踊形象の手段とはなりえない。芸術的にととのえられていない生硬な生活の動作は芸術的リズムになりえず、したがって舞踊言語としての機能を果たすことができない。現実のなかから探しだした生活の動作は律動的に、造形的に十分ととのえる必要がある。

律動性と造形性は踊りのリズムの基本的属性である。踊りのリズムは律動的に、造形的に美しいものでなければならない。そうであってこそ、踊りのリズムは芸術的な美をあらわすことになる。踊りのリズムは芸術的な美をそなえてこそ、形象的言語としての機能を十分に果たし、生活を美しく描くことができる。

踊りのリズムの芸術的な美は踊りの内容と一致しなければならない。内容をぬきにして、動作の模様とリズムだけを美しくするのは形式主義の表現である。踊りのリズムは、調和のとれた律動美と造形美によって踊りの内容を鮮明にしなければならない。そ

のような踊りのリズムが美しい踊りのリズムなのである。振付け師は、踊りの内容がはっきりとあらわれるように、踊りのリズムを律動的に、造形的に美しいものにすべきである。

踊りのリズムは民族的情緒が豊かなものにすべきである。

踊りのリズムを民族的情緒の豊かなものにするのは、舞踊創作において守るべき重要な原則の一つである。わが国の舞踊は朝鮮人民の生活を反映し、朝鮮革命に寄与する芸術とならなければならない。わが国の舞踊を革命に寄与する芸術として創造し発展させるには、民族的情緒を正しく具現しなければならない。民族的情緒を正しく具現してこそ、わが国の舞踊が人民の思想・感情と生活をリアルに描き、かれらの美感にかなったものになる。舞踊の民族的情緒は踊りのリズムに集中的にあらわれる。舞踊で民族的情緒を正しく具現するためには、まず踊りのリズムから民族的情緒の濃いものにしなければならない。

踊りのリズムを民族的情緒の濃いものにするには、踊りのリズムと動作に朝鮮舞踊の固有な味が出るようにしなければならない。朝鮮舞踊は腕の動きを基本とし、律動が優雅でしなやかなのが特徴である。朝鮮舞踊のこのような特徴を無視しては、踊りのリズムに民族的情緒をもたせることができない。

朝鮮舞踊では手の動作も用いることができる。しかし、朝鮮舞踊では手の動作を基本としてはならない。舞踊では腕の動作と手の動作は区分される。朝鮮舞踊は腕の動作が基本であって、手の動作が基本ではない。朝鮮舞踊の踊りのリズムでは腕全体をしなやかに動かすことを基本とし、手の動作は必要なときにだけ用いるべきである。

踊りのリズムの民族的情緒はテンポにもあらわれる。朝鮮舞踊の情緒は踊りのテンポとも深くつながっている。朝鮮舞踊のテンポはさほど速くもなければ遅くもない。朝鮮舞踊はテンポがほどよいので情緒的な流れをなし、すべての動きと律動はしなやかでありながらも力強いものがある。舞踊は、テンポが速すぎると自然に流れが激しくなり、動きが多くなるので、優雅で叙情的な味がなくなってしまい、これとは反対にテンポが遅すぎると重苦しく間延びがする。舞踊のテンポは踊りの情緒と関係があるので、踊りのリズムをつくるにあたっては、流れのテンポを朝鮮舞踊の特性に合ったものにしなければならない。とくに、男性舞踊の動作で民族的情緒を十分に生かすべきである。男性舞踊は女性舞踊と違って男性的な性格を帯びなければならないので、足を踏み鳴らすなど迫力のある活発な動作をすることができる。だからといって、跳躍や回転などの動作を西洋式にすべきではない。そういった動作を取り入れると、朝鮮舞踊の固有な味がなくなってしまう。男性舞踊でも、迫力のある活発な動作は朝鮮舞踊に固有な情緒を十分に生かしてつくるべきである。男性舞踊でこんにちの生活を反映した新しい踊りのリズムをつくるにしても、西洋舞踊の動作を模倣するのでなく、朝鮮舞踊のリズムにもとづき、われわれの時代の要求と朝鮮人民の美感に合わせて朝鮮式のものにすべきである。そうしてこそ、舞踊で民族的特性とともに現代性も正しく具現することができる。

技巧を見せる踊りのリズムをうまくつくるべきである。

舞踊では、技巧を見せる踊りのリズムをうまくつくることがきわめて重要である。技巧を見せる踊りのリズムは作品の思想性・

芸術性を高める。

舞踊で技巧を見せる踊りのリズムは主にクライマックスに展開される。

舞踊作品の形象化ではクライマックスが重要な位置を占める。クライマックスはストーリーのある作品やドラマ性の強い作品はもとより、ストーリーやドラマ性のない作品にも必要である。クライマックスで高度の技巧を見せれば、展開してきたストーリーが強調され、リズミカルな形象はいっそうはなやかなものになる。

クライマックスでのテクニックは、展開してきた踊りのリズムを中途で打ち切ったり、うやむやに終わらせないで持続し、それを技術的にりっぱに発展させて見せるべきである。そうすれば踊りのリズムと作品の性格が生かされ、観客にもよい印象を与えることができる。

クライマックスで見せるテクニックを作品ごとに新たに創造するというのは容易でない。そのため、長いあいだ舞踊を発展させる過程でととのえられ、定着した既成のテクニックを利用することになる。既成のテクニックを利用する場合、型通りに利用してはならない。既成のテクニックを型通りに利用すると、くりひろげてきた踊りのリズムが生かされず、作品の性格があいまいになる。舞踊のクライマックスは観客の耳目がいちばん集中する場面なので、そこで型通りのテクニックを見せては、観客によい印象を与えることができない。クライマックスに既成のテクニックを利用する場合は、型通りにではなく、作品の内容と性格に合うように調和させて利用すべきである。振付け師は、作品の内容と性格に合わせて既成のテクニックを正しく利用するとともに、新し

いテクニックを探求して、クライマックスを特色のある踊りのリズムでりっぱに描きだすべきである。

踊りのリズムは音楽に合わせてつくるべきである。

踊りのリズムを音楽に合わせてつくるのは、舞踊作品の思想性・芸術性を高める方途の一つである。踊りのリズムを音楽に合わせてつくってこそ、踊りと音楽が形象上の統一をなし、思想性・芸術性のすぐれた舞踊作品を創作することができる。

舞踊では音楽と踊りが同じ生活にもとづいており、一つの形象化に寄与する。ところが、舞踊での音楽と踊りはそれぞれ独自の形象体系をもってくりひろげられる。独自の形象体系をもつ音楽と踊りが同じ生活をりっぱに描きだすには、形象上の統一が保たれなければならない。音楽と踊りの形象上の統一は、踊りのリズムを音楽に合わせてつくってこそもたらされる。

踊りのリズムは音楽の性格に合わせてつくるべきである。

踊りのリズムは音楽の旋律と拍子に乗ってつくられる。音楽は踊りのリズムに旋律と拍子をつけてくれる。同時に、音楽の旋律と拍子は踊りのリズムの性格を規定する。同じ踊りのリズムであっても音楽の旋律と拍子が変われば、その性格も変わる。また、踊りのリズムの性格が変われば、舞踊作品の性格も変わる。結局、音楽は踊りのリズムの性格だけでなく、ひいては作品の性格を規定するうえでも大きな作用を及ぼす。舞踊音楽の性格が舞踊作品の性格を規定するので、名曲にもとづけばすぐれた舞踊を創作することができる。

しかし、舞踊音楽の性格がひとりでに踊りのリズムに具現され、踊りのリズムの性格を規定するわけではない。舞踊音楽の性格は、

振付け師がそれを正しく把握し、それに合わせて踊りのリズムをつくってこそ、踊りのリズムに具現される。音楽の性格は思想的内容と情緒的ニュアンスによって表現される。振付け師は作曲家が個性的に創作した舞踊音楽の思想的内容と情緒的ニュアンスを正しく把握し、それに合わせて踊りのリズムをつくるべきである。

踊りのリズムは舞踊音楽の流れに合わせてつくるべきである。

踊りのリズムは音楽に乗って流れながら踊りを形づくる。踊りのリズムが音楽に乗って自然に流れながら踊りを形づくるには、それが音楽の流れによく合わなければならない。

踊りのリズムは音楽の旋律の流れに合ったものでなければならない。そうなってこそ踊りと音楽の情緒的な統一がもたらされ、リアルな形象が創造される。生活から探しだしたリズムは音楽で旋律となり、音楽の旋律は舞踊の踊りのリズムとなる。そのため、踊りのリズムは音楽の旋律と一致させなければならない。そうすれば、踊りのリズムが自然に音楽に乗って流れながら情緒的な統一をなしていく。

踊りのリズムは舞踊音楽の拍子の流れにもよく合ったものでなければならない。舞踊音楽での拍子は踊りのリズムの律動を生かす。踊りのリズムは舞踊音楽の拍子の流れに合ったものであってこそ、踊りと音楽の律動性を十分に生かし、より美しい律動的な形象を創造することができる。振付け師は舞踊音楽のリズムと拍子を十分に把握し、踊りのリズムをそれに合わせて、踊りのリズムの流れと拍子の流れが自然に一つに調和するようにしなければならない。

踊りのリズムを巧みに組み合わせるべきである。

生活のなかから探しだした一つひとつの踊りのリズムは、踊りの構成の要求に即してほどよく配列し、結合しなければならない。この作業をおろそかにすると、新しい特色のある踊りのリズムをつくりだしても意味がなくなってしまう。個々の踊りのリズムは有機的に結合し連結されてはじめて、一つの律動体系をそなえた踊りとなり、その表現機能を果たすことになる。

踊りのリズムは舞踊ルールにしたがって組み合わせるべきである。他の芸術様式と同様に、舞踊芸術にもそれに固有な形象言語とともに、その創造において規範となるルールがある。舞踊ルールを守るのは、舞踊作品の踊りの構成をはじめ形象創造の全般において重要であるが、舞踊言語の基本要素である踊りのリズムを組み合わせるうえでより重要である。踊りのリズムを組み合わせるのは、言葉や文にたとえるならば単語を結合して文章をつくることだと言える。話をしたり文章を書いたりするときに文法を守らなければ文章が支離滅裂になり、意味がよく通じないのと同様に、踊りのリズムも規範に反して組み合わせると踊りの流れが不自然になり、内容も明白に表現することができなくなる。舞踊では踊りのリズムが舞踊ルールにしたがって組み合わされてこそ、踊りがととのい、内容も明白になる。

踊りのリズムを舞踊ルールにしたがって組み合わせるうえで重要なのは、主要リズムを規範にしたがって設定し、組み合わせていくことである。舞踊作品における踊りのリズム構成は、一定の意味と律動の形態をそなえた主要リズムを基本にして成り立っている。踊りのリズムを組み合わせるうえで主要リズムの選定を誤ると、踊りの内容表現とリズムの性格が違ったものになる。その

ため、主要リズムを正しく設定し組み合わせることは、踊りのリズム構成の重要なルール上の要求となる。舞踊作品の内容と踊りの構成に応じて主要リズムの設定は一つにしてもよいし、複数にしてもよい。しかし、主要リズムは必ず踊りの内容とリズムの特徴をもっとも明白にあらわせるものにしなければならない。

舞踊『リンゴの豊作』は主要リズムを舞踊ルールの要求に即して正しく設定し、組み合わせている。この舞踊では、作品の主題的・思想的内容に即して現実のなかから探しだしてリズム化した、リンゴをもぎとる動作、枝をかき分ける動作、もぎとったリンゴを籠(かご)に入れる動作などを主要リズムとし、それらを反復、もしくは変化発展させながら、踊りを巧みに織りなしている。また、主要リズムを正しく設定して踊りのリズムをくりひろげているので、踊りのリズムと形象の一貫性が保たれ、わが党の賢明な指導のもとに国のいたるところにつくられた青春果樹園で毎年リンゴの豊作を迎える農村の乙女たちの喜びと楽しい労働生活が生き生きとリアルに描きだされている。

踊りのリズムを舞踊ルールにしたがって組み合わせるうえで重要なのはまた、踊りの節をうまく組み合わせることである。踊りの節は踊りのリズム構成の基本単位である。舞踊では、芸術的形象のための踊りのリズムはもとより、実技訓練を目的とする基礎動作も踊りの節を基本単位として組み合わされる。舞踊のあらゆる踊りのリズムは踊りの節を基本単位として構成されるので、踊りの節をうまく組み合わせてこそ、踊りのリズム進行と形象がルール上ととのったものになる。踊りの節は相対的な完結性をもつ小さな踊りのリズム構成であるため、初めと結びを明白なものに

しなければならない。一つの踊りの節は大体、音楽の 8 拍子の長さであり、一定の構図をもっている。踊りの節は音楽の流れと構図の変化に応じて組み合わせるべきである。踊りの節が舞踊ルールにしたがってうまく組み合わされた舞踊では、踊りの進行の形象上の段落も明白になり、作品の思想的・情緒的内容もより明白に表現される。

5　踊りの構図は意味が明らかで造形美がなければならない

舞踊における踊りの構図は、基本的表現手段である芸術的リズムをあらわす重要な要素の一つである。

踊りの構図は舞踊手が立つ位置と移動するコースから成り立っている。舞踊手は一定の位置で、または位置を変えながらおどる。舞踊手が一定の位置で隊形をなすか位置を変えながらおどれば、造形的な形態と線がつくられる。

舞踊手がおどる位置と移動するコースは多様である。そのため、そのときにつくられる造形的な形態と線も多様である。舞踊手が踊りをおどるときにつくられる多様な造形的な形態と線によって、作品に反映された人物の思想・感情と生活が造形的に描きだされる。

舞踊における踊りの構図は重要な表現機能を果たすので、舞踊作品が思想的、芸術的にすぐれたものになるかどうかは、踊りの構図をどのようなものにするかに大きくかかっている。

踊りの構図は作品の生活内容をはっきりと見せられるようにとるべきである。

踊りの構図は踊りの動作と同様に、作品の思想的・主題的内容を形象的に表現する。踊りの構図が作品の思想的・主題的内容を形象的に表現するには、見せようとする生活の内容をリアルに描きださなければならない。踊りの構図は、作品で見せようとする生活を舞台的な形態と線を通じて、いろいろな角度から造形化して鮮明に描きだす。

舞踊『祖国のツツジ』で抗日遊撃隊員が懐かしい祖国の土を踏み、ツツジが咲き乱れる祖国の山河をうたう場面で、祖国の土を握りしめる主人公を中心に半円形をつくり、ツツジの花を胸いっぱい抱いておどる構図は、祖国の土を踏んだ抗日遊撃隊の女子隊員たちの崇高な思想・感情と生活を生き生きと見せてくれる。踊りの構図は『祖国のツツジ』のように、作品の生活的内容を鮮明に表現できるものにすべきである。

踊りの構図は、作品に反映された自然現象も生き生きと見せられるようなものでなければならない。舞踊作品では、自然現象を踊りの動作だけでなく、踊りの構図によっても描きだす。踊りの構図は、描写対象の具体的な姿をそのまま生き生きと描きださなければならない。舞踊では、生活と結びついた自然現象の美を踊りの構図によって造形的な形象として描くことにより、作品の芸術性を高める。

踊りの構図を生活の発展にしたがって展開するのは、生活の内容を鮮明に描きだす重要な方途の一つである。生活の発展にしたがって踊りの構図を展開してこそ、描きだす生活そのものも発展

させることができる。

踊りの構図は生活発展の論理にしたがって展開しなければならない。そうしてこそ、描こうとする生活を造形的な形象として自然に展開しながら、観客に生き生きと見せることができる。

踊りの構図を生活の発展にしたがって展開するには、発展する生活に合った新しい構図を用いなければならない。新しい生活を見せる場面に新しい構図を用いてこそ、踊りのリズムにも新鮮味が感じられ、生活が発展していく様子を視覚的にはっきりと見せることができる。

踊りの構図は、生活の発展にしたがって新しいものを用いるべきであるが、場合によっては従来のものを繰り返し使うこともできる。しかし、従来の踊りの構図を機械的に反復して用いてはならない。従来の踊りの構図を反復して用いる場合は、位置の方向や角度を変えて、構図が視覚的に新しいものに感じられるようにしなければならない。

踊りの構図には造形美がなければならない。構図の造形美は作品の思想的・主題的内容を美しく浮き彫りにし、芸術的形象を高める。構図に造形美がなければ思想的・主題的内容を鮮明にすることができず、造形的に美しく描きだすことはできない。

踊りの構図を造形美のあるものにするには、舞台とのバランスが保たれるようにしなければならない。踊りの構図は舞台とのバランスが保たれてこそ、視覚的に安定し、美しい芸術的形象を創造することができる。踊りの構図と舞台とのバランスが保たれなければ、舞台形象の全般的な調和をはかることはできない。舞踊芸術で直観性の強い踊りの構図は、舞台との視覚的なバランスが

保たれなければならない。

踊りの構図と舞台とのバランスを保つうえで重要なのは、舞踊手をペアにして配置することである。舞台に舞踊手をペアにして配置すれば舞台の散漫さをなくし、安定感を与えていっそう調和のとれた芸術的形象を創造することができる。形象の視覚的統一と調和を求める舞踊芸術では、踊りの構図がつねに秩序整然とし、安定していなければならない。

舞台に舞踊手をペアにして配置すれば、アンサンブルを構成するうえでも効果的である。舞踊でアンサンブルを構成するのは、作品の形象化水準を高める重要な方途の一つである。舞踊におけるアンサンブルは踊りの動作によっても構成すべきであるが、踊りの構図によっても構成しなければならない。舞踊のアンサンブルは、踊りの構図のバランスがとれてこそ保たれる。踊りの構図のバランスは、舞踊手がペアでおどることによって保たれる。おどるときのペアがアンバランスだと、踊りの構図が散漫になり、ぴったりしたアンサンブルを構成することができない。

舞踊形象においては、踊りの構図が機械の歯車のようにしっかり噛み合ってこそ、アンサンブルのレベルが高まる。踊りの構図の組み方いかんによってアンサンブルのレベルが決まるため、舞踊手を舞台に配置して群像を描くときには、つねに舞踊手のペアがそろい、構図と舞台のバランスがとれるようにしなければならない。

踊りの構図と舞台のバランスを保つうえで大切なのは、踊りの構図の中心を正しくとらえることである。踊りの構図の中心を正しくとらえなければ舞台のバランスを保つことはできず、全般的

な舞台形象に視覚的な安定感を与えることもできない。舞台形象における視覚的な不安定感をなくし、バランスを保つためには、踊りの構図の中心を正しくとらえなければならない。踊りの構図の中心は、つねに舞台の中心と一致させなければならない。そうすれば、舞台のバランスが保たれ、リズミカルな形象が整然と展開されて、観客に安定感を与える。

踊りの構図は踊りの動作と密接に結びつけなければならない。そうしてこそ作品の思想的・主題的内容を造形的によりいっそう鮮明にあらわすことができる。踊りの構図は踊りの動作と調和して結びついたときに、舞踊形象の造形的な形態と意味のある線として完成される。踊りの動作と構図は形象上の統一をなしながら、各人物の思想・感情と生活を描きだす。踊りの動作と構図はつねに統一をなして展開されるので、観客は両者を別々に観るのでなく、統一的な形象として観る。

踊りの構図は、踊りの動作を適切に連結し、展開できるように組むべきである。踊りの動作は踊りの構図によって主題的・思想的内容に合わせてつなぎ合わされ、発展する。構図を変えずにひとところで動作を展開するなら、形象の幅が狭まり、多様な形象を創造することができない。同じ動作を反復する場合でも、構図をつぎつぎに変えれば、そのニュアンスと表現効果が違ったものになる。踊りの構図は踊りの動作を適切に連結できるように組んでこそ、踊りがいっそう幅広く展開され、形象が多様になる。

踊りの構図は、踊りの動作の組み合わせと区切りをつけ、踊りのモメントと場面を自然に変えられるように組むべきである。

踊りの構図は音楽と一致させなければならない。そうすれば作

品の内容を鮮明に描きだし、造形美をきわだたせることができる。舞踊のリズムは音楽にもとづいてつくられるので、踊りの構図を音楽と一致させ、音楽の情緒的性格と長さに合わせて組まなければならない。

踊りの構図は舞台美術とも一致させる必要がある。踊りの構図はセットや背景などの舞台美術と一致させてこそ、作品に描きだされる生活環境をいっそう明白にし、造形的により美しい場面をくりひろげることができる。踊りの構図を舞台美術と一致させるには、セットや背景によって舞台にくりひろげられる生活環境と一致させなければならない。とくに、踊りの構図の中心と背景の中心を一致させるべきである。たとえば、背景として舞台の中心に太陽が昇る場面を描きだす場合、踊りの構図の中心は太陽が昇る背景の中心と一致させるべきである。背景の中心と踊りの構図の中心を一致させるのは、踊りの構図形象の一般的な原則である。

基本構図を正しく設定しなければならない。基本構図は踊りの場面にしたがって設定すべきである。基本構図は、踊りの動作とリズミカルな形象の展開に直接の寄与をなす。したがって、基本構図は美しい形態と線によって明白に組まなければならない。

連結構図と補助構図を適切に用いることにもそれ相応の力を入れるべきである。踊りの構図は、基本構図に連結構図と補助構図を結合してこそ表現機能を十分に果たすことができる。基本構図は連結構図と結合して成り立ち、補助構図の助けによって形象をより鮮明にする。

連結構図は基本構図をしっかり結び、つなげるように仕立てるべきである。舞踊作品はそれぞれ主題的・思想的内容が異なり、

踊りの場面の構成が違うので、基本構図をつなぐ連結構図はその作品の特色があらわれるようにつくらなければならない。

補助構図をうまくつくるべきである。補助構図は基本構図のつけたしになるだけではない。補助構図はそのもの独自の形と線をもち、基本構図と同じ形象で展開されながら、基本構図を形象的に浮き立たせる。

補助構図はすべての舞踊作品にあるわけではない。基本構図と連結構図だけで形象化される舞踊作品も少なくない。補助構図は基本構図を浮き立たせるためのものである。補助構図は独自の形と線をもち、基本構図の形象をきわだたせて形象のリアリティーと生々しさを保たなければならない。

6　舞踊の舞台美術は実感があって美しくなければならない

舞踊において舞台美術は重要な表現手段である。舞台美術を上手に仕上げることは、舞踊作品の思想性・芸術性を高めるうえで大きな意義をもつ。舞踊の舞台美術は、造形的な手段によって作品に反映された時代相と人物の性格をいろいろな角度から見せることによって、作品の思想的・芸術的内容をいちだんと浮き立たせる。

舞踊の舞台美術としては衣装と小道具、扮装、背景、セットなどの表現手段がある。

衣装は舞踊作品の重要な表現手段である。

舞踊の衣装は作品の思想性・芸術性の向上に大きな作用を及ぼす。衣装は人物の性格と舞台のニュアンスを生かして、作品の思想的・芸術的品格を高める。いくら内容がすぐれて、踊りのリズムに特色がある舞踊作品であっても、それにふさわしい衣装を用いなければ作品が生かされず、生彩がなくなる。

舞踊の衣装は作品の性格に合ったものにすべきである。

舞踊作品の性格はさまざまな表現手段によってあらわされるが、衣装によっても明白にあらわされる。

舞踊衣装を作品の性格に合ったものにするうえで重要なのは、人物の性格を十分に生かせるようにすることである。舞踊では人物の性格によって作品の性格があらわれる。舞踊作品における衣装は、人物の職業と性別、性格的風貌をはじめ人物の性格をはっきりとあらわせるものにしなければならない。

舞踊の衣装ははなやかなものにすべきである。

これは、舞踊芸術の特性からくる重要な要求である。人間の思想・感情と生活を芸術的リズムによって描きだす舞踊は、形象化をはなやかにすることを求める。舞踊の衣装は多様な形態と色の調和によって舞台形象をはなやかなものにしてこそ、舞踊作品の芸術的な形象レベルを高めることができる。

舞踊衣装をはなやかなものにするうえで大切なのは、衣装の色合いを的確に用いることである。

舞踊衣装の色合いは舞踊作品の情緒と舞台形象の効果を高める。衣装の色合いをどのようなものにするかによって、踊りのリズムの表現効果が違ってくる。舞踊作品は内容がすぐれ、踊りのリズムに特色があるとしても、衣装の色合いをそれに合わせて選ばな

いと生彩を欠くことになる。

舞踊の衣装には原色を多く用いるのが望ましい。原色は作品の性格に合わせて多様に用いるべきである。

舞踊の衣装は色の調和をはかる必要がある。舞踊衣装は色がよく調和してこそ舞台をいっそうはなやかにし、作品の思想的・芸術的品位を高めることができる。

舞踊衣装の色は個々の衣装の色もよく調和させるべきである。女性舞踊手の衣装はチョゴリとチマの色がよく釣り合うようにしなければならない。チマとチョゴリは同じ色にしてもよく、違った色にしてもよい。しかし色はどうあれ、人物の性格と作品の内容にふさわしいものでなければならない。

舞踊衣装の色はまた、照明との調和もとれるものでなければならない。衣装の色は舞台照明の色と調和してこそ衣装の表現効果を高め、舞台をより美しくすることができる。

舞踊衣装の色は小道具の色ともよく釣り合うものでなければならない。舞踊の小道具は衣装とともに表現機能を果たす。衣装と小道具は舞踊手が身につける表現手段であり、形象上の統一をなさなければならない。衣装と小道具の形象上の統一は色をよく調和させてこそ実現される。舞踊手が身につける小道具と衣装は色の調和がよくとれてこそ、表現機能をよりよく果たし、作品をよりはなやかに形象化することができる。

舞踊の衣装は形態を多様にすべきである。

舞踊衣装の形態を多様にするのは、作品の個性的特性を生かす重要な方途の一つである。衣装の形態を多様にすれば、反映する生活と時代の環境が異なる舞踊作品の個性的特徴を十分に生かす

ことができる。舞踊作品の個性的特徴は踊りのリズムにもあらわれるべきであるが、衣装の形態にも明確にあらわれるべきである。

舞踊衣装の形態を多様にすることは、男性舞踊手の衣装をととのえるうえでいっそう重要な要求となる。それは、男性舞踊手の衣装は形態上、古典美と現代美がさほど区別されないからである。いま、男性舞踊手は固有の朝鮮服でもなく洋服でもない衣装をつけて踊りをおどることが少なくない。これは、われわれの時代の人民の生活を反映した舞踊作品を形象化する場合にいっそうはなはだしくあらわれている。舞踊芸術では衣装の形態を改善して、作品に描きだされるさまざまな人物と生活の特徴を十分に生かさなければならない。

舞踊の衣装は質感をよく選択してつくるべきである。衣装の質感は作品の芸術的形象に直接影響を及ぼす。舞踊作品の芸術的形象レベルは衣装の質感をどう選択するかによって少なからず左右される。

舞踊の衣装は踊りの律動を十分に生かせるような生地でつくるべきである。朝鮮の民族舞踊は非常に柔和で繊細(せんさい)である。朝鮮の民族舞踊は腕の動作が基本であるから、舞踊形象で腕の動作の律動美を鮮明に見せるべきである。そのためには、女性舞踊手のチョゴリをやわらかく鮮明な薄地にするのが望ましい。そうすれば踊りがいっそう高尚かつ軽やかに見える。

舞踊の衣装は舞踊手がおどるのに便利につくるべきである。舞踊衣装は、舞踊手が多様な踊りの動作でいささかの不便も感じないようにしなければならない。衣装がおどるのに不便であると、舞踊手が踊りをりっぱにこなすことができない。女性舞踊手のチ

マはあまり長くしないようにすべきである。チマが長すぎると、おどるときにチマの裾がよく足にからみついてしまう。そうなると満足な踊りをおどることができない。回転や跳躍の動作がある踊りの衣装は、それに便利で見栄えがするようにつくるべきである。

舞踊の衣装は民族衣装の特性を十分に生かしてつくるべきである。朝鮮服には長年にわたって形成された、朝鮮人民に固有な民族的特性がそのまま反映されている。舞踊の衣装に朝鮮服の特性を生かせば、舞踊作品の民族的特性を十二分に生かすことができる。

舞踊の衣装に民族的特性を生かすうえで、歴史主義的原則と現代性の原則を守らなければならない。過去の生活を反映した舞踊の衣装に現代の衣服の形態をそのままあてはめたり、現代の生活を描いた舞踊の衣装に過去の衣服の形態をそのまま反映してはならない。民族的特性も社会制度と人民生活の発展にともなってたえず変化するものである。舞踊の衣装は朝鮮の民族衣装の特徴を生かしながらも、われわれの時代の人民の美感に合わせてつくるべきである。舞踊の衣装は民族的特性と時代的美感を生かし、その作品がどの時代の人民の生活を反映したものであるかがよく分かるようにつくらなければならない。

舞踊の小道具を正しく選択すべきである。舞踊作品において、小道具は人物の性格と生活を生かす重要な表現手段である。小道具を正しく選択することは、人物の性格と生活をりっぱに形象化するうえで重要な意義をもつ。

舞踊の小道具は律動を表現手段とする舞踊芸術において形象性をいちだんと高める。『扇の舞』や『剣の舞』、『鈴の舞』、『箕の踊り』、『太鼓の舞』などは、小道具を用いて朝鮮人民の生活

と感情を優雅な律動によってリアルに描きだしている。『箕の踊り』は、朝鮮人民が昔から使ってきた箕を、抗日革命闘争の時期に遊撃隊に送る軍糧米を準備する村の乙女たちの生活を描く小道具として巧みに利用することによって、生き生きとしたリアルな形象を創造した。

舞踊の小道具は、踊りのリズムを個性化し、踊りの形象レベルを高めるうえで重要な役割を果たす。また、踊りのリズムの特徴を規定するのに役立つ。『長鼓の舞』での長鼓は長鼓の踊りのリズムをつくるのに役立てられ、『太鼓の舞』での太鼓は太鼓の踊りのリズムをつくるのに役立てられた。

舞踊の小道具は人物の生活の内容に合わせてつくるべきである。小道具は人物の生活を描きだす重要な手段なので、生活の内容に合致したものでなければならない。形態と色合いの美しい小道具をつくったとしても、それが作品に反映された生活の内容と合わなければ、作品の形象化に役立てられない。舞踊の小道具は実生活で見られる生活道具のように実感のあるものにしなければならない。

舞踊の小道具は美しく文化性に富んだものにする必要がある。舞踊は美しい律動を見せる芸術であるから、小道具も形態が美しく文化的なものでなければならない。

舞踊の小道具は軽くて手ごろな大きさのものにすべきである。小道具は舞踊手の体に合わせて軽くて適当な大きさにしてこそ、おどるのに便利で、律動を生かすのにも都合がよい。日常生活で使われる生活道具を舞踊の小道具として利用する場合は、舞踊手がおどるのに便利なように実物よりも軽く小さめにつくるべきである。長鼓を舞踊の小道具として利用する場合は、朝鮮女性の体

格に合わせて軽く小さめにつくるべきである。楽器として利用する長鼓をそのまま舞踊の小道具として使うとなると、重くてかさばるので舞踊手が思いどおりにおどることができない。

舞踊の小道具は作品の内容と性格に応じて多様なものにすべきである。そうしてこそ、作品ごとに特色のある芸術的形象を創造するのに役立つことができる。作品の内容と性格に合わせてつくられた小道具は、踊りのリズムと作品の特色を生かすのに役立つ。『手太鼓の舞』、『大豊作』はいずれも豊年の喜びをうたう農民の生活を描きだしているが、異なった小道具を利用することによって作品の性格と踊りのリズムの特色を生かしている。舞台美術家は舞踊作品の内容と性格、踊りのリズムの特徴を深く把握したうえで、それに適した小道具をつくるべきである。

舞踊の小道具の美術的形象レベルを高めなければならない。舞踊の小道具をつくる舞台美術は、舞踊手が描きだす人物の性格と踊りのリズムの特徴を造形的に生かす精巧な芸術である。舞台美術では舞踊の小道具を作品の内容と性格、踊りのリズムの特色に合わせて造形的に精巧につくってこそ、舞踊の形象レベルもそれだけ高めることができる。舞台美術家は小道具の形態と色合いを正しく選択し、それと他の表現手段との色の調和をはかって美しい造形的形象を創造すべきである。

舞踊手の扮装を上手にすべきである。

舞踊手の扮装は舞踊作品で人物を描きだす表現手段の一つである。舞踊手の扮装は作品に描きだす人物の性格を生かし、リズミカルな形象を美しくする。美しい律動を見せる舞踊芸術では、踊りのリズムを美しいものにするとともに、扮装を上手にして舞踊

手の外見を美しくしてこそ、舞踊形象の芸術的効果を上げることができる。舞踊手の踊りが上手であっても、扮装がまずくて人物の形象化が裏打ちされなければ、舞踊形象の芸術的効果を十分にあらわすことができない。

舞踊手の扮装は、描こうとする人物の性格に合わせておこなうべきである。舞踊手は描こうとする人物の性格を具体的に把握し、年齢、職業、外貌などの特性に合わせて扮装すべきである。

扮装での基本はメーキャップである。俳優の顔は描こうとする人物の内面世界を生き生きとあらわす。

舞踊手は顔をきれいにメーキャップすべきである。舞踊手の扮装での基本は、顔をきれいにすることである。舞踊は舞踊手の顔をきれいにメーキャップしてこそ、踊りも美しく見え、作品全般の芸術的形象が生きてくる。それゆえ、舞踊手の顔をきれいにメーキャップする必要がある。

舞踊手の顔はできるだけ表情が明るく鮮明になるように、明るい色でメーキャップすべきである。メーキャップを明るくすべきだといって、度が過ぎたものにしてはならない。メーキャップが明るすぎると、顔の線と形がよくあらわれない。

舞踊手のメーキャップは明るく、しかも肌色がでるようにすべきである。肌色がでるようにするからといって、あまり黄色がかったものにしてはならない。メーキャップをあまり黄色がかったものにすると、顔がくすみ、形象が生かされない。舞踊手の表情は明るく肌色をおびるようにして、顔の線と形が自然に、鮮明に生かされるようにすべきである。

舞踊手のメーキャップは全員同一なものにしなければならない。

これはアンサンブルを保つべき舞踊形象の重要な要求である。舞踊作品におけるアンサンブルは舞踊手のメーキャップにおいても保たれなければならない。とくに、複数の舞踊手がある人物の思想・感情をもって出演する群舞では、メーキャップを同じにしてこそ、アンサンブルがととのい、作品の芸術的レベルを高めることができる。

舞踊芸術において舞台の背景は、作品に反映された時代と生活環境を見せる美術手段の一つである。表現手段が限られている舞踊芸術では、背景を上手に描きだしてこそ作品の思想的・主題的内容を明白に示し、舞踊形象を美しく浮き立たせることができる。

舞台の背景は、作品に反映された人物の生活環境をリアルに鮮明に描きださなければならない。それでこそ、生活環境が人物の性格と踊りのリズムの特色を生かすことができる。舞踊作品に描かれる生活環境は、人物の性格と踊りのリズムを生かすのに役立てられなければならない。背景は美しく実感がわくようにすべきである。舞台の背景は、背景の幕に絵を描く方法もあり、スライドで映し出す方法もあり、セットを設置する方法もある。

舞台の背景を描くのにはスライドを多く利用するのが望ましい。スライドを利用すれば、背景をたやすく変化させながら多様な生活環境と状況を描きだすことができる。

舞踊芸術においてセットは舞踊の背景としても利用され、舞踊手の演技手段としても利用される。舞踊芸術におけるセットは、作品に描かれる生活環境と自然の風景を見せ、舞踊手にリアルな演技ができる条件をととのえる。セットは描こうとする人物の生活を浮き彫りにし、舞踊手の演技を助けて作品の形象レベルを高める。

舞踊芸術においてセットは、舞踊手が踊りの場を十分に利用できるように仕立てるべきである。舞踊の舞台描写では舞踊手の舞踊形象が基本であるため、舞台の利用において舞踊手に踊りの場を優先的に保障することを原則とすべきである。

舞踊芸術におけるセットは、舞踊手の演技づくりに合わせて設置すべきである。そうしてこそ、セットが舞踊形象と調和をなして、作品の芸術的形象をきわだたせることができる。

舞踊芸術において舞台照明は舞踊手の踊りの動作と衣装、小道具、セットと背景を明暗と色彩のコントラストで調和させ、すぐれた芸術的形象の創造に役立てられる。

舞台照明は舞踊手の舞踊形象を生かすことに焦点がおかれるべきである。舞台照明は踊りのリズムをはじめ舞踊手が描きだすリズミカルな動作を変化させ発展させるのに服従し、光と色の調和によって舞踊形象をきわだたせなければならない。舞台照明はまた、舞台上のすべての表現手段を照らし出して、その形象をきわだたせなければならない。

舞台美術家が舞踊作品の舞台美術形象をりっぱなものにするためには、作品を深く研究し、形象上の要求を具体的に把握しなければならない。同時に、振付け師と十分に協議して振付け師の形象上の意図を知る必要がある。舞台美術家は作品の形象上の要求と振付け師の形象上の意図を把握し、それに合わせて舞台美術を創造することによって、舞台美術が作品の思想的・芸術的レベルの向上に大いに役立つようにしなければならない。

舞踊作品は芸術的リズムと舞踊音楽、舞台美術などの手段によって形象化されるため、振付け師と音楽家、美術家の集団的知恵

によって創作される。舞踊作品は各部門の創作家によって創作されるが、主な役割をするのは振付け師である。振付け師は舞踊作品を設計し、舞踊作品の基本的表現手段である芸術的リズムをつくりだし、舞踊音楽と舞台美術の創作方向を示す。振付け師がどのように設計し、どんな芸術的リズムをつくりだし、舞踊音楽と舞台美術の創作方向をどう示すかによって、舞踊作品の思想的・芸術的レベルが左右される。それゆえ、舞踊作品創作の主人は振付け師であると言える。

振付け師は舞踊作品創作の主人であるという正しい態度と立場を持し、思想的、芸術的にすぐれた舞踊作品を創作するため積極的に努力しなければならない。

振付け師が思想的、芸術的にすぐれた舞踊作品を創作するためには、わが党の文芸政策とともに、舞踊芸術にかんする主体的な理論で武装しなければならない。振付け師が舞踊芸術にかんする主体的な理論で武装してこそ、科学的な基礎の上ですぐれた舞踊作品を成功裏に創作することができる。振付け師が舞踊芸術にかんする主体的な理論で武装せず、踊りの動作をつくりだす小手先の細工を弄するだけでは、1、2 編の舞踊作品は創作できても、多様な生活を反映したさまざまな形式の舞踊作品をりっぱに創作することはできない。振付け師はわが党の主体的な文芸政策と舞踊理論で武装し、朝鮮人民の革命的な生活を反映した多様な形式の舞踊作品をりっぱに創作しなければならない。

Ⅲ　舞踊形象

1　舞踊手は舞踊形象の当事者である

舞踊作品は振付け師によって創作される。振付け師によって創作された舞踊作品はそれで完成するのではない。振付け師によって創作された舞踊作品は舞台で演じられてこそ完成し、日の目を見るのである。

舞踊作品は舞台でいろいろな芸術的手段によって総合的に形象化される。

舞踊作品の舞台での形象化で基本をなすのは、踊りの演技である。

舞台での踊りは舞踊手が演ずる。舞踊手は舞台で踊りを演ずる当事者である。舞台における舞踊形象は舞踊手がすることであって、他の人が代行することはできない。振付け師は舞踊手の舞踊形象を導くことはできても、舞踊手に代わって踊りをおどることはできない。舞踊形象は舞踊手によってなされるので、振付け師の創作した舞踊作品が舞台でどのように実現するかは、一にも二にも舞踊手の役割にかかっている。振付け師がいかにりっぱな舞踊作品をつくりあげたとしても、舞踊手の舞台での舞踊形象がまずければ、すぐれた作品として完成されない。振付け師によって創作された舞踊作品は、舞踊手によって芸術的リズムとしてりっぱに形象化されるときにのみ、思想的、芸術的に完成される。舞

踊作品が思想的、芸術的にすぐれたものであるかどうかは、舞台における舞踊手の舞踊形象によって評価される。振付け師が上手に振付けをしたとしても、舞踊手の踊りがまずくて作品の性格を生かせなかったり、小さなミスをしても、舞踊作品はりっぱに形象化されず、その結果、相応の評価を受けることができなくなる。これは、舞踊作品の運命が舞台での舞踊手の舞踊形象いかんにかかっていることを示している。

舞踊手は振付け師が創作した舞踊作品の要求どおりに舞台での舞踊形象をおこなうべきであるが、機械的にしてはならない。舞踊手は舞台で、作品中の人物の性格と生活にもとづいて踊りを演じながらも、自分の個性を生かして清新な技を演じるべきである。舞踊手はリズム形象の自立的かつ能動的な創造者である。舞踊手は自らが体験した思想・感情と個性的な律動によって、作品に示された形象上の要求に立脚して舞踊形象をより鮮明で豊かなものにしなければならない。舞踊手は舞台で自分の個性を生かして、特色のある舞踊形象を創造すべきである。

舞踊手が舞踊形象の成功を期するためには、政治的思想的に、芸術的かつ肉体的に準備ができていなければならない。

舞踊手は舞踊形象を通じて観客に生活の本質を認識させ、かれらの思想・情操教育に寄与する。舞踊手が観客の思想・情操教育に寄与するりっぱな舞踊形象を創造するためには、政治的思想的に、芸術的かつ肉体的にしっかり準備しなければならない。

舞踊手は何よりもまず、政治的、思想的に準備しなければならない。

舞踊手の政治的・思想的準備は、思想的、芸術的にすぐれた舞

踊形象を創造するための重要な条件の一つである。舞踊手が政治的、思想的に準備されてこそ、人民の志向と要求に即して、作品に反映された人物の崇高な思想・感情と生活を芸術的リズムによってりっぱに形象化することができる。舞踊作品の主題的・思想的内容は台本と振付け構成案に具体的に示される。しかし、それを芸術的リズムによってどのように描きだすかは、舞踊手の政治的・思想的水準に大きく左右される。舞踊手は目的意識的な創作活動を通じて、作品に反映された人物の性格と生活を芸術的リズムによって描きだす。舞踊手の目的意識的な創作活動は、その思想・意識水準によって規定される。すなわち舞踊手が舞踊形象をどのようにするかは、その政治的・思想的水準によって決まる。舞踊手はつねに自分の政治的・思想的水準で作品を研究し、舞踊形象を創造する。舞踊手の政治的・思想的水準が高ければ高いほど、自主性の実現をめざしてたたかう人民大衆の美しく崇高な精神世界と生活を生き生きとした芸術的リズムによってリアルに描きだすことができる。

舞踊手の政治的・思想的水準の向上で重要なのは、金日成同志の創始したチュチェ思想で武装することである。チュチェ思想はわが党の唯一の指導思想であり、革命と建設の確固不動の指針である。チュチェ思想は、人民大衆が自己の運命を自主的に、創造的に切り開いていくわれわれの時代の要求と人民大衆の志向をもっとも正しく反映している。舞踊手は、金日成同志によって創始されたわが党のチュチェ思想を原理的に深く研究して自分の血とし肉とし、活動と生活の指針としなければならない。

舞踊手はチュチェ思想を原理的に深く体得するとともに、チュ

チェ思想が具現されたわが党の路線と政策で武装しなければならない。とくに、わが党の文芸政策で武装すべきである。わが党の文芸政策には、舞踊芸術をはじめ社会主義文学・芸術の発展で提起されるあらゆる理論的・実践的問題が明らかにされている。舞踊手はわが党の文芸政策を深く研究して主体的文芸思想と理論で武装し、それを芸術創作活動に具現しなければならない。

舞踊手は芸術的にも準備されなければならない。

舞踊手の芸術的準備で基本となるのは技量の向上である。舞踊手の技量は、当人が演ずる舞踊作品の芸術性を規定する。舞踊手が高い技量を身につけないことには、人間の思想・感情と生活を芸術的リズムによってりっぱに描きだすことができない。

舞踊手はどんな踊りでもこなせる多方面的な技量を身につけなければならない。そうしてこそ、日ましに発展する朝鮮人民の多様な生活を多彩な芸術的リズムによってりっぱに描きだすことができる。こんにちわが国では、党と領袖の賢明な指導のもとに革命と建設が強力に推進されるにつれて、人民の生活も多様に発展し、人民の文化的・情操的要求も高まっている。舞踊芸術部門では、発展する現実と高まる人民の文化的・情操的要求に即して、多様なテーマと形式の舞踊作品を創作すべきである。多様なテーマと形式の舞踊作品は、それにふさわしい踊りのリズムと技巧を要求する。多様な踊りのリズムと技巧は舞踊手によってこなされるべきである。したがって、舞踊手は多様な踊りのリズムと技巧をこなせる多方面的な技量を身につけなければならない。

舞踊手が多方面的な技量を身につけるには、情熱を燃やして技量訓練に取り組まなければならない。舞踊手にとって燃えるよう

な情熱は技量向上の先決条件であり、重要な品性の一つである。情熱のない人は舞踊手としての品性をそなえることができず、高い技量を身につけることができない。舞踊手は燃えるような情熱をもって、技量を高めるための学習と訓練を根気よくつづけるべきである。そうしなければ、技量を高めることができないばかりか、身につけている技量さえも維持できなくなる。そうなると舞踊手としての役割を果たすことができない。舞踊手は技量向上の目標を高く定め、忍耐強く訓練を積むべきである。舞踊訓練は精神的、肉体的に大きな負担を強いる。舞踊手はこの負担を克服し、技量を高めるために訓練に励むべきである。舞踊手が訓練に励んで汗を多く流せば、それだけ技量を高めることができる。

舞踊手は基礎動作の訓練に時間をかけるべきである。舞踊訓練においては基礎動作の訓練が基本である。

舞踊手は基礎動作の訓練を重ねてこそ、強固な基礎の上で技量を系統的に高め、柔軟な身体と強い体力をそなえることができる。舞踊手は基礎動作の訓練を集団的にも個別的にもおこない、練習室をはじめどこでもすべきである。

舞踊手は肉体的にしっかり準備されなければならない。

舞踊手がいくら政治的、思想的に準備し、高い技量を身につけていても、肉体的に準備されなければ、満足な芸術創作活動をすることはできない。

舞踊手は造形的に美しく洗練された容姿と、柔軟で鍛えられた体力をそなえなければならない。

舞踊手は容姿が美しく洗練されていなければならない。舞踊手の美しく洗練された容姿は、舞踊芸術の美的情緒とアンサンブル

を保つうえで重要な作用を及ぼす。複数の舞踊手がある人物の思想・感情と生活を統一的に形象化する場合には、その容姿がみな美しく一致していなければならない。そうあってこそ踊りが視覚的な統一を保ち、形象の調和をなすことができる。

舞踊手の容姿で重要なのは顔だちと体つきである。舞踊手は顔だちと体つきが美しくなければならない。

芸術作品は人びとに人間生活の美しい世界を見せることが重要な目的なので、それを描く舞踊手の顔だちと体つきが美しくなければならない。舞踊手の顔だちと体つきが美しければ、観客を美しい芸術の世界により深く誘いこみ、情操的、美学的に教育するのに寄与することができる。芸術作品のなかでも、舞踊作品は他の芸術作品よりも美しい形象世界を視覚的によりりっぱに見せる必要がある。視覚的にきらびやかな形象を展開してみせるのは舞踊芸術の特徴である。その特徴は、舞踊手の顔だちと体つきが美しければいちだんと生きてくる。顔だちと体つきの美しい舞踊手が踊りをおどれば、その動作がいっそうはなやかに見える。

舞踊手は背が高くなければならない。背の高い舞踊手が踊りをおどってこそ、律動の造形的なシルエットがより鮮明になり、すっきりとして見栄えがする。跳躍の動作が少なく、柔和なうえに優雅で叙情的な朝鮮舞踊は背の高い舞踊手がおどってこそ、その固有な特徴を十分に生かすことができる。舞踊手は背が高くなくてはならないからといって、運動選手のように高すぎてはいけない。舞踊手の背は踊りをおどるのに適当な高さであるべきである。

舞踊手は体力を鍛えるべきである。容姿が美しくても体力が弱ければ、舞踊作品をりっぱに形象化することができない。舞踊手

はたゆまぬ訓練を通じて体力を鍛えるべきである。舞踊手が自分の容姿を頼んで体力を鍛えなければ、技量を高めることができないばかりか、スタイルが洗練されず、美しい容姿も生彩を放つことができなくなる。舞踊手のスタイルは手をかけるほど洗練される。舞踊手は目的意識的なたゆまぬ訓練を通じてスタイルを洗練させ、体力を鍛練して、どんな踊りでもりっぱにおどりこなせるように肉体的な準備をととのえるべきである。

2　舞踊手は踊りが上手でなければならない

舞踊は舞踊手の踊りによって形象化される。舞踊手が踊りをおどるというのは、作品に反映された生活感情を芸術的リズムによって形象化することを意味する。舞踊は舞踊手の踊りによって形象化されるので、舞踊形象をどのようなものにするかは、舞踊手が踊りをどのようにおどるかにかかっている。舞踊手の踊りが上手であれば、美しくはなやかな律動的形象によって観客を魅惑することができる。舞踊手の踊りがまずければ、創作家がいくら思想的・芸術的にすぐれた舞踊作品を創作したとしても、舞台に美しくはなやかな律動的形象をくりひろげることはできない。美しくはなやかな場面をくりひろげられるように舞踊を形象化するには、舞踊手の踊りが上手でなければならない。

舞踊手は作品の性格に合わせておどるべきである。

舞踊作品はそれぞれ固有な性格をもっている。舞踊作品はそれぞれの固有な性格によって区別される。

舞踊作品の性格は種子によって規定づけられる。芸術作品は種子によって主題・思想が決まる。舞踊作品も種子によっていわんとする思想的・芸術的内容が示され、表現形式が定められる。舞踊作品の性格は種子によって規定づけられるが、具体的には思想的・芸術的内容とその表現形式、手法によって規定づけられる。舞踊作品の性格は、いわんとする思想的・芸術的内容の情緒的ニュアンスと、それを表現する踊りの動作と構図の個性的特徴によって規定づけられるのである。

舞踊作品に反映される生活の内容は多様であり、その情緒的ニュアンスも多様である。芸術的リズムを基本的表現手段とする舞踊芸術において、生活の内容とその情緒的ニュアンスは舞踊手の踊りの動作によって形象化され、あらわれる。そのため、舞踊手は作品の性格を知り、それに合わせておどらなければならない。そうしてこそ、相異なる性格の舞踊作品の固有な特性を生かし、観客の芸術的感興をそそることができる。

舞踊作品の性格は、描かれる人物の性格に具現されている。舞踊芸術は他の芸術と同様に、人間の思想・感情と生活を反映するので、舞踊作品には自己の固有な性格をもつ人物が形象化されることになる。舞踊作品に形象化される人物の性格はさまざまである。舞踊作品に形象化される人物のなかには、革命的で戦闘的な性格の人物もいれば、気高く英雄的な性格の人物もおり、快活で楽天的な性格の人物もいれば、悲喜劇的な性格の人物もいる。

舞踊手は踊りをさまざまな人物の性格に合わせておどるべきである。舞踊手はそれぞれの人物の性格に合わせて、気迫にみちて活発におどりもすれば、興趣がわくようにもおどり、悲壮感をこ

めてもおどるべきである。そうすることによって、舞踊手は舞踊作品の性格を明確に表現しなければならない。

人物の性格は思想・感情にあらわれる。舞踊手はおどるとき、その人物の思想・感情を踊りの動作によって表現しなければならない。舞踊の基本的表現手段は芸術的リズムであり、芸術的リズムは踊りの動作によって表現されるので、人物の思想・感情は踊りの動作によって表現しなければならない。舞踊では人物の思想・感情を踊りの動作で表現してこそ、舞踊芸術の特性を生かし、人びとを舞踊の世界へと誘い入れることができる。

舞踊手は人物の思想・感情を顔の表情で表現することもできる。舞踊手の表情は、人物の思想・感情を繊細に、直接的に表現するうえで重要な役割を果たす。だからといって、人物の思想・感情を踊りの動作で表現せず、表情だけで表現しようとしてはならない。舞踊手は人物の思想・感情を主に踊りの動作で表現し、表情では踊りの動作の芸術的形象を補い、きわだたせるべきである。

舞踊手が作品の性格に合わせて踊りをおどるには、作品の性格を十分に研究する必要がある。舞踊手が作品の性格を十分に研究し、それを深く把握するのは、作品の性格に合わせて踊りをおどるための重要な裏付けである。振付け師によって創作された舞踊作品には、舞踊手が描きだすべき人物の性格と、それを表現する踊りの動作と音楽が具体的に示されている。舞踊手は作品を深く研究し、作品の性格を正しく把握してこそ、それにふさわしく踊りをおどることができる。そうしないで、振付け師や舞踊指導員の要求を機械的に受け入れては、作品の性格にふさわしい踊りをおどることはできない。舞踊手が作品の性格を生かさず、踊りの

ための踊りをおどっては、観客の心をとらえることはできない。

舞踊手は人物の思想・感情を深く把握し、それを自分の思想・感情として受けとめるべきである。舞踊手は人物の思想・感情を自分の思想・感情として受けとめ、その感情の世界に深く入ってこそ、それを踊りによって生き生きとリアルに形象化することができる。舞踊手は具体的な人物の場合は言うまでもなく、象徴的な人物や自然現象を擬人化して描く場合にも、描こうとする人物の思想・感情を把握し、それを自分のものとして受け入れなければならない。舞踊作品において自然現象を擬人化して描くのは、単に自然を見せるためではなく、人間の思想・感情を描きだすためである。自然現象を擬人化して描く舞踊手も、描きだされる人物の思想・感情をよく知っておどるべきである。

舞踊手が人物の思想・感情を正しく把握するには、人物の生活を深く研究する必要がある。人間の思想・感情は具体的な生活で形成され、あらわれる。生活から遊離しては人物の思想・感情を把握することはできず、それを芸術的リズムによって描きだすこともできない。舞踊手は人物の生活を深く研究する過程で人物の思想・感情を把握し、それを芸術的リズムによってりっぱに描きだすべきである。

舞踊手は作品の性格を研究しながら、伴奏音楽についても深く把握すべきである。踊りは音楽にもとづいて創作され、音楽の旋律と拍子に乗って形象化される。音楽にもとづいて創作され形象化される踊りは、音楽をぬきにしてその性格について考えることはできない。舞踊作品では、同じ踊りであっても音楽が変われば踊りの情緒と性格が変わり、拍子が変われば踊りのリズムも変わ

ってくる。そのため、舞踊手が伴奏音楽を把握することなしには、踊りの性格と情緒に合わせておどるのはむずかしい。舞踊手は作品の性格を研究するとき、伴奏音楽についても深く研究し、音楽の情緒に合わせて踊りをおどるべきである。

舞踊手は踊りをおどるとき、その動作が正確でなければならない。

舞踊手が踊りをおどる過程は踊りの動作をこなす過程である。舞踊手が踊りの動作をどのようにするかによって舞踊形象の成果が左右される。舞踊手が踊りの動作を正確にすれば、作品に反映された内容を明白に表現することができる。

舞踊手が踊りを演ずるうえで大切なのは、人物の思想・感情をはじめ作品に反映された内容を明白に示すことである。舞踊手は作品に反映された内容を踊りの動作によって見せなければならない。舞踊手が踊りを演じながら、作品に反映された内容を明白に表現できるかどうかは、踊りの動作をどれほど正確にするかにかかっている。舞踊手が踊りの動作を正確にしてこそ、踊りの芸術性がしっかりと裏打ちされる。踊りの芸術性を裏打ちするにはいろいろな要素があるが、とりわけ重要なのは踊りの動作を正確にすることである。舞踊手の動作が正確であってこそ踊りの技巧を見せることができる。舞踊手が跳躍して回転する場合、跳躍した状態での姿勢と回転の中心が正確なものでなければ、その動作の芸術的特技を見せることはできない。舞踊手は、舞踊形象において踊りの動作を正確にすることの意義を正しく認識し、振付け師の創作上の構想と意図にもとづいて一つひとつの動作を正確におこなうべきである。踊りの動作を中途半端にしたり、テンポの速

いところでの繊細な動作やこまやかな動作などをおろそかにせず、正確にしなければならない。踊りの動作は、あたかも白紙に文字を書いたように、鮮明かつ明白でなければならない。

舞踊手は踊りの動作をきれいにしなければならない。踊りの動作をきれいにするのは踊りをきれいにおどることになる。舞踊手の動作がきれいであってこそ、視覚的に美しい舞踊芸術の特性を十分に生かすことができる。

踊りの動作は、どのような内容を描くかによってその情緒的性格が異なる。踊りの動作には描きだす内容の性格によって、きびきびしたものや柔軟なものをはじめさまざまな性格のものがある。踊りの動作の性格はまちまちであるが、すべての踊りの動作をきれいにすべきである。舞踊手は音楽の拍子に合わせておどりながら、律動をなす個々の踊りの動作をきれいにして踊りを美しく演ずるべきである。

舞踊手はおどるとき、自分の個性的な律動を生かすべきである。

舞踊手はそれぞれの芸術的技巧と体質が異なるため、それに応じて踊りをおどるうえで各自の個性的な律動をもつことになる。舞踊手はおのおの個性的な律動をもっているので、同じ舞踊であってもその演じ方がそれぞれ違ったものになる。同じ舞踊作品でありながら舞踊手によってその演じ方が異なるのは、舞踊手の技量の差にもよるが、主として個性的な律動の差に起因する。舞踊手が踊りを演じる過程は、作品に示された踊りに固有な性格的特徴を自分の個性的な律動によって演じる過程である。したがって、舞踊手はおどるとき、自分の個性的な律動を生かして、作品の性格的特徴をより十分に生かさなければならない。

舞踊手はおどるとき自分の個性的な律動を生かすからといって、それを強調しすぎて作品の性格的特徴を自分の個性的な律動に合わせてはならない。舞踊手は自分の個性的な律動を作品の性格的特徴を生かすのに服従させなければならない。舞踊手は自分の個性的な律動を生かしながら、作品の性格的特徴に合わせておどるべきである。

舞踊手は踊りを民族的情緒豊かにおどるべきである。

そうしてこそ、作品を朝鮮人民の生活感情と美感に合ったものにすることができる。

舞踊手が舞踊形象で民族的情緒を生かすには、朝鮮舞踊の特長をよく知り、それを具現しなければならない。

朝鮮舞踊は叙情的におどるのが特徴である。朝鮮舞踊は安定したテンポと穏やかな流れをもち、根気よく波打つような脚の屈伸とともに、振り放ったり包みこむさまざまな腕の動きによって空間に優雅な放物線を描いていく。朝鮮舞踊は律動にすこぶる繊細で柔和な味がある。大小の動作がほどよく取り合わさり、一つの腕の動作にしても律動が肩から指先まで流れ、造形的な体のこなしと動きの経路も主に曲線をなす。肩の上に腕を上げて担う動作にしても、真っすぐに立てずに半円形をつくる。朝鮮舞踊は上半身と下半身の動きがよく調和され、無理な動作やねじ曲がった動作がなく、瞬間的に停止した形態のときも持続する律動の呼吸によって動いているような感じを与える。舞踊手は朝鮮舞踊の特長を知り、それを十分に生かして舞踊形象に民族的情緒がほんのりと漂うようにすべきである。

舞踊手は作品の性格に応じて感情を内に秘めておどることもで

きれば、情熱を発散させておどることもできる。舞踊手はおどるときに情熱を発散させるからといって、大声を張り上げてはならない。舞踊手が舞台で情熱的におどることと大声を張り上げることとは別問題である。舞台でおどりながら大声を張り上げるのは朝鮮舞踊に似つかわしくないばかりか、朝鮮人民の民族的情緒と好みにも合わない。舞踊手は舞台で情熱的におどりながらも、朝鮮舞踊の特性を生かして民族的情緒があふれるようにすべきである。

舞踊手は十八番の動作においても朝鮮舞踊に固有な特性を十分に生かすべきである。十八番の動作は男性舞踊で多く演じられる。男性舞踊は舞踊手が特出した自分の技を発揮する十八番の動作があってこそ、その特性が生かされ、見ごたえもあるものである。

男性舞踊における十八番の動作は、朝鮮舞踊に固有な特性を生かしてこそ高度の技を発揮することができ、見る感じもよい。男性舞踊での十八番は、主に回転や高く飛び上がる動作によって披露される。西洋舞踊では、回転の動作は舞台の床に手をついてぐるぐる回るやり方で、高く飛び上がる動作は両脚を横に開くやり方でなされる。そのようなやり方の回転や跳躍の動作は朝鮮人の美感に合わない。

舞踊手は朝鮮人の体質と美感に合った朝鮮の民族舞踊の動作をもって十八番の動作をすべきである。朝鮮の民族舞踊には高度の技を見せる十八番の動作がたくさんある。農楽舞にしても燕風台（ヨンプン デ）（剣舞の一種）やむしろ巻きのようなすぐれたテクニックが少なくない。燕風台やむしろ巻きのような技術動作は高い技巧と才能を見せてくれる。舞踊手は朝鮮舞踊に固有なテクニックを生かし、十八番の動作を朝鮮人民の美感に合わせてわれわれの方式で発展

させるべきである。

踊りの特徴は固定不変のものではない。踊りの特徴は時代の要求と人民の美感に応じて発展する。われわれの時代の要請と人民の美感に合わせて踊りを発展させながらも、朝鮮舞踊の持ち味を生かしていくべきである。

舞踊手は踊りの動作一つにしても民族的情緒があふれるようにし、朝鮮人民が好み、かれらの生活に力を与える真の舞踊形象を創造しなければならない。

3　舞踊手はアンサンブルを保たなければならない

舞踊形象ではアンサンブルを保つことがきわめて重要である。舞踊のアンサンブルは舞踊手の踊りの動作と構図の統一的な動きと組み方によってもたらされる。舞踊はアンサンブルを保ち、芸術的形象が全一的に調和してこそ美しく見え、観客に感動を与えることができる。舞踊手の動作がまずかったり、動きの統一性が保たれなければ、視覚的な調和が崩れて見苦しくなり、思想性・芸術性も保つことができなくなる。群舞においてアンサンブルは生命と言える。

アンサンブルを保つうえで重要なのは、踊りの動作を一致させることである。舞踊形象では踊りの動作が基本なので、それが一致しなくてはアンサンブルを保つことはできない。舞踊形象で踊りの動作を一致させるのは、アンサンブルを保つ重要な前提条件である。舞踊のアンサンブルは舞踊手の動作がすべて一致すると

きに保たれる。

舞踊手は踊りのときに回転の動作を一致させなければならない。踊りの動作において回転の動作は一つのテクニックである。回転の動作は概して踊りの雰囲気を盛り上げる場面で多く用いられる。そのような場面で回転の動作を一致させれば踊りの雰囲気を盛り上げ、他の動作をするのにも好ましい影響を与えることができる。回転の動作を一致させることができないと、他の動作をいくらうまくしても観客の印象に残らない。舞踊手が回転の動作をするときには息を合わせ、中心を正確につかんで始めとテンポ、体の方向を一致させなければならない。複数の舞踊手が回転の動作を一致させるというのは容易なことではない。その場で回るような回転の動作は速度が速いので、回転の速度を一致させるのは容易でない。しかし、舞踊手は訓練を重ねてそれに熟達し、おどるときには回転の動作を一致させなければならない。

舞踊手は踊りの構図を正しくとるべきである。踊りの構図は踊りを演ずるときにアンサンブルを保つうえで重要な役割を果たす。踊りのときの構図は生活の内容を造形的な形象で展開して見せる。踊りの構図は、振付け師が創作の段階で人物の配置と隊形を視覚的な調和をなすようにうまく組むとともに、舞踊手が舞台でそれを正確に描きだしてこそ成り立つのである。踊りの構図は舞踊手によってつくられるので、振付け師が構図づくりをうまくしたとしても、舞踊手がおどるときにそれを正確に描きだせなければ功を奏しない。舞踊手は踊るとき、振付け師が組んだ踊りの構図を正確に描きだしてこそ、アンサンブルを保ち、美しい造形的な形象をくりひろげることができる。舞踊手は踊るときに踊りの隊形

を正確に組み、間隔と列をよくととのえながら動作を一致させて、構図上のアンサンブルを保たなければならない。

舞踊手相互の間隔と列をととのえるのは、アンサンブルを保つうえでもっとも初歩的なことでありながらも、重要な問題である。舞踊手が相互間の間隔と列をととのえなければ、踊りの動作を一致させることはできず、舞台にととのったリズミカルな形象をくりひろげることもできない。舞踊手は終始、所定の間隔と列を保たなくてはならない。

舞踊手がアンサンブルを保つためには、踊りの動作を伴奏に合わせなければならない。踊りは音楽に乗って展開されるので、おどるときのアンサンブルも音楽に合わせて保たれる。舞踊形象において律動と音楽が合わなければ、アンサンブルは保たれない。舞踊手は踊りの動作を音楽の拍子に合わせ、踊りの律動と伴奏を密着させるべきである。舞踊手が一つの拍子にしたがい息を合わせておどるなら、アンサンブルを保つことができる。

舞踊手の舞踊形象を成功させるためには、舞踊指導員が訓練と演技指導に力を入れる必要がある。舞踊指導員は個々の舞踊手の技量向上から舞踊形象のアンサンブルを保つ問題にいたるまで、舞踊形象創造の全過程を受け持って指導する。そのため、舞踊手が作品をどう形象化するかということは、舞踊指導員の役割に大きくかかっている。舞踊指導員は任務の重要性と責任感を深く自覚し、舞踊手の訓練と作品形象の指導に力を入れるべきである。

舞踊指導員は形象指導案を具体的に立て、それにもとづいて舞踊手の訓練と演技指導をすべきである。舞踊指導員は作品の内容と振付け師の形象上の意図、舞踊手の準備程度と特性を十分に把

握したうえで具体的な形象指導案を立て、訓練と演技指導を着実におこなうべきである。

舞踊作品の形象は作品を把握したうえで、踊りの動作に習熟する訓練からはじまる。舞踊指導員は訓練の体系と方法を確立し、それにもとづいて舞踊手の踊りの動作の習熟と演技水準の向上をはかる訓練を十分に指導すべきである。

舞踊指導員は舞踊手の訓練を段階別、部分別に、科学的に指導すべきである。一回の訓練の量が多すぎると、舞踊手がそれを消化することができない。舞踊指導員は舞踊手が踊りの動作を消化できるように、段階別、部分別の訓練を綿密に組む必要がある。そうして、舞踊手が踊りの動作をせん滅戦の方法で一つずつ完成していくようにすべきである。舞踊指導員は、舞踊手が腕や脚の細やかな動作まで一つずつ完成していくように、訓練を細かく指導すべきである。

舞踊の訓練は、形象化の作業が終わって公演に入ってからもつづけなければならない。舞踊作品の創作は作品を舞台に乗せることによって完了するが、舞踊手の舞踊形象は公演舞台に立つたびにつづけられる。舞踊指導員は作品を形象化して舞台に乗せることにとどまらず、舞踊形象のレベルを高める訓練をつづけるべきである。そうしてこそ舞台公演におけるアンバランスをなくし、つねに思想性・芸術性を十分に保つことができる。

舞踊指導員は舞踊手の訓練を伴奏に合わせて指導すべきである。そうしてこそ、指導が科学的なものになり、舞踊手が伴奏に習熟し、音楽に合わせてより上手な踊りを演じることができる。舞踊指導員が作品を形象化するための訓練を指導するときには、管弦

楽の伴奏に合わせてすべきである。

舞踊指導員は舞踊手の個別指導に力を入れるべきである。

舞踊手にたいする個別指導は舞踊指導員の重要な任務の一つである。舞踊手の個別指導に力を注いでこそ、かれらの芸術的技量を高め、レベルの高い独舞家を育てあげることができる。舞踊手の技量を高め、レベルの高い独舞家を多数養成すれば、舞踊作品を高い思想的・芸術的レベルでりっぱに形象化することができる。すぐれた舞踊形象は、それに参加する舞踊手の高い芸術的技量によってもたらされる。舞踊手の基礎がしっかりしており、技量が高ければ、作品に示された多様な踊りのリズムとテクニックをりっぱにこなし、アンサンブルも保つことができる。

舞踊指導員が個別指導に力を入れて、舞踊手の芸術的技量を高め、独舞家を多数養成するのは、多様な舞踊形象を創造する重要な条件となる。舞踊作品の形象においては独舞を組み合わせたり、技量の高い舞踊手を軸にして舞踊形象の調和を多様にするのが望ましい。集団的に形象化する踊りに独舞を組み合わせたり、技量の高い舞踊手を軸にすれば、踊りの進行に多様な変化と起伏をもたせ、幅と深みのある形象を創造することができる。集団的に形象化する踊りに技量の高い舞踊手を軸とし、それを中心にすべての舞踊手の律動を一致させるなら、形象の統一的な調和をより十分に保障することができる。

舞踊の形象化では技量の高い舞踊手や独舞家が重要な役割を果たすので、舞踊指導員は技量の向上をはかる個別指導に力を注ぐべきである。

舞踊指導員が舞踊手の訓練と演技の指導を正しくおこなうため

には、政治的および芸術的資質を高めなければならない。

舞踊指導員は舞踊手との活動を正しくできる政治的資質をそなえるべきである。

舞踊指導員が舞踊手を訓練してかれらの技量を高め、すぐれた舞踊作品をつくりだすのは、単なる技術実務的な活動ではない。舞踊手を育て、アンサンブルをなすすぐれた舞踊作品をつくりだす作業は、舞踊手との活動を正しくおこなうことからはじめるべきである。舞踊指導員は舞踊手のあいだで政治活動を活発に展開して、かれらを党と領袖に忠誠をつくすように教育するとともに、舞踊作品の創作活動でかれらの思想・意志の統一をはからなければならない。舞踊創作スタッフの思想・意志の統一は、律動形象のアンサンブルを保つうえで重要な作用をする。舞踊手を一つの思想、意志で団結させる活動は、舞踊指導員の高い政治的資質を求める。舞踊指導員は金日成同志の教示とわが党の政策で武装し、革命的な活動方法と人民的な活動作風を身につけ、舞踊手との活動、対人活動を正しくおこなわなければならない。

舞踊指導員は芸術的資質も高めなければならない。

舞踊指導員の芸術的資質を高めなくては、舞踊手の技量を高めることはできず、舞踊創作活動を正しく指導することもできない。舞踊指導員が独舞家の技量を身につけることなしには決して独舞家を育てることができず、豊富な舞台創造の経験なくしては舞台形象の創造を正しく指導することはできない。舞踊指導員は舞踊芸術にかんする理論学習を強化し、基礎動作の訓練を根気よくおこなうべきである。そして、自らを政治的、思想的に、技術、実務的にしっかり準備しなければならない。

Ⅳ　舞踊表記

1　舞踊を表記するのは舞踊芸術発展の必須の要求である

舞踊芸術を発展させるためには舞踊を表記しなければならない。

舞踊を表記するというのは、舞踊の表現手段を約束された符号で、一定の方法によって記録するということである。舞踊を表記してこそ、舞踊の創作と形象化、保存を科学的におこなうことができる。

舞踊を表記すれば創作を科学的に進めることができる。舞踊の創作は舞踊を発展させるうえで最初の過程となる。

舞踊作品は振付け師によって創作される。振付け師は創造的な探求と思索の過程で種子を開花させる振付け構成案を立て、舞踊音楽にもとづいて踊りのリズムと構図をつくりだす。振付け師のこうした創作作業は表記手段を用いて踊りの動作と構図を具体的に記録しながら進めてこそ、いっそう科学的なものになる。舞踊を表記すれば、振付け師は探求と思索によって練り上げた踊りの構想をそのつど記録し、繰り返し手を加えて新しい構想を付け加え、作品をよりすぐれたものにすることができる。

舞踊を表記すれば、舞踊手が舞踊形象化の作業をいっそうスムーズに進めることができる。振付け師が創作した舞踊作品は舞踊手によって演じられる。振付け師が創作した舞踊作品は舞踊手に

よって芸術的リズムで演じられてこそ、人びとの文化・情操教育に寄与することができる。振付け師によって創作された舞踊作品がいかにりっぱに演じられるかは舞踊手にかかっている。振付け師が舞踊作品をいくらりっぱに創作したとしても、舞踊手の演技がまずければ功を奏しない。舞踊手が舞踊作品を芸術的リズムによって演ずることも一つの創造的な活動である。

舞踊手が舞踊作品をりっぱに形象化するには、人物の思想・感情と生活を踊りによって描きだす律動を深く把握する必要がある。舞踊手が人物の思想・感情と生活を把握するのは、舞踊台本と振付け構成案を研究したうえで、舞踊を記録した舞踊譜を見てするのがもっとも合理的で科学的である。舞踊手が舞踊の記録された舞踊譜を見れば、台本に示された人物の思想・感情と生活を具体的な舞踊言語を通じて深く把握し、自らの創造的知恵を発揮して役づくりをいっそう巧みにおこなうとともに、作品の形象化をよりりっぱにすることができる。

舞踊を表記すれば、大衆のあいだに普及する活動もスムーズに進めることができる。舞踊を勤労者に広く普及するのは、人民の文化・情操生活と舞踊の発展において重要な意義をもつ。舞踊を広く普及してこそ、勤労者が鑑賞したりおどったりして、それをより十分に享有することができる。舞踊を勤労者のあいだに広く普及するには、舞踊を表記して、誰もがそれを見て理解できるようにする必要がある。そうすれば、舞踊を勤労者に適時に普及し、かれらの文化・情操生活により効果的に役立たせることができる。

舞踊を表記すれば、保存するのにも好都合である。

時代の要請と人民の志向を反映して創作された舞踊作品は、人

民の気高い思想・感情と創造的才能が秘められた思想的・精神的財貨の一つで、代を継いで次代に譲り渡すべき文化遺産であり、さらにすぐれた舞踊作品を創作するための財産となる。われわれは祖先が創造したすぐれた舞踊作品を発掘し、時代の美感に合わせて再現し保存するだけでなく、新しく創作されたすぐれた舞踊作品も保存して次代に譲り渡すべきである。

舞踊作品の保存はいろいろな方法でなされる。こんにち、科学と技術の発展と撮影技術の向上にともなって、舞踊作品は写真や記録映画に収められて保存されている。しかし、そういう方法だけでは舞踊作品の保存に万全を期することができない。舞踊作品の保存は表記手段に依拠するのがいちばんである。表記手段に依拠すれば、音楽を楽譜にして簡便に保存するように、舞踊もその量にかかわりなく簡便に保存することができる。

現在、音楽や演劇をはじめ他の芸術分野では、創作された作品が科学的な表記手段にもとづいて正確に記録されている。音楽では音符とさまざまな記号で音楽作品が記録され、演劇をはじめ他の芸術作品は文字で記録されている。他の様式の芸術は作品を正確に記録することができるので、創作や形象化、普及、保存などがかなり以前から科学的におこなわれてきた。しかし、舞踊は作品を科学的に表記することができなかった。そのため、舞踊の創作と形象化、普及、保存は科学的な方法ではなく、手工業的な方法でおこなわれてきた。

これまで舞踊の創作は、振付け師がつくりだした一つひとつの踊りの動作を記憶しておき、舞踊手に伝授して定着させる方法でおこなわれた。舞踊作品がこのように創作されたので、舞踊の創

作は他の芸術のように科学的な基礎のうえで推進されなかった。

舞踊芸術部門での舞踊の普及は記録に頼るのではなく、舞踊家が模範動作をして伝授する方法でおこなわれてきた。舞踊を伝授する方法で普及したため、適時に正確に普及することができなかった。

舞踊は表記することができないので、保存も満足にできなかった。

舞踊は人びとの生活と密接に結びついているので、勤労者のあいだで舞踊にたいする要求が日ましに高まっている。時代の要請と人民大衆の志向に即して舞踊を発展させるためには、その創作と形象化、普及、保存をより科学的に強力におこなわなければならない。そのためには舞踊を科学的に表記しなければならない。舞踊を科学的に表記するためには、合理的な表記法をつくらなければならない。

2　舞踊表記法は科学性と大衆性が保障されなければならない

科学性と大衆性を保障することは、舞踊表記法をつくるうえでの基本的要求である。舞踊表記法は科学性と大衆性が保障されてこそ、多様な舞踊作品をすべて表記し、その創作と形象化、普及、保存に広く利用することができる。これまで世界各国で舞踊表記法がつくられたにもかかわらず広く利用されていないのは、科学性と大衆性が十分に保障されていないからである。

史料によると、舞踊表記法は数百年にわたる研究の歴史をもっているという。その間、世界各国の多くの人が自分なりに舞踊表記法をつくりだした。

わが国でもずっと以前から舞踊表記法の研究が進められてきた。われわれの祖先は、図解的な方法をはじめいろいろな方法で舞踊を表記するために努力してきた。われわれの祖先がつくりだした舞踊表記法には、かれらの英知と才能が秘められている。

わが国で、日本帝国主義の植民地支配時代にはその民族文化抹殺政策のため舞踊芸術は発展せず、舞踊表記法の研究などは考えることもできなかった。しかし、日本帝国主義の植民地支配から国が解放されてからは、文学・芸術を発展させるわが党の方針にそって舞踊芸術が新たに発展しはじめ、舞踊表記法の研究も進められるようになった。

これまで、わが国をはじめ世界各国で舞踊表記法の研究が進められ、表記法も考案されたが、それは科学性と大衆性を欠いていたため、舞踊発展のために広く一般化されなかった。

舞踊表記法を舞踊の創作と普及、舞踊芸術の発展のために広く利用するには、科学性と大衆性が保障されるようにつくらなければならない。舞踊表記法に科学性と大衆性さえ保障されれば、それを利用するようにと言わなくても、舞踊家は進んで広く利用するようになる。

踊りの動作を科学的に、分かりやすく表記すべきである。

舞踊表記での基本は踊りの動作を表記することである。舞踊の形象化では音楽と舞台美術も重要な表現手段として利用されるので、踊りだけでなく音楽のような表現手段もすべて表記する必要

がある。だが、音楽や舞台美術の表記では、これといった難点がない。舞踊での音楽は楽譜で表記することになっているので、それを踊りの動作と一致させて表記すればよいのであり、舞台美術は舞踊手が踊り演じるときに使う小道具だけ表記すればよい。そのため舞踊の表記では、舞踊の基本的表現手段である芸術的リズムをなす踊りの動作を科学的に、しかも分かりやすく表記することが大切である。

踊りの動作を科学的に、分かりやすく表記するには、踊りの動作の構成要素を科学的に解明し、それを符号で表記しなければならない。これは舞踊表記法作成の最初の過程であり基礎である。踊りの動作の構成要素を科学的に解明し、それを符号で正確に表記するなら、多様かつ複雑な踊りの動作をすべて記録することができる。

踊りの動作を科学的に、分かりやすく表記するには、踊りの動作の構成要素を科学的に解明したものを符号で表記するとともに、個々の要素が結合する道理を原理的に明かし、それにもとづいて符号を結合して表記しなければならない。踊りの動作の構成要素が結合する道理を科学的に明かし、その結合方法に即して正確に表記するのは、舞踊表記法を科学的に、分かりやすく作成するうえできわめて重要である。踊りの動作は多様である。それは、すべての踊りがそれぞれの個性をもっているからである。舞踊表記法が多様な踊りの動作を正確かつ簡単に表記するには、踊りの動作の構成要素が結合する原理を知り、それにしたがって表記しなければならない。

踊りの動作を構成要素の結合原理にしたがって表記しなければ、

ひとまとまりに表記するしかない。踊りの動作をひとまとまりに表記するというのは、踊りの動作を一つの符号で表記することを意味する。一つの踊りの動作を一つの符号で表記するなら、いくつかの既成の動作はたやすく表記できるが、その他の多くの動作は表記できない。それでは、新しい踊りの動作が生まれるたびに新しい符号をつくらなければならないことになる。このような方法では舞踊を科学的に、分かりやすく表記することはできない。これまで多くの国でつくられた舞踊表記法が広く活用されていないのは、踊りの動作を構成要素の結合原理にしたがって表記せず、その舞踊の基本的な動作を主にひとまとまりに表記したことと関連している。そのため踊りの動作は、構成要素の結合原理を明かし、構成要素の結合原理にしたがって表記しなければならない。

踊りの構図も科学的に、分かりやすく表記すべきである。舞踊表記法は踊りの動作とともに構図を科学的に、分かりやすく表記してこそ実用性が保たれる。踊りの構図を科学的に、分かりやすく表記するには、構図の基本要素を解明し、構成要素の結合原理を科学的に明らかにしなければならない。踊りの構図は、具体的には一定の隊形と線としてあらわれる。踊りの構図は踊りの隊形と線の形態と位置を示し、それを結合する方法で表記すべきである。

舞踊表記法の科学性と大衆性を保障するためには、舞踊譜表を合理的につくらなければならない。舞踊譜表は舞踊表記符号を記入するためのものである。いくらりっぱな舞踊表記符号をつくったとしても、舞踊譜表に難があれば科学性と大衆性を保障することはできない。舞踊譜表は科学的原理にかなっていながらも、分

かりやすく利用に便利なものでなければならない。そうしてこそ、舞踊芸術部門の活動家がそれを芸術の創造に広く利用することができる。

3　新しくつくられた舞踊表記法は舞踊を正確かつ簡便に表記する

わが国では 1970 年代にいたって、芸術の創造で一大革命が起こった。わが党は映画と歌劇、演劇芸術をはじめすべての芸術部門で新たな創作的高揚を起こすとともに、舞踊芸術の発展にも大きな力を注ぐようにした。党は、舞踊芸術部門が固有な朝鮮舞踊のリズムに、われわれの時代の人民の自主的な志向と要求を反映した革命的な作品を創作するように導いた。舞踊芸術部門では、『雪が降る』『祖国のツツジ』『箕の踊り』『リンゴの豊作』の 4 大名作をはじめ、朝鮮人民の思想・感情と生活を反映したすぐれた舞踊作品を多数創作した。

わが党は、時代の要請と人民の思想・感情と生活を反映した舞踊作品を多く創作させる一方、舞踊表記法の作成にも力を入れるようにした。党は新しい舞踊表記法の作成のために、振付け師をはじめ舞踊専門家と当該部門の活動家で研究チームを組み、それに必要な一切の条件を保障した。

舞踊表記法研究チームは党の意図にしたがい、舞踊芸術の発展に寄与する科学的で大衆的な舞踊表記法をつくるために奮闘した。研究チームは多年にわたって緊張した探究活動を展開し、朝鮮式

の舞踊表記法をつくることに成功した。

わが国で新たにつくられた舞踊表記法は、従来の舞踊表記法の制約性が克服され、科学性と大衆性が保障されている。新しい舞踊表記法は踊りの動作の構成要素を科学的に明かし、それを基本表記符号として定めている。すなわち踊りの動作をなすもっとも基本的な要素を符号化し、その符号を基本表記符号としている。舞踊表記法は踊りの動作の構成要素を基本表記符号としてこそ、少ない符号で多様かつ複雑な踊りの動作をすべて表記することができる。踊りの動作の構成要素を基本表記符号としたのは、踊りの動作が成り立つ原理を科学的に解明したことにもとづいている。踊りの動作は、具体的に見ると動きとポーズからなっている。動きとポーズは、構成要素の見地からすると、形態と位置などの要素の結合と言える。動きとポーズは、静止と運動の過程における形態と位置の結合によって成り立つ。形態と位置は、踊りの動作の要素のうちでもっとも基礎的で基本的な要素である。

新しい舞踊表記法では、踊りの動作をなす構成要素を科学的に解明し、形態と位置をあらわす符号を基本とする 30 余の表記符号が定められており、それを結合してさまざまな動きとポーズを表記し、動きとポーズからなる踊りの動作を表記することになっている。

新しい舞踊表記法では、踊りの動作をなす要素の結合方式が朝鮮文字で単語をなす要素の結合方式と同じであることを明らかにし、踊りの動作をなす要素の結合方式を朝鮮文字の結合方式と同じ方法にしている。

朝鮮文字は子音と母音が結合して文字をなし、文字が結合して

一つの単語をなす。朝鮮文字は結合方式が科学的なので、いかに多様で複雑な発音でもすべて表記することができる。

新しい舞踊表記法は、朝鮮文字で子音と母音が結合して文字をなし、文字が結合して単語をなす原理を応用して、動きとポーズをあらわす基本的な要素である形態と位置のうち、形態符号を母音、位置符号を子音とし、それを結合して動きとポーズをあらわし、動きとポーズを結合して踊りの動作をあらわすようになっている。この表記法は、踊りの動作を構成要素の結合原理にしたがって科学的に表記することにより、朝鮮文字の結合方式で人間生活のさまざまな現象を表現するように、多様で複雑な踊りの動作を表記することができる。

新しい舞踊表記法では、踊りの構図も踊りの動作と同じ原理にもとづいて科学的に、分かりやすく表記される。そして、踊りの構図まで科学的に、分かりやすく表記することによって、舞踊を科学的に、分かりやすく正確に表記することができる。

新しい舞踊表記法で表記符号の結合方式を朝鮮文字の結合方式と同じにしたのは、まったく独創的なものである。

新しい舞踊表記法では、表記符号を記録する譜表も合理的につくられている。

新しい舞踊表記法には踊りの動作譜表と踊りの構図譜表がある。

踊りの動作譜表は3本の線からなっている。この譜表では、3本の線と線間に多様な踊りの動作が簡便かつ合理的に表記される。3本の線のうち一番目の線には線上に肩の動き、線の上の部分に頭の動き、線の下の部分に腕の動きを表記し、中央線には線上に腰の部位の動き、線の下の部分に下半身の動きがそれぞれ表記される。

踊りの構図譜表は 1 本の線からなっている。この譜表では線の上の部分に構図の形態と位置、線の下の部分に舞踊手の人数と相互関係が表記される。踊りの構図を譜表で簡便に表記することにしたのは、新しい舞踊表記法における一つの革新である。舞踊譜で踊りの構図譜表は踊りの動作譜表の上部に位置する。舞踊譜には踊りの動作と構図、舞踊音楽が形象上の統一をなすように、動作譜表と構図譜表、楽譜を統一させて表記するようになっている。この舞踊表記法では、小道具は踊りの動作譜表に踊りの動作とともに表記される。

新しい舞踊表記法では、舞踊表記符号とともに朝鮮の文字も使われる。この舞踊表記法では、楽譜のように叙情的に、迫力をこめて、緩く、速くといった表現を符号化して表記せず、朝鮮文字をそのまま使う。朝鮮文字をそのまま使うことは、舞踊表記法の大衆性を保障するうえで大きな前進となる。

新しい舞踊表記法をもってすれば朝鮮の舞踊をすべて表記することができる。朝鮮舞踊は腕や肩など上半身の動きを基本としながら、それに下半身の動きを合理的に組み合わせ、動作がしなやかでありながらも迫力がある。とくに、朝鮮舞踊は音楽の拍子とリズムに合わせてくりひろげられるのが特徴である。この表記法では、リズムに合わせてくりひろげられる朝鮮の民族舞踊をりっぱに表記することができる。

新しい舞踊表記法をもってすれば外国の舞踊も表記することができる。限られた国の民族舞踊しか表記できない舞踊表記法は広く一般化されない。舞踊表記法が広く一般化されるには、世界各国の舞踊がすべて表記できなければならない。新しい舞踊表記法

では、世界各国の民族舞踊をはじめ、さまざまな形式の舞踊を表記することができる。

新しい舞踊表記法は、誰が見ても容易に理解できる。舞踊表記法はすべての舞踊が表記できるとともに、誰が見ても容易に理解できるものでなければならない。それでこそ、作品の創作や形象化など舞踊芸術の発展に広く利用される。新しい舞踊表記法は基本表記符号が 30 余しかないので、誰でもすぐ覚えられる。また、表記符号の結合原理が単語を形成する文字の結合原理と同様にできているので、字の読める人なら誰でも容易に読解することができる。

4　舞踊表記法をさらに完成し、広く利用すべきである

新しくつくられた舞踊表記法は、その科学性と大衆性ゆえに舞踊芸術の発展に広く利用できる。しかし、この舞踊表記法が科学性と大衆性において完全無欠なものだとは言えない。この舞踊表記法は従来の舞踊表記法の欠点を補い、科学性と大衆性を保障してはいるが、それは絶対的なものではない。まだ、表記符号とその結合方式を科学的、理論的に体系化し、さらに大衆化し、舞踊譜を作成するうえで解決すべき問題がないとは言えない。

舞踊表記法の科学性と大衆性は、それを舞踊芸術の発展をはかる実際の活動に広く利用してこそ検証される。いくらりっぱな科学的発明であっても、実用性に富んでいれば導入されるが、それ

に欠けていれば導入されない。実用性に欠けて導入されないということは、科学性と大衆性が保障されていないことを意味する。

新しい舞踊表記法は、まだ舞踊芸術の発展をはかる実際の活動に広く利用されていない。せいぜい既存の舞踊作品を本にして出版するのに利用されるくらいで、舞踊家のあいだでの作品の創作や形象化、普及には広く利用されていないのが現状である。新しい舞踊表記法が舞踊家に広く利用されないのは、科学性と大衆性を保障するうえで解決すべき問題があることを示している。新しい科学的発明は一朝一夕に完成されるのではなく、長いあいだ実際の活動に利用しながら、欠点を探し出して是正し、発展させる過程で完成される。新しい舞踊表記法も、舞踊芸術の発展をはかる実際の活動に広く利用しながら欠点を探し出して是正し、さらに完成しなければならない。

新しい舞踊表記法は、踊りの動作の構成要素とその結合方式をより深く解明し、表記方法をさらに簡便にして、科学性と大衆性を高い水準で保障しなければならない。とくに、個性的で特色のある動作の表記を簡略化して、舞踊作品の創作と形象化に利用するのに便利なようにすべきである。

新しい舞踊表記法を利用するのに便利なようにさらに完成させるには、舞踊表記法を研究する専門家と舞踊芸術部門関係者の責任感と役割を高める必要がある。

舞踊表記法をさらに完成させる作業の主人は、あくまでも舞踊表記法を研究する専門家である。舞踊表記法の研究者は、主人としての立場と態度を堅持して研究活動を深め、舞踊芸術の発展をはかる実際の活動に利用するのに便利なように新しい舞踊表記法

をさらに完成させるべきである。舞踊表記法の研究者と舞踊芸術部門関係者は、この舞踊表記法を完成されたものとみなしてその宣伝、普及にとどまることなく、原理的に掘りさげて欠点を探し出し、楽譜のように利用に便利なように発展させなければならない。舞踊表記法の研究者は純然たる学術的研究に没頭するのでなく、舞踊芸術家や隣接部門の科学者との緊密な連係を保ち、舞踊作品を創作し普及する現実のなかに入って探究を深めるべきである。

新しい舞踊表記法をさらに完成させるには、大衆の集団的知恵を引き出さなければならない。

大衆の集団的知恵を引き出すのは、科学研究活動においてわが党が一貫して堅持している方針である。舞踊表記法の研究も一つの科学研究活動である以上、大衆の集団的知恵を十分に引き出さなければならない。大衆の集団的知恵を発揮させれば、舞踊表記法をさらに完成させるのに必要なりっぱな意見が多く出されるはずである。

わが国には舞踊芸術家が少なくない。中央の芸術団体にはいずれも舞踊創作家と舞踊手がおり、地方の各芸術団体にも少なからぬ舞踊手がいる。舞踊表記法を先に実践に広く利用するのはほかならぬ舞踊芸術家である。かれらは舞踊表記法を実際に利用しなければならないので、それを利用に便利なように完成させることに誰よりも関心をもっている。舞踊芸術家の知恵を発揮させて、舞踊表記法を完成させるためのりっぱな意見が多く出されるようにすべきである。

舞踊表記法をさらに完成させるには、舞踊芸術サークル員の知恵も発揮させる必要がある。わが国では、大衆芸術を発展させる

党の方針にしたがって、工場や企業所、協同農場などに芸術サークルが組織され、大衆芸術活動を広くくりひろげている。それらの芸術サークル員のなかには舞踊に才能のある人が少なくない。かれらは自分たちの思想・感情と生活を反映した舞踊作品を多数創作して広く公演している。舞踊に才能のある芸術サークル員の知恵を発揮させても、舞踊表記法の完成に必要な多くの意見が出されるはずである。

新しい舞踊表記法をさらに完成させるとともに、それを広く利用すべきである。舞踊表記法をつくる目的は、それを利用して舞踊芸術を発展させることにある。いくらりっぱな表記法をつくったとしても、利用しなければなんの役にも立たない。舞踊表記法を広く利用すれば、その過程で欠点を探し出し、さらに完成させる作業もより円滑に運ばれる。

舞踊表記法は舞踊芸術家が大いに利用すべきである。舞踊表記法は舞踊作品を創作し普及する科学的な手段である。舞踊芸術家は舞踊表記法を利用して、舞踊作品の創作と形象化、普及を科学的におこなうべきである。

振付け師は舞踊表記法を利用して舞踊作品を創作すべきである。そうすれば、創作活動を現在のような手工業的な方法ではなく、科学的な方法で進めることができる。振付け師が創作した舞踊作品を表記法にしたがって舞踊譜に記録すれば、舞踊指導員と舞踊手の形象化作業にも舞踊譜を利用させることができる。振付け師は創作された舞踊作品を舞踊指導員や舞踊手に伝授するのでなく、舞踊譜に記録すべきである。

舞踊指導員と舞踊手は舞踊作品の形象化に舞踊譜を利用すべき

である。舞踊指導員と舞踊手は舞踊譜によって作品の内容と形象上の要求を把握し、形象化の作業を進めるべきである。そうすれば、舞踊指導員と舞踊手の形象化作業はいっそう創造的なものになる。

芸術サークル員も舞踊表記法を大いに利用すべきである。そうすれば、舞踊作品の形象化にも好都合である。

舞踊芸術家と芸術サークル員のあいだに舞踊表記法を広く普及すべきである。そうしてこそ、かれらが表記法を習得し利用することができる。

舞踊表記法を舞踊芸術家と芸術サークル員に広く普及する手配を綿密におこなうべきである。かれらが舞踊表記法を早く習得して利用できるように、普及活動を計画的に進める必要がある。舞踊芸術部門の活動家は表記法の教科書や参考書などもつくり、さまざまな形式と方法で芸術家と芸術サークル員に舞踊表記法を普及すべきである。舞踊芸術家と芸術サークル員は自習によっても舞踊表記法を学ぶべきである。今後、舞踊表記法が楽譜のように完成されれば、学校で育ちゆく新しい世代に楽譜と同じように舞踊表記法を教えることができる。学校で舞踊表記法を教えるようになれば、勤労者の文化・知識水準を高め、舞踊芸術を大衆的にいっそう力強く発展させることができる。

舞踊芸術部門では、舞踊表記法を利用して既存の舞踊作品を本にして出版することにも力を入れるべきである。舞踊作品を本にして出版すれば、芸術家と芸術サークル員が習得するのにも、それを保存するのにも好都合である。

舞踊芸術部門ではこれまでの成果を踏まえて、発展する現実の

要求に即して舞踊芸術をさらに発展させなければならない。

舞踊芸術部門では舞踊芸術を理論的に体系化することに力を注ぐべきである。舞踊芸術を理論的に体系化するのは、それを科学的な土台の上で発展させる重要な裏付けである。舞踊芸術を理論的に体系化してこそ、舞踊芸術部門の活動家が舞踊芸術にかんする科学的な知識を習得し、それにもとづいて舞踊芸術の創作活動を力強く進めることができる。

舞踊芸術を理論的に体系化するには、基礎的な概念とカテゴリーを科学的に規定する必要がある。基礎的な概念とカテゴリーを科学的に規定するのは、舞踊芸術を理論的に体系化するための先決条件である。基礎的な概念とカテゴリーを正確に規定しなくては、舞踊芸術を理論的に体系化し、科学的に発展させることができない。舞踊芸術には、科学的に解明し規定すべき基礎的な概念とカテゴリーが少なくない。舞踊芸術部門では、踊りの動作をはじめ舞踊言語の要素とその形象原理をさらに科学的に解明し、該当する概念とカテゴリーを正確に規定すべきである。そうして、舞踊芸術をより科学的な理論にもとづいて発展させなければならない。

すぐれた舞踊芸術作品をより多く創作すべきである。

すぐれた舞踊芸術作品を創作するのは、こんにち舞踊芸術部門に提起されている重要な課題である。すぐれた舞踊芸術作品を多く創作してこそ、舞踊芸術を発展させ、人民の文化・情操生活に役立てることができる。

舞踊芸術部門の創作家と芸術家は創作的情熱を燃やし、党と領袖のまわりにかたく団結してチュチェの革命偉業を完成するため

に奮闘している朝鮮人民の気高い思想・感情と、誇りある幸せな生活を芸術的リズムによってりっぱに形象化した多様な形式の舞踊芸術作品をより多く創作すべきである。そうして舞踊芸術が、社会主義的芸術の開花をもたらし、人民の文化・情操生活をいっそう豊かなものにするのに、大いに寄与できるようにしなければならない。